

地域に生き、世界に伸びる



**熊本県立大学**  
Prefectural University of Kumamoto

**2026** University Guide  
大学案内

「未来のわたし」を創る場所

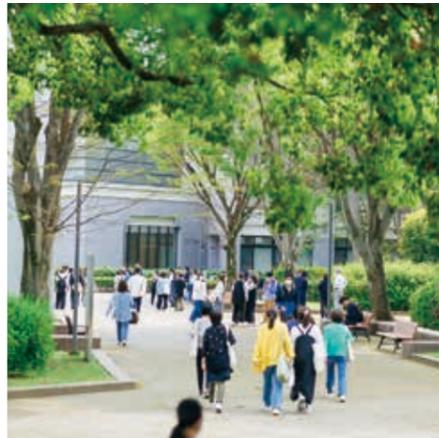


# 熊本から世界へ羽ばたく

熊本県立大学は、文、環境共生、総合管理の3学部3研究科からなり、人文科学系、自然科学系、社会科学系の3つが有機的に結合した先進的な「集約型大学」です。

また、「地域実学主義」を教育理念とし、「理論を現場に学ぶ」体験的、実践的学修方法であるフィールドワークや、地域課題解決と教育を結び付けた「もやいすと」育成プログラムなど、現場に学び実践力を育むための教育を展開する特色ある大学です。

この大学に学び、地域に根ざし世界に向かって羽ばたこうとする知的探究心旺盛な学生を求めています。



## ■ 熊本県立大学の〈理念〉

### 総合性への志向

本学は、人文・社会・自然の学問の三分野から成る大学として、学際的な方法を重視しつつ、総合的な知の形成を目指す。

### 地域性の重視

本学は、「地域に生き、世界に伸びる」を標榜し、地域社会に開かれた大学として、当面する諸問題を分析し解決すること、地域の知的創造の拠点となることを目指す。

### 国際性の推進

本学は、グローバル化に対応して、アジアをはじめ世界の多様な文化を学びつつ、諸外国の人々との交流を進め、国際的・多元的な文化の創造を目指す。

## ■ 熊本県立大学の〈目的〉

熊本県立大学は、豊かな教養と高度な専門性を有し、総合的な知識と実践力、創造力を備えた有為な人材を育成するとともに、研究成果を社会に還元し、教育研究資源を地域に提供することを通じて、熊本県ひいては国際社会の発展に寄与することを目的とする。

## Contents

大学の理念・目的	2
理事長・学長メッセージ	4
学部教育の特長	6
特色ある教育	7
地域に生きる	10
世界に伸びる	16
共通教育センター	21

文学部	24
日本語日文学科	26
グローバル・スタディーズ学科	30
環境共生学部環境共生学科	34
環境資源学専攻	36
居住環境学専攻	40
食健康環境学専攻	44
総合管理学部総合管理学科	48

大学院	56
教員一覧	58
キャリアサポート・学修支援	60
学生生活	67
キャンパスマップ	74
キャンパス周辺情報	76
学費・奨学金・経済支援	77
入試情報	78



公立大学法人熊本県立大学

理事長 **黒田 忠広** 博士(工学)  
Kuroda Tadahiro

熊本県立大学のスローガンは「地域に生き、世界に伸びる」です。熊本は今、急速にグローバル化が進んでいます。世界の超優良企業が競って熊本に進出してきます。熊本には世界の頭脳を惹きつける魅力があるからです。つまり、私たちの地域は国際的に注目される地域です。ですから、深い愛郷心を持つことと高い国際性を育むことは、自然と両立します。それが「くまもと新時代」の持つ大きな可能性です。

本学の文学部では、日本や海外の言葉と文化を学ぶことができます。自国の文化を学び、世界から熊本に集まる人々に日本の文化を伝えたり、あるいは世界の文化を学び、熊本に集まる世界の人々と交流することの喜びを知ることができます。

環境共生学部では、いかに環境と共生するかを学ぶことができます。水は熊本にとって最も重要な資源です。そして、半導体の製造にも必要不可欠な資源です。世界最先端の半導体工場が建設される熊本だからこそ、この地で環境共生を考えることは、世界の環境を考えることにつながります。

そして、総合管理学部では、複雑に要因が絡む問題を総合的にとらえ解決するための多様な知識や手法を学ぶことができます。グローバル企業が産業エコシステムを携えて集まってくる熊本だからこそ、この地で総合管理を学ぶことで、世界に大きく貢献できる人材になれるのです。

熊本県立大学は、「くまもと新時代」を逞しく生き、熊本を愛して世界から愛される人を育てます。



熊本県立大学

学長 **堤 裕昭** 博士(理学)  
Tsutsumi Hiroaki

本学では「地域に生きる」「世界に伸びる」という教育研究のスローガンのもと、現代そして近未来の社会で求められる基礎的な学問を学び、教養を身につけるとともに、我々が住む地域が抱える課題を学習し、将来にわたりより良く「地域に生きる」ための解決策を教職員とともに考えていきます。この熊本の地において、地域の未来を見つめていきましょう。

「世界に伸びる」も地域の将来にとって重要なキーワードとなっています。インターネットや交通手段の発達とともに、人々の往来がボーダレスの時代となってきました。熊本には美しい自然があり、美味な食べ物があり、地方文化があります。外国から観光で熊本を訪れる人達が増加し、近年では半導体産業の発展に伴ってビジネスで熊本を訪問したり、転居してくる人達も増えています。この急速な進展を見せる地域社会の国際化のもと、外国に出かけるまでもなく、多国籍の人達とコミュニケーションを取って暮らしていく必要性が日々増えています。そこで、本学では「世界に伸びる」のスローガンのもと、世界共通語である英語の運用能力の向上を目指しています。e-learningシステムを導入して、いつでもどこでも英語を学べる環境を整備し、海外との様々な交流プログラムを始めています。

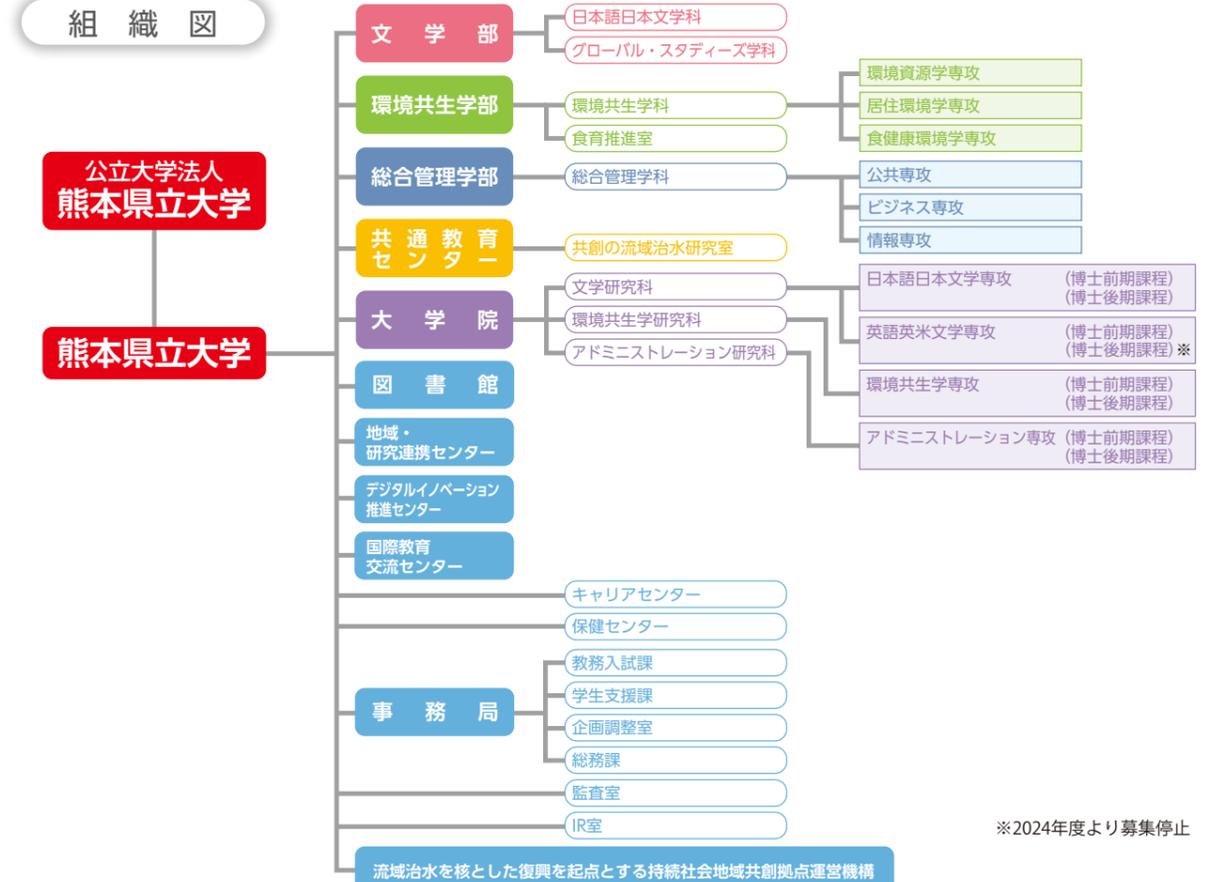
学生諸君が熊本の地において、地域と世界を見つめた本学での教育を修めて近未来の社会へ羽ばたき、個々の幸福を得ることと地域の近未来社会の発展に貢献することを願い、その実現に向けて日々真摯に努力する姿にエールを送ります。

沿革

- 1947(昭和22)年 4月 熊本県立女子専門学校創立(熊本城内)
- 1949(昭和24)年 4月 熊本女子大学開学  
学芸学部/文学科、生活学科
- 1950(昭和25)年 6月 熊本市大江渡鹿に校舎移転(現:県立劇場敷地)
- 1953(昭和28)年 4月 文家政学部/文学科(国文学専攻、英文学専攻)、家政学科に名称変更
- 1960(昭和35)年 4月 文学科→英文学科、国文学科に分割改組
- 1963(昭和38)年 4月 家政学科→家政学科、食物学科に分割改組
- 1980(昭和55)年 4月 熊本市健軍町水洗(現:月出)に移転  
文学部と生活科学部の2学部制とし学科改組  
文学部/国文学科、英文学科、生活科学部/食物栄養学科、生活環境学科、生活経営学科
- 1991(平成 3)年 4月 外国語教育センター設置
- 1993(平成 5)年 4月 文学研究科/日本語日本文学専攻(修士課程)、英語英米文学専攻(修士課程)設置
- 1994(平成 6)年 4月 名称を熊本県立大学に変更、男女共学化  
国文学科→日本語日本文学  
英文学科→英語英米文学科に名称変更  
総合管理学部/総合管理学科を設置
- 1998(平成10)年 4月 アドミニストレーション研究科(修士課程)設置
- 1999(平成11)年 4月 生活科学部を環境共生学部へ改組  
環境共生学部/環境共生学科/生態・環境資源学専攻、居住環境学専攻、食・健康環境学専攻

- 2000(平成12)年 4月 アドミニストレーション研究科(博士課程)設置
- 2003(平成15)年 4月 環境共生学研究科(修士課程)設置
- 2005(平成17)年 4月 環境共生学研究科(博士課程)設置
- 2006(平成18)年 4月 公立大学法人熊本県立大学設立(法人化)  
地域連携センター、学術情報メディアセンター設置
- 2008(平成20)年 4月 文学研究科/日本語日本文学専攻(博士課程)設置  
環境共生学部学科を改組し3学科体制となる
- 2009(平成21)年 4月 学生支援組織改組 キャリアセンター、保健センター設置
- 2010(平成22)年 4月 文学研究科/英語英米文学専攻(博士課程)設置
- 2013(平成25)年 4月 地域連携センターを地域連携・研究推進センターに改組
- 2014(平成26)年 4月 全学教育推進センター設置
- 2019(平成31)年 4月 環境共生学部学科を改組し現在の1学科3専攻となる  
環境共生学部/食育推進室を設置  
地域連携・研究推進センターを地域連携政策センターに改組
- 2020(令和 2)年 4月 国際教育交流センター、IR室を設置
- 2021(令和 3)年 4月 全学教育推進センターを共通教育センターに改組  
同センター内に緑の流域治水研究室設置
- 2022(令和 4)年 4月 デジタルイノベーション推進センターを設置  
地域連携政策センターを地域・研究連携センターに改組
- 2024(令和 6)年 4月 総合管理学部総合管理学科に専攻制を導入  
総合管理学科/公共専攻、ビジネス専攻、情報専攻

組織図



※2024年度より募集停止

# 『地域に生き、世界に伸びる』

Think Globally, Act Locally

熊本県立大学は、創立から78年の歴史と伝統を礎に、新しい時代の要請にこたえる教育を展開し、あなたの持つ知的好奇心を満たし、時代を拓くたくましい想像力を育みます。そして、地域社会、ひいては国際社会の発展に貢献できる人材にあなたを育成します。

## 学部教育の特長

熊本県立大学は、豊かな教養と高度な専門性を有し、21世紀の地域社会ひいては国際社会の発展に貢献できる創造性豊かな人材を育成します。

特に、学部教育においては、次の目標を掲げ、教育の充実に力を注いでいます。

- 1 幅広い知識・教養に基づき学問の意義を理解し、自己を認識して、将来を構想できる人材
- 2 多角的視点を備え、自ら課題を抽出し、論理的、分析的に思考して、総合判断ができる人材
- 3 地域社会及び国際社会に興味・関心を有し、異質性を認めることができる人材
- 4 積極性、自律性及び行動力を身につけ、社会状況の変化に柔軟に対応でき、社会において協調し協働できる人材
- 5 他者と理解しあい、共生していく上に必要なコミュニケーション能力がある人材

全学(学士課程)の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)より



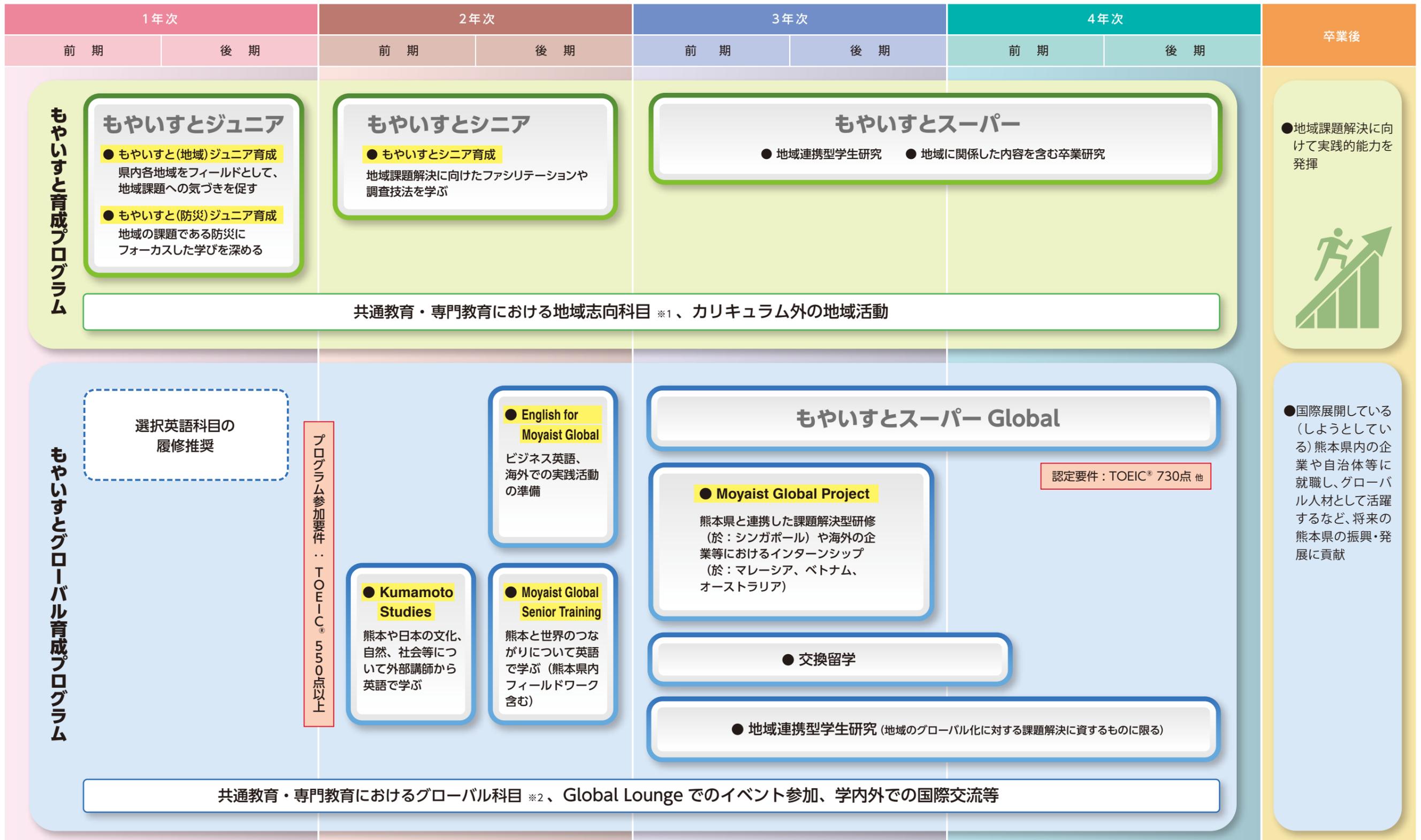
## 特色ある教育

- 地域に生き、世界に伸びる  
Think Globally, Act Locally



# もやいすと育成システム

■「もやいすと」とは 本学では、「地域に生き、世界に伸びる」をスローガンに掲げ、地域に根ざしながら世界を見据える人材の育成に努めています。その人材養成の目的を表す概念として、「もやいすと」という用語を用いています。この「もやいすと」の「もやい(舳い)」とは、もともと船を相互に繋ぐことを意味し、人と自然と地域社会とを再構築する「もやい直し」という言葉に由来しています。その「もやい」と「～する人」の「-ist」から、地域づくりのキーパーソンを「もやいすと」と呼んでいます。



※1 地域志向科目…熊本に関する内容(文化、自然、社会等)を含む科目、地域課題を内容として含む科目  
 ※2 グローバル科目…外国語能力の向上や国際理解・異文化理解を深める科目

# 地域に生きる

## もやいすと育成プログラム

### “地域づくりのキーパーソン”を育成する教育プログラム

このプログラムでは、熊本の自然や文化、社会に対する理解に立ち、専門の枠を超えて自ら課題を認識・発見し、地域の人々と協働して課題の解決に取り組む人材（もやいすと）の育成を目指します。

ジュニア、シニア、スーパーの3段階で実施しております。1年生から卒業まで「地域づくりのキーパーソン」としての素養を段階的に養成していくプログラムです。

県内各所へのフィールドワークや災害に備えるためのワークショップなどを通じて地域への理解や防災に対する意識を高め、グループワークを通じて合意形成能力やファシリテーターとしてのスキルを向上していきます。

もやいすと育成での学びや地域活動を積極的に行う学生には「もやいすとスーパー」として評価し認定する独自の評価制度を設け、卒業後も地域課題解決に向けて実践的能力を発揮する人材を育成しています。

## もやいすとジュニア育成

1年生全員が受講する必修科目です。「地域」か「防災」、どちらかを選択します。「地域」・「防災」ともに、フィールドワークやワークショップを終えた後はグループワークを行い、学部を交えたチームのメンバーと共に課題を見つけ、その解決策をまとめて成果発表を行います。

### 地域

地域への気づきを促す導入科目です。熊本県内の対象地域へのフィールドワークや地域課題発見と、解決へ向けたワークショップを行います。

### 防災

地域課題である「防災」にフォーカスした導入科目です。被災時に役立つ実践的なワークショップを行いながら防災意識を高め、災害が起きた時にどう対応をすべきか、また被災した地域をどのように復興していくかを学びます。



阿蘇の輪地切り活動 (2024年度撮影)



グループワークの様子 (2024年度撮影)



救命装置AEDの講習 (2019年度撮影)

## もやいすとシニア育成

「もやいすとジュニア育成」を受講した2年生を対象にした選択科目です。

地域リーダーに要求される基礎的なスキル、「リーダーシップと合意形成能力」を養成します。また、熊本県内各所へのフィールドワークを通して、聞き取り調査スキルや分析力などの調査技法のスキルを養い、ジュニアに対するファシリテーターとしての授業サポートを通じて「地域課題解決に向けたファシリテーションスキル」を養います。



人吉市  
青井阿蘇神社周辺散策  
(2023年度撮影)



フィールドワーク後の  
振り返り  
(2023年度撮影)



石川県珠洲市狼煙町  
被災状況の聞き取り  
(2024年度撮影)



石川県能登町白丸  
杜仲茶収穫ボランティア  
(2024年度撮影)

2024年度もやいすと育成プログラムの一部は一般財団法人 三菱みらい育成財団の助成により実施しました。

## もやいすとスーパーの声



### 2024年度認定

環境共生学部 環境共生学科  
居住環境学専攻 4年  
富田 美咲 さん  
(日向学院高等学校出身)

「もやいすとジュニア育成」では、地域に向き合う姿勢を学び、「もやいすとシニア育成」では、地域のために何ができるかを考え、実践する力を養いました。また、SA (Student Assistant) を務めたことで、他者の考えを引き出し、議論を深めるスキルも身についたと感じています。熊本には、地元をより良くしたいという思いで活動する方が多く、その姿勢や考えから多くの学びを得ました。地域の課題解決に向けた多様な価値観に触れることで、社会に出る上で求められる柔軟性が培われたのではないかと思います。今後もこの経験を活かし、地域や社会に貢献できる人材を目指していきたいです。もやいすとスーパーの認定については、就職活動の中で話題の一つにもなるため、認定をいただけたことを嬉しく思います。



### 2024年度認定

文学部 日本語日本文学科  
4年  
織田 綾乃 さん  
(佐賀県立佐賀北高等学校出身)

最初の地域に関する活動は、1年次に受講した「もやいすと(地域)ジュニア」でした。私たちのグループは阿蘇の草原維持について発表し最優秀賞をいただきました。また、NPO法人ドットジェイピーのプログラムにも参加し、フィールドワークや住民の方々の声から宇城市三角町の魅力を学びました。また、SA経験から課題解決のサポートについて学び、人生に役立つ力を身につけられたと感じています。

私は自分の地元である佐賀が好きで、高校生の頃から地域に根ざした活動がしたいと思っていたので、大学でこのように多くの学習・体験機会が与えられたことを嬉しく思います。これからも知識と体験のインプットを欠かさず、自らの幅を広げて地域に貢献できるよう励みたいと思います。

もやいすと育成プログラムの詳細は  
大学ホームページをご参照ください。



## 新熊本学

### 「熊本」を学ぶ、「地域」に学ぶ

熊本で学ぶことの意義、それはここ熊本でしか学べないことを学ぶこと。本学では、このような「熊本」にこだわった授業を全学共通科目の中で展開しています。それが、「新熊本学」。「熊本」という地域に、様々な角度からアプローチしていきます。

#### 〈開講科目〉

- 「新熊本学:ことば、表現、歴史」
- 「新熊本学:熊本の生活と環境」
- 「新熊本学:地域のビジネスリーダーに学ぶ」
- 「新熊本学:地域社会と協働」



「新熊本学」の講義風景 NPO法人熊本DARCセンター長 田邊忠司氏

## 協力講座

### 社会の第一線で活躍する人から学ぶ

「協力講座」とは、大学と協定を締結した企業の第一線で活躍する人たちから学べるオンリーワンの授業です。各授業のテーマについて学ぶだけでなく、社会で求められている知識や技能とは何か、また、大学で学ぶ理論、知識が実際の社会の中でどのように役立てられるかなどを、企業の持つ実践的知識をもとに「理論」と「実践」を学びます。

#### 〈協定企業と開講科目〉

- 熊本日日新聞社……………「マスメディア論」
- 九州電力熊本支社……………「エネルギーと社会」
- NTT西日本熊本支店……………「情報と社会」



熊本日日新聞社協力講座「マスメディア論」講義の様子



NTT西日本熊本支店協力講座「情報と社会」講義の様子

## フィールドワーク

### 現場に学び、実践力を得る

より具体的で深い問題意識や学修意欲を高めるため、現場での学修体験を重視しています。それがフィールドワークです。本学では、このフィールドワークの手法をカリキュラムの中に積極的に取り入れています。

#### 例：文学部

- 「長崎県島原市・肥前島原松平文庫探訪」
- 環境共生学部
- 「干潟の環境と生物群集」
- 総合管理学部
- 「菊池市街での街歩き」



和本書誌学実習にともなう展示見学



緑川河口干潟の環境調査



たらぎ財団と連携した多良木町特産品のPR販売



宇城市役所と連携した宇城市の魅力を探る活動



照明アート ～ナイトミュージアムinお祭りであん館～

## 地域連携型学生研究制度

### 学生研究を企業や社会と連動させたプログラム

地域連携型学生研究制度とは、地域企業・地域社会から研究テーマを募集し、それを学生が地域連携型学生研究として取り組むものです。

学生は、地域が抱える問題に取り組むことで、社会人としての演習の場になり、実社会における知識活用のあり方、コミュニケーション力、問題分析・解決力などを会得していきます。



公開審査会

### 令和7年度 地域連携型学生研究 マッチング成立テーマ一覧

連携先企業・団体	研究テーマ	学部	担当教員
1 熊本県北広域本部 阿蘇地域振興局	阿蘇の草原で整う ～企業EAP（従業員支援プログラム）向け 草原セラピーの実施効果の検証～	環境共生学部	松本 直幸
2 宇城市役所	空き家所有者への効果的な意識改革に関する研究	環境共生学部	佐藤 哲
3 大津町役場	昭和12年に行われた江藤家第9代当主武彦氏の 披露宴のメニューの解説と料理の再現	環境共生学部	田尻 美千子
4 一般財団法人熊本県 スポーツ振興事業団	熊本県民総合運動公園：施設の魅力を活かした誰もが 歩きたくなる仕組みづくり	総合管理学部	小園 和剛
5 天草市役所	高校生の地域内就職意識を高める取組みに関する研究	総合管理学部	井寺 美穂
6 宇城市役所	宇城市の魅力発掘とその効果的な発信について	総合管理学部	飯島 賢志
7 御船町役場	まちづくりと人口増加率の相関関係について	総合管理学部	飯島 賢志
8 熊本日日新聞社	学生が得たい情報 学生に得てほしい情報	総合管理学部	飯島 賢志



草原ピラティスの様子



モンブラン大会の様子



制作した空き家に関するパンフレット

## 「共創の流域治水」に関する研究活動

令和2年7月豪雨の発生後、熊本県からの要請を受け、令和3年4月、学内に「緑の流域治水研究室」を設置しました（令和7年4月から「共創の流域治水研究室」）。

令和3年10月からは、JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）の採択を受けた研究プロジェクト（「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点）を開始。本学は、このプロジェクトの代表機関であり、地域に生きる大学として、被災地の復興と球磨川流域の持続的発展に寄与していきます。

### 球磨川流域の持続的発展を目指す研究開発課題

この研究プロジェクトは、「共創の流域治水を核とした、大災害後も安全・安心に住み続けられ、豊かな環境と若者が残り集う、持続可能な地域の実現」を地域ビジョンとして掲げ、以下の4つをターゲットとする6つの研究課題を設けて研究活動を行っています。



### 流域治水を核とした復興を起点とする持続社会 地域共創拠点

#### ビジョン

共創の流域治水を核とした大災害後も安全・安心に住み続けられ、  
豊かな環境と若者が残り集う持続可能な地域の実現

#### 研究ターゲット

水害に  
安全・安心な地域

豊かな環境と  
恵みのある暮らし

若者が  
残り集う地域

多世代共創による  
「共創の流域治水」の推進

#### 研究開発課題

研究開発課題0  
総合マネジメント

研究開発課題1  
流域治水技術の  
開発

研究開発課題2  
流域治水  
×環境再生/  
森林マネジメント

研究開発課題3  
流域治水  
×IoT/DX

研究開発課題4  
流域治水  
×産業創生

研究開発課題5  
パートナーシップ  
による推進手法

## 「共創の流域治水」とは？

流域全体を対象に、ハード面だけでなく、ソフト面での対策も充実させる治水対策を「流域治水」といいます。流域内のすべての場所を対象とするため、地域との協働により実施することが求められます。「共創の流域治水」は、この対策に環境的な観点を盛り込み、多様な共創により、持続的な地域づくりや環境保全にもつなげる治水対策です。



県立南陵高校に整備した雨庭



県立大学内に整備した  
国内最大級の実験水路



中学生を対象とした勉強会  
(ワークショップ)



地域共創拠点  
ホームページ

# 世界に伸びる

## 国際教育(学部生対象)

### もやいすとグローバル育成プログラム

グローバルな視点を持ち、地域課題に柔軟に対応できる能力を養うプログラムです。1年次から4年次までの体系的な学びとグローバルな視点を持つため海外インターンシップ等を促進し、世界でも活躍できる学生を育成します。

本プログラムの参加学生には、英語で熊本や日本の文化、自然、社会等について学ぶ「Kumamoto Studies」、海外で課題解決型研修やインターンシップ等を行う「Moyaist Global Project」等のユニークな専攻科目が用意されています。これらの科目を履修することで、①コミュニケーション能力(語学力・情報発信力)、②主体性、柔軟性、責任感、③多文化共生に対する理解を身に付けることができます。

2025年度からは、熊本県と連携した課題解決型研修(シンガポール)や、海外の企業等でのインターンシップ(マレーシア、ベトナム、オーストラリア)を実施することとしています。



### Intensive English

英語運用能力を高めることを目的に、英語漬け環境で短期集中的に英語を学びます。期間中は英語のみを使用するルールのもと、学内学修と留学生を加えて行う合宿形式の学修とを組み合わせで行っています。講義やディスカッションだけでなく、留学生と一緒にゲームやパフォーマンスなどで異文化理解を深めます。



### TOEIC® IP 2年生全員受験の実施

本学では、各団体が日程や場所を自由に設定して試験を行うことができるTOEIC® (Test of English for International Communication) の団体特別受験制度 (TOEIC® IP) について、後援会と共催で実施している任意受験を年に2回、全学部2年生を対象とした全員受験を年に1回実施しています。

2023年度から実施している全員受験については、大学が受験費用を全額負担するため、学生は受験料の負担なく受験できます。

### 英語学習用のe-learningシステム

本学では、学生の英語能力の向上を図るため、英語学習用のe-learningシステム (Reallyenglish) を導入しています。総合的な英語力をバランスよく強化しながら、苦手分野を克服することで自信をつけていきます。さらに、TOEIC® のスコアアップも目指すことができます。大学が受講費用を全額負担するため、全学部1,2年生は受講料の負担なく利用できます。

## 国際交流

### 学部生・大学院生の受入れ

これまで、米国・韓国・中国・インドネシア・台湾・ベトナム・タイ・タンザニア・ブラジル・モンゴル・ガーナ・ミャンマー・スーダン・アフガニスタンからの留学生を学部生、大学院生、研究生、特別聴講学生(交換留学生)として受け入れてきました。

	学部	大学院	研究生	特別聴講学生	計
留学生数	2	8	0	5	15

(2025年5月1日現在)

### 学生交流協定校・学術交流協定校

学生交流協定校	【アメリカ】 モンタナ州立大学ビルングス校
	【韓国】 祥明大学校
	【台湾】 開南大学
学術交流協定校	【アメリカ】 モンタナ州立大学ボーズマン校、チャタム大学、モンタナ大学
	【韓国】 海洋大学校、ソウル市立大学校
	【タイ】 ワライラック大学、カセサート大学
	【中国】 広西大学
	【台湾】 国立台北科技大学、中原大学
	【インドネシア】 ブラウィジャヤ大学
	【フィリピン】 デラサール大学CIESOL (ESLプログラム)

### 短期語学研修団の受入れ

祥明大学校やカセサート大学から語学学習と文化体験を目的とした研修団を受け入れており、本学の学生と交流を行っています。



祥明大学校からの研修団



カセサート大学からの研修団

### 留学生との交流

学生のみなさんに異文化理解や語学学習の機会を提供することを目的に、留学生による語学講座(英語・中国語・韓国語)や留学生との交流会を開催しています。



留学生による語学講座



交流イベント

## 海外留学・研修

### 学生交流協定締結校

1997.2 韓国・祥明大専校 (1989.10に姉妹提携)  
1997.9 米国・モンタナ州立大学ピリングス校  
2025.3 台湾・開南大専

祥明大専校には10ヶ月間、モンタナ州立大学ピリングス校には9ヶ月間、単位互換及び授業料相互不徴収の留学制度で交換留学生を派遣しています。

また、2025年3月には開南大専とも学生交流協定を締結し、交換留学生の相互派遣を行う予定です。



韓国・祥明大専校



米国・モンタナ州立大学ピリングス校



#### 祥明大専校への交換留学生

文学部英語英米文学科4年

小野 あや香さん  
(佐賀県立致遠館高校出身)

私は、韓国の祥明大専校に約10ヶ月間留学しました。高校生の頃から、韓国に興味があり交換留学制度を利用して韓国に行けると決まった時には嬉しさが胸がいっぱいでした。祥明大専校では、さまざまな方のサポートのもと、とても充実した生活を送りました。特に、韓国の学園祭は非常に大規模で、感動したことを覚えています。交換留学を通して、韓国語の上達を実感するだけでなく、日本以外にも友達ができたり、国際問題に興味を持つようになったり、今までは全く違う環境で生活したことで忍耐力や挑戦心をより実感するようになったりと良い影響を多く感じています。



#### モンタナ州立大学ピリングス校への交換留学生

文学部英語英米文学科4年

内田 倫子さん  
(熊本県立第一高等学校出身)

私はアメリカのモンタナ州立大学ピリングス校で交換留学生として在籍しています。熊本県と同様にとても自然豊かで、人も親切であたたかいばかりです。ピリングス校の魅力は、整った環境で学習に取り組み、自分の専攻科目のみならず、文系理系・芸術科目を含め好きな教科を履修できる点だと思います。また、英語スキルの向上はもちろんのこと、アメリカの日常生活を体験したり、多国籍の生徒や先生と交流したり、新しい価値観や見識を吸収したり、自己成長に繋がる絶好の機会だと感じています。

### 短期語学研修

韓国・祥明大専校には1週間、アメリカ・モンタナ州立大学ピリングス校には4週間、タイ・カセサート大学には2週間の語学学習と文化体験を目的とした研修団を派遣しています。また、フィリピン・デラサル大学の付属機関による3週間のオンライン留学プログラムも提供しています。



祥明大専校短期研修



モンタナ州立大学短期研修



カセサート大学短期研修

### 留学支援

- オフィスアワー (P66) を利用して、留学経験のある教員に留学等の相談をすることができます。
- 協定校への留学を希望する学生に対し、留学制度や奨学金の説明会を実施しています。留学経験のある学生に話を聞くこともできます。
- 留学を希望している学生に対し、海外の大学での授業や生活についてのアドバイス等を行う「留学対策講座」を開講しています。
- 学生交流に関する協定に基づき、派遣される交換留学生については「短期派遣留学生支援奨学金」を、文学部英語英米文学科の一学期間以上の留学・研修を行う学生に「小辻梅子奨学金」を支給しています (P77)。
- 海外への留学・研修を行う学生 (後援会会員のみ) に、期間に応じた助成金を支給しています。



研修プログラム説明会

## 語学教育支援

### Global Lounge

Global Loungeでは、楽しみながら語学を学ぶことができます。語学学習に役立つ様々な教材や機材 (DVD、書籍、雑誌、ボードゲーム等) が利用できます。また、海外をテーマにしたイベントも定期的に開催しています。



Café Eventとして、留学生による出身国の紹介、JICA海外協力隊の講演など、国際的なビジョンが広がるようなイベントを開いています。留学生と交流する機会もあり、多くの学生が参加しています。



異文化に触れるために外国の映画やドラマをDVDやBlu-rayで鑑賞することができます。



各種語学検定 (TOEIC®、英検等) 関連書籍、洋書、英字新聞・雑誌の貸出を行っています。

## 国際教育交流センター

### 国際教育交流センター概要

国際教育交流センターは、国際交流や国際教育・貢献活動を通じたグローバル人材の育成に取り組んでいます。

#### 主な所管業務

- 国際教育の企画・調整  
高度グローバル人材育成のための国際協力・貢献活動を終えた者の受入れ支援及び国際教育・貢献活動を組み込んだ大学院教育の実施支援
- 国際交流の推進  
・ 海外協定校との交流  
・ 学生の留学及び受入れ留学生の支援 等
- 語学教育の支援  
・ Global Loungeの運営  
・ Café Eventの開催 等



# 共通教育センター

Center for General Education

## 文学部

Faculty of Letters

- 日本語日本文学科 Department of Japanese Language & Literature
- グローバル・スタディーズ学科 Department of Global Studies

## 環境共生学部

Faculty of Environmental & Symbiotic Sciences

- 環境共生学科環境資源学専攻 Division of Environmental Resources, Department of Environmental & Symbiotic Sciences
- 環境共生学科居住環境学専攻 Division of Human Habitat, Department of Environmental & Symbiotic Sciences
- 環境共生学科食健康環境学専攻 Division of Food & Health Environmental Sciences, Department of Environmental & Symbiotic Sciences

## 総合管理学部

Faculty of Administrative Studies

- 総合管理学科 Department of Administrative Studies



# 共通教育センター



「人文科学、自然科学、社会科学の集約型大学」である  
 熊本県立大学の特色を生かした共通教育で、  
 「地域に生き、世界に伸びる」人材の育成をめざします。

共通教育は、基盤科目と教養科目の2つのカテゴリーから成っています。基盤科目としては「外国語(英、独、仏、中、韓)」、「情報処理とデータサイエンス」、「キャリアデザイン」、「健康スポーツ科学」、「地域理解とリーダーシップ」の分野を用意し、大学そして社会で行動していくための基礎能力の育成を行います。現代社会は複雑・多様化しています。教養科目では「人文科学」、「自然科学」、「社会科学」が集約された本学の長を生かし、それぞれの学問分野から多くの授業を開講しています。これらを共通教育を通して市民性の涵養を図るとともに、現代社会をとらえる見方や考え方の育成をめざします。

細分化が進む現代社会だからこそ、豊かな人間性と物事を的確に判断する能力が求められています。本学では複雑化した現代社会を見る豊富な科目で「地域に生き、世界に伸びる」人材を育成します。

### 共通科目群

#### 基盤科目

##### 外国語

本学の外国語教育では、国際共通語としての英語の実践的側面に力を入れ、国際共通語としての英語の運用能力の向上を目標としています。また、初修外国語として「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」の科目を開講し、聴き、話し、読み、書く総合力を養成し、外国の書籍を読み、それらの持つ豊かな内容の理解を目指します。



- 科目：英語／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語

##### キャリアデザイン

大学で何をいかに学ぶか、その姿勢や方法を学ぶとともに、自己のキャリアを継続的にデザインし続けていく能力を育成します。

- 科目：プレゼミナール／キャリア形成論／キャリア体験演習

##### 健康スポーツ科学

運動・スポーツ活動の健康に対する有用性について理解を深め、将来にわたって心身ともに健康な生活の設計と実践ができる能力を育成します。



- 科目：健康の科学／生涯スポーツ実習

##### 情報処理とデータサイエンス

近年の情報ネットワークシステムの基本構成や使用法、その使用にあたっての情報モラルやセキュリティについて学び、情報機器の基本的な操作を学習します。また、様々な場面でデータに基づく意思決定ができる基礎的な能力を養うこと、すなわちデータ思考の基礎を涵養することを目指します。



- 科目：情報処理入門／データサイエンス入門／データサイエンス演習

##### 地域理解とリーダーシップ

地域の抱える課題に関心を持ち、地域の人々と協働して課題解決の方策を考える、地域づくりのキーパーソンを育成します。「もやいす」と育成システムもこの分野で展開します。また、授業によっては、地元企業の経営者や熊本県庁職員等多くの外部講師を招へいし、地域社会の今を紹介します。

- 科目：もやいすジュニア・シニア育成／新熊本学：ことば、表現、歴史／新熊本学：地域のビジネスリーダーに学ぶ など

## 共通科目群

### 教養科目

#### 人間と文化

人間の感情や判断は、その人が育った時代や地域の文化の影響を強く受けています。思想、宗教、歴史、芸術、文学、言語などを学びつつ、人間の思考がいかに形成され、表現されてきたのかを考察し、その考察を通して人間の本質への洞察力を高めることを目指します。



●科目：科学の思想／現代世界と歴史／人間と芸術／心理学入門 など

#### 自然と環境

現代の基礎科学に関する知識を修得し、それが先端技術として生活にどのように利用され、今後どのように活用されていくのかを考えます。また、現代社会が抱える環境問題について、多角的に考察します。



●科目：環境と生物圏／エネルギーと社会／環境と生きる／住まいと地域環境／食と健康 など

#### 社会と世界

法律、政治、経済、情報等様々な要因から規定されている社会が我々の生活にどのように関わっているのかを学び、社会が抱えている課題とその解決策を考察します。また、グローバル化が進化する現代世界における経済問題・国際関係についての理解を通し、我が国の国際的位置付けや役割等について考察し、国際人としての見識を養います。



●科目：生活と憲法／現代社会と企業／情報と社会／マスメディア論／世界の経済／国際協力論 など

## キャリアデザイン科目

### プレゼминаール

#### 大学で学ぶ楽しさと難しさに触れる

大学で何をいかに学ぶかという学び方や大学生活の過ごし方を、演習を通して学ぶ「プレゼминаール」を1年次前期の必修科目として開講しています。

10名程度の少人数のゼミ形式で実施され、学生同士、あるいは教員と学生がお互いに考えていることや感じていることを述べあい、刺激しあい、切磋琢磨しあう場として、大学教育への全般的な案内、導入～図書館等の施設の利用法～レポート/論文の書き方、グループワーク、プレゼンテーションなどを学んでいきます。

### キャリア体験演習

#### 企業・自治体等の現場で実際の仕事を体験する

キャリアデザイン科目の一つとして、通常の講義では得られない実践的な教育プログラム「キャリア体験演習(全学共通、自由科目)」を用意しています。本授業は、大学と地域の企業や自治体が協働し、学生の希望とマッチングして実施するものです。事前ガイダンス～インターン実施～レポート作成を通して就業観を醸成していきます。



グループワークを実践する学生



キャリア体験演習ガイダンス

### キャリア形成論

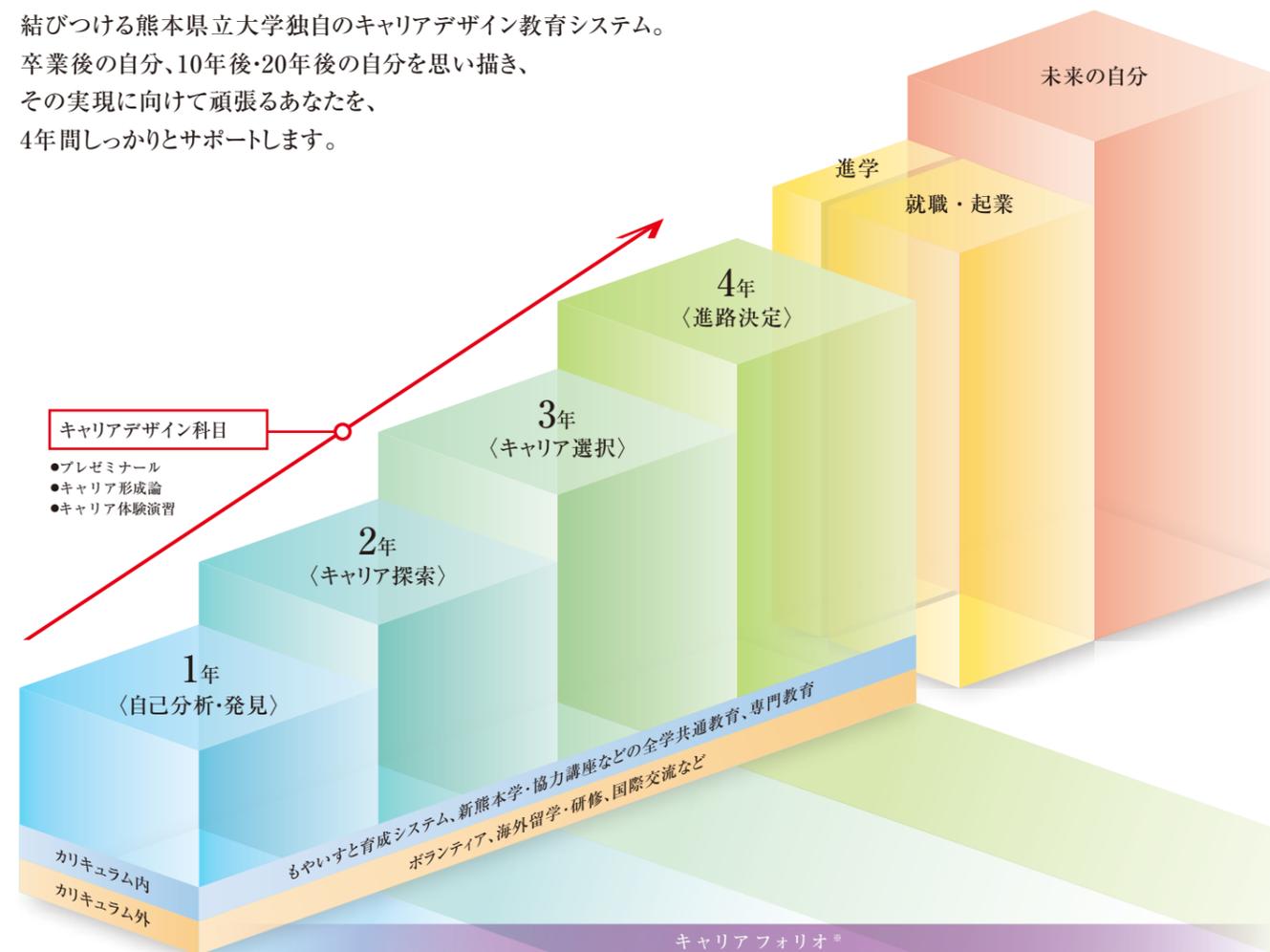
#### 振り返りを通して大学での学びや卒業後のキャリアを考える

現代社会は急速に変化し、ますます複雑化しつつあり、不確実な事象も増えています。このような社会を生き抜くためには、学生自身が自らの経験や価値観を振り返りながら主体的に検討することが大切です。その土台作りのために、「キャリア形成論」を1年次前期の必修科目として開講しています。

「キャリア形成論」では、理事長、学部長、学長、さらに上級生、卒業生との対話を通じて、大学での学びをどのように進めるかを自身の経験を振り返りながら検討します。また、ライフデザインやキャリアデザインに関する講義やワークを通じて、在学中だけでなく卒業後の成長やキャリアの展望についても深く考察します。

## キャリアデザイン教育システム

充実した共通教育・専門教育のカリキュラムと様々な就職支援・資格試験対策などのプログラムを中心としたキャリアサポートとを、キャリアフォリオ\*を活用して有機的に結びつける熊本県立大学独自のキャリアデザイン教育システム。卒業後の自分、10年後・20年後の自分を思い描き、その実現に向けて頑張るあなたを、4年間しっかりとサポートします。



キャリア形成 就職支援	1年	キャリア入門	2年	キャリア体験演習 公務員ガイダンス	3年	キャリア体験演習 就職セミナー 企業・公務員説明会	4年	個別企業説明会 就職セミナー
	進路・就職相談							
資格等	教員免許	文学部 【日文】中学(国語)、高校(国語) 【英文】中学(英語)、高校(英語)		環境共生学部 中学(理科)、高校(理科) 中学(家庭)、高校(家庭) 高校(農業)、栄養教諭 ※食のみ		総合管理学部 中学(社会)、高校(公民) 高校(情報)、高校(商業)		
	受験資格 任用資格 取得可能資格 など	【日文】日本語教員養成課程(主専攻) 【英文】日本語教員養成課程(副専攻)		【居住】一級建築士、二級建築士 一級建築施工管理技士、二級建築施工管理技士 【食】栄養士、管理栄養士 食品衛生監視員および食品衛生管理者		社会福祉主事 社会調査士		
	受験対策実施	【英文】TOEIC*、TOEFL*		【資源】環境計量士				
支援機関	キャリアセンター		図書館	デジタルイノベーション推進センター		国際教育交流センター		

\*本授業以外に、企業等主催の公募型インターンシップ等についても、キャリアセンターで紹介しています。

\*熊本県立大学では、学修履歴の記録を「キャリアフォリオ」と呼んでいます。

# 文学部

Faculty of Letters

## 「人間」の生き方と文化について深く考える

文学部は、言語、文学、歴史、思想等にわたる人文的教養の基礎に立ち、日本語、日本文学、日本語教育、あるいは英語コミュニケーション、グローバル・スタディーズを専門的に教育・研究します。

[アドミッション・ポリシー] ~文学部はこのような人を求めています~

わたしたち人間が作り上げてきた様々な文化を探究し、これから作り上げるべき文化のあり方を考えていく、それが文学部の使命です。古今東西の様々な文献を読むことで、それぞれの時代の人々の考え方を理解し、ことばによるコミュニケーションを通して人や社会との着実な関係を作り上げることに取り組んでいきます。

日本語とはどのような言語なのだろうか、日本語を歴史的にあるいは客観的に学ぶとはどういうことなのだろうか、英語を正しく理解し表現する力を身に付けるにはどうすればよいのだろうか、日本の文学や英語圏の文学を深く理解したい、そして、より広い世界の文学、言語、歴史、思想を学んでみたい、このような問題意識や希望を持つ人に文学部は応えていきます。ことばと人間に関心を持ち、意欲をもって探究のできる人、そんな人を文学部は求めています。



### 日本語日本文学科

- ①ことばや文学作品が持っている、人間を動かす力のみならずを探究しようとする人(「現代文」「古典」を履修していることが望ましい)
- ②日本語や日本文学が、時代とともにどのように移りかわってきたかを学ぼうとする人(「日本史」を履修していることが望ましい。また、日本文学史について一定の知識を持っていることが望ましい)
- ③日本語や日本文学についての知識や技術を、社会・地域の中で積極的に活かしていこうと志す人(現代社会の動向・要請について常に関心を持って欲しい)
- ④特に、中学校・高等学校の国語教員、もしくは外国人に日本語を教える日本語教師を目指す人

### グローバル・スタディーズ学科

- ①英語による高度なコミュニケーション能力と国際感覚を身につけて社会で活躍したい人
- ②世界に広く目を向け、国際社会の理解に必要な知識を深め、国際的に交流活動していきたい人
- ③英語による言語、文化、社会の探究に関心のある人
- ④言語教育に関心を持ち、英語教育などに従事したいと考えている人

大学院(文学研究科)については→P56

### ◎2026年度入学定員及び募集人員

文学部	入学定員	募集人員										
		一般選抜		自己推薦型選抜	特別選抜					留学生・帰国生徒 社会人		
		前期	後期		学校推薦型選抜		公募		公募			
日本語日本文学科	45名	30名	10名	—	5名	—	—	—	—	—	—	若干名
グローバル・スタディーズ学科	45名	28名	10名	—	7名	—	—	—	—	—	—	若干名

### 文学部 4年間の学び

4年間を通じて、文学・言語を中心とした人文学の基礎的知識を身につけ、併せて全学共通科目及び学部共通科目により総合的な素養を身につけることで、幅広い知見と判断力を養い、広く多角的に物事をとらえ思考できるよう、両学科ともカリキュラムを編成しています。

文学部の「専門科目群」は、「人文基礎」、「主要科目」、「学部共通科目」、「演習」、「特殊研究」、「卒業論文」から構成されます。1・2年次では、両学科の学生が「人文基礎」や「学部共通科目」群の科目で、「主要分野」や「人文学」を支える基盤的知識を身につけます。同時に、1年次から4年次にかけて、順次「主要科目」、「学部共通科目」、「演習」、「特殊研究」というように、知識、方法論、読解技能、並びに発表技術を積み上げ、学士課程の最終成果である「卒業論文」を執筆します。

区分	1年	2年	3年	4年
共通科目群	基盤科目 外国語 / 健康スポーツ科学 / 情報処理とデータサイエンス / キャリアデザイン / 地域理解とリーダーシップ		教養科目 人間と文化 / 自然と環境 / 社会と世界	※詳細はP21
専門科目群 日本語日本文学科 …P26 グローバル・スタディーズ学科 …P30	人文基礎 歴史基礎論 / 言語基礎論 文学研究への招待 / 知識と方法			
	主要科目 [日本語日本文学科] 日本語学 / 日本文学 / 日本語教育 / 関連分野 [グローバル・スタディーズ学科] English Communication / Global Studies			
			学部共通科目 地域文化研究 / 人文学(歴史学 / 心理学 / 中国文化論 / 異文化コミュニケーション / 比較文学)等	
			演習	
			特殊研究	
				卒業論文

※演習は日本語日本文学科では2年次から、グローバル・スタディーズ学科では3年次から開講 ※特殊研究は日本語日本文学科では3年次から、グローバル・スタディーズ学科では4年次から開講

### [学部長からのメッセージ]

言語や文学には人間の心や身体性、文化、歴史が反映されています。文学部は言語と文学を通して人間の思考方法とそれを表現する方法を学ぶ学部です。その先にあるのは人間、あるいは人間と社会のあり方の本質を探究することです。

人間は捉えている同一の対象が違う見え方をしているにも関わらず同じように見ているような錯覚を持ちます。同じものを見ていても見ている人の背景(思想、文化、歴史、経験、立場など)が異なれば必ず見え方は変わってきますが、なかなかそれに気付かないものです。

現代社会の様々な変化にまどわされることなく、特定の基準に囚われず多様な視点から本質を見ることを忘れない姿勢が重要です。文学部では日本語や英語を通して言語や文学ひいては文化の研究をすることで様々な視点から物事を捉える力を養成します。このような文学部の伝統を重視しつつ、さらに新たなグローバル・スタディーズ学科では、高度な英語運用能力やグローバル化への対応力を身に付けたグローバル人材を育成します。

学生の一人一人がそれぞれの魅力に応じて個性を発揮し、皆が大学の中で「生きる場」を見つけ、能力を伸ばし、社会に出てからも自分の居場所を自身で開拓していけるような力を身に付けてほしいと思います。これから我々人間が作り上げていく文化のあり方を決めていくのは若き学生諸君です。

文学部長  
村尾 治彦



MESSAGE  
from  
the Dean

# 日本語日本文学科

Department of Japanese Language & Literature



## [学科の特色]

日本語日本文学科は、基本的に日本文学・日本語学・日本語教育学の3つの領域で構成され、日本の文学作品やことばの研究を通して、文化の継承性を問い、深く人間を見つめていく力を養成する学科です。日本の古代から近代に至る文学作品、古代語から現代語までを対象に、歴史的・文化的背景をも視野に入れて、読解・分析の能力を育成するために、文学・語学とも各時代・分野をカバーできるスタッフを擁し、系統立ったカリキュラムを組んでいます。

本学科では、上記3領域の学修を基礎とした上で、卒業論文に向け、特に熊本・九州その他の地域文化を研究対象に選んだり、歴史・思想など隣接する領域と関連づけた研究や異文化との比較研究もできるようになっています。

少人数での演習や特殊研究によって学生個々の問題意識に合わせた指導が展開されることに加え、各地の方言や古典籍・近代文学資料の調査、国内外での日本語教育活動等、学外での実践的な取組が活発なことも特色の一つです。

■ 詳しくは学科ホームページをご覧ください。  
<https://jll.pu-kumamoto.ac.jp/>

## [日本語日本文学科 4年間の学び]

### 1年次

将来のキャリア形成に関する意識を醸成し始め、各種の「概論」「基礎論」を通して、日本語学・日本文学研究のための基礎的な知識を身につけます。併せて各時代の「文学史」や「講読」により、文学・語学研究に用いる資料への関心を喚起します。また、歴史・言語・思想の面から、広く人文学にわたる基礎的な知識と思考法を身につけ、ことばと作品を扱うための基盤を養います。

### 2年次

各分野の知識を補いつつ、「演習」により、知識の応用と思考・判断、資料操作と発表の経験を積み重ねます。この経験を通して、文章を正確に読解しまとめる力と、自らの考えを精緻かつ効果的に伝える表現力を養います。これらの力の育成に特化した「アカデミックスキル」の受講も有効です。なお、研究力をバランスよく身につけるため、「演習」は語学・文学の両分野からそれぞれ1科目を必修としています。

### 3年次

各自の関心に合わせた卒業論文の執筆を見ずして、「特殊研究」の分野を選択します。人文学分野を含む「演習」による訓練も継続しながら、テーマに応じた問題の切り口を探し、分析と論述の実践を重ねていきます。併せて、関心を内面的に発信しようとする態度を身につけます。

### 4年次

1~3年次での学修成果の集大成として、卒業論文に取り組みます。また学生各自の必要に応じ、知識や思考、技能のための科目を補完的に履修することができます。卒業論文への取り組みを通し、日本語・日本文学に関する自発的な関心をもとに、それまで得た知識と分析力を駆使し、論理的に考えをまとめる力を育みます。併せて、社会生活に必要な思考力・判断力・表現力を体得します。

## [開講科目(専門科目)]

区分	1年	2年	3年	4年
人文基礎	歴史基礎論 / 言語基礎論 文学研究への招待 / 知識と方法			
日本語学	日本語概論	日本文法 / 方言学基礎論 現代日本語の分析	日本語史 / 日本語学史	
主要科目	文献学基礎論 / 文学研究法基礎			
	古典文学史 / 近代文学史 / 古代文学講読 中世文学講読 / 近世文学講読 / 近代文学講読			
	地域文献講読			
	漢文学史			
日本語教育	日本語教授法			
関連分野	地域踏査演習	アカデミックスキル		
	書道(講義) / 書道(実技)	古典文化研究 / 言語文化研究 近代文化研究 / 近代地域文化研究 / 日本古典文化論		
学部共通科目	情報処理発展 / 日本文化論 / 西洋文化史 / 地域文化研究 / 文化人類学 / 歴史学講義 / 日本文化史講義 / 中国文化論 比較文学講義 / 中国文学史 / 日中比較文学 / 日本語教育教材研究 / 日本語教育評価法 / 心理学講義 / English Grammar Introduction to English Linguistics / History of English Language / 異文化コミュニケーション論 / Junior Seminar / 英語文学多読入門			
演習	日本語学 / 日本文学 / 日本語教育 / 複合			
	人文学(歴史学、思想史、中国文化論 日本文化論、異文化コミュニケーション)			
特殊研究	日本語学 / 日本文学 / 日本語教育			
	人文学(歴史学 中国文化論、日本文化論、 異文化コミュニケーション)			
卒業論文	卒業論文			

### 取得資格

教職課程の履修により、中学校・高等学校教諭一種免許状(国語)を取得できます。



文学部日本語日本文学科4年 鶴崎 清美 さん (長崎県立佐世保北高等学校出身)

私は国語科の教員になりたいと思い、関心のある研究をしつつ、教員免許も取得できる日本語日本文学科に進学しました。この学科には学生会という行事の運営などを行う団体が存在し、そこで会長を務めておりました。アルバイトや学習をしながら会長を務めることは大変でしたが、私の武器のひとつになっていると実感しています。

現在は古代の文学を専攻していて、卒業論文の題材として扱う『古事記』を中心に学びを得ています。また、中・高の教員養成課程をとっています。その中で特に印象に残ったのが教職の選択必修科目である「生活と憲法」という科目です。実際の裁判例を元に、どのような法を使えば良いか考えて文章にすることが多い科目でした。私はこの講義の中で、条件の活かし方と的確に「伝える」能力を養うことが、個人としても教員としても必要なものだと感じました。

“文学”や“言語”という枠にとらわれず、様々な科目から発展できるのが日本語の面白いところだと本学で気づくことができました。その発見から、成長するために何事にも挑戦してみようと踏み出す意欲を高められています。

皆さんも日本語日本文学科で、新たな一歩を踏み出してみませんか。



複合演習



インドネシア ブラウウィジャヤ大学での日本語教育実習

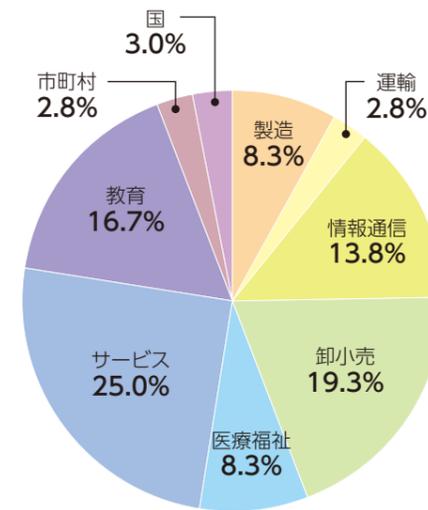


日本語学特殊研究

[卒業後の進路]

民間企業や事務系の公務員、国語科教員や日本語教師が考えられます。民間企業では学科で培った問題解決能力やコミュニケーション能力を生かし、教育や出版関係をはじめ幅広い職種での活躍が期待されます。もちろん大学院への進学も可能です。

業種別就職状況(2023年度)



主な進路一覧(2021~2023年度)

● 就職

- 【建設】リブワーク
- 【製造】九州フジパン、再春館製薬所、デリカフレンズ、村田園
- 【運輸】エムケイ
- 【電気・ガス・水道】大谷商会
- 【情報通信】あつまるホールディングス、アドバンティブ、ATJIC、テクノアート、デジタルハーツ、西日本新聞プロダクツ、ハイコム、肥銀コンピュータサービス、ユニバースジャパン
- 【卸小売】アイングループ、アントルメ果樹、エルソニック、菊鹿資材、熊本トヨペット、コスモス薬品、ゾフ、ダイレックス、大信薬局、天水総合カンパニー、同仁堂、トライアルカンパニー、日産プリンス熊本販売、フードウェイ、フタバ、ブックオフグループHD、ゆめmart熊本
- 【金融保険】大分銀行、大分県信用組合、東京海上日動コミュニケーションズ、日本生命保険相互会社、肥後銀行、福岡信用金庫
- 【不動産】ケイミックスパブリックビジネス、大東建託リーシング
- 【医療福祉】アインホールディングス、熊本赤十字病院、済生会熊本病院、桜十字病院、杉村病院、社会福祉法人天上会、東京都立病院機構、長嶺会
- 【サービス】アイオ、エイジェック、NPK、オフィス寺島、九州産業交通HD、熊本宇城農業協同組合、熊本消毒ホールディングス、サニーライフ、CTMサブライ、ciel社会保険労務士法人、ジョイフル、STAR CAREER、CENTRIC、寺原自動車学校、トランスコスモス、にしけい、Hub craft inc、肥後葬祭、人と木、ブレナス、ベルクリック、星野リゾートマネジメント
- 【教育】英進館、大分県教育委員会、加寿美学園、九州学院高等学校、京都教育大学、熊本県教育委員会、熊本国府高等学校、熊本市教育委員会、湖東学園、佐賀県教育委員会、尚綱学園、創志学園、東京都教育委員会、富山県教育委員会、福岡市立福岡女子高等学校、宮崎県教育委員会
- 【県】鹿児島県、熊本県、長崎県
- 【市町村】宇城市、唐津市、北九州市、熊本市、長崎市、七尾市、行橋市
- 【国】海上自衛隊、熊本国税局、熊本東税務署

● 進学

熊本県立大学大学院文学研究科日本語日本文学専攻、熊本大学大学院教育学研究科教職実践開発専攻、北海道大学大学院文学院人文学専攻

卒業生からのメッセージ



私は高校時代、演劇部で脚本や演出を手がけていました。物語を作るうえで、日本語や文学について深く学びたいと考え、日本語日本文学科への進学を決めました。

大学では、日本語学演習や歴史基礎論など、多くの講義が印象に残っています。共通して言えるのは、日本語を知ること、コミュニケーションの受け取り方が変わったほか、何気ない看板の文字や広告の表記など、身近な色んな事柄にも自然と目が向くようになったということです。

大学で特定の分野の研究をしなければ出来ない仕事もありますが、そうでない仕事もあります。結局は学科に関係なく、やりたいもののために日々努力するのだと思います。

私は現在、映像配信のビデオエンジニア、CMの助監督、絵コンテ制作、チラシデザインなど“言葉とは異なる表現”を扱う仕事をしています。これらの仕事の多くは独学からのスタートでしたが、周囲の方々に教えていただきながらなんとか形にできているのは、大学での日本語についての学びを活かし、円滑なコミュニケーションが取れたからです。本学科の先生方は、学生一人ひとりと真剣に向き合い、私たちの小さな疑問に寄り添い、考えるヒントを与えてくださいます。

「なぜ相手に伝えたいことが上手く伝わらないのか」「なぜあの歌の歌詞が耳に残るのか」など、日本語や日本文学について知りたいと思う小さな疑問があれば、ぜひ日本語日本文学科の扉を叩いてみてください。言葉を通して新しい視点や可能性を広げ、自分自身を深めるような学びが待っています。

【勤務先】

株式会社Hub.craft

2023年3月  
文学部日本語日本文学科卒業

桑原 悠紀 さん  
(熊本県立第一高等学校出身)

# グローバル・スタディーズ学科

Department of Global Studies



## [学科の特色]

グローバル・スタディーズ学科は、高度な英語運用能力とGlobal Competence(グローバル社会において、多様な価値観や文化の中で他者と協働し、より良い社会の実現に貢献する力)を身に付けることを目標としています。このため、English Communication科目群とGlobal Studies科目群を設けています。前者では、1年次から4年次まで継続する「English for Global Communication」科目等で卒業時まで徹底した英語運用能力の育成や批判的思考能力の養成を行います。各学年に到達目標を示し、4年次卒業までに730点のTOEIC®の目標スコアを設定します(1年次:550点、2年次:650点、3年次:690点、4年次:730点)。後者では、グローバル化への対応力の養成のため、異なる背景をもつ人々の考え、文化、歴史、社会に関わる世界の諸問題を英語で考え、議論、発信していく能力を育成する科目を配置しています。このほか、実践的学びの場として、オンライン留学や海外インターンシップ、様々な国際交流活動が用意されています。

3年次からは異文化コミュニケーション、文化人類学、英語教育、言語学、文学・文化、心理学などのゼミに分かれて専門領域の学びを深め、4年次には各領域の研究室に分かれて、英語で卒業論文を執筆していきます。

■ 詳しくは学科ホームページをご覧ください。  
<https://gs.pu-kumamoto.ac.jp/>

## [グローバル・スタディーズ学科 4年間の学び]

1年次・2年次	3年次	4年次
<p>1,2年次を通じて、高度な英語運用能力の理論的基礎となる、英語の歴史や文法等の知識を獲得するとともに、幅広くGlobal Competenceを身につけるための科目を配置します。また、国外の多様な文化、慣習、歴史、思想等について基礎的知識を得るための科目を配置します。</p> <p>特に1年次には、短期集中で英語運用能力の底上げ向上をはかるプログラムを配置します。</p> <p>2年次にはGlobal Competenceを身につけつつ、「読む・書く」「聞く・話す」能力を実践的に高めていくよう、科目を設定します。</p>	<p>「読む・書く・聞く・話す」の4技能を実践的にさらに高めつつ、各自が卒業論文を意識したテーマ選択ができるよう、各種Seminarを配置し、専門に応じた情報収集能力、考察能力を獲得できるようにします。</p>	<p>3年次までに獲得した能力をもとに、卒業論文として論理的に文章を記述できるようにし、かつ要領よくその内容を英語で伝えられるようにします。</p>

## [開講科目(専門科目)]

区分	1年	2年	3年	4年
人文基礎	歴史基礎論 / 言語基礎論 文学研究への招待 / 知識と方法			
主要科目	English for Global Communication			
		Reading & Writing	Research Writing	
	English for Critical Thinking			
	English Grammar	Introduction to English Linguistics	Linguistic Expression and Translation	
	English Phonetics	History of English Language	Introduction to English Education	
	Summer English Program	Studying Abroad		
専門科目群	Global History	Seminar for Global Studies		
		Global Society		
		Intercultural Understanding		
		Global Media	Intercultural Communication	
	Introduction to Culture & Literature in English	Issues in Culture & Literature in English		
もやいすとグローバル育成プログラム		English for Moyaist Global		
		Kumamoto Studies	Moyaist Global Senior Training	Moyaist Global Project
学部共通科目	日本文化論 / 中国文学史 / 日中比較文学 / 地域文化研究 / 西洋文化史 / 歴史学講義 / 心理学講義 / 日本文化史講義 中国文化論 / 比較文学講義 / 異文化コミュニケーション論 / 文化人類学 / 現代日本語の分析 / 英語文学多読入門 日本語教育教材研究 / 日本語教育評価法 / 日本語学概論 / 日本語史 / 日本文法 / 日本語教授法 / 情報処理発展 歴史学演習 / 日本文化論演習 / 中国文化論演習 / 日本語教育演習 / 異文化コミュニケーション演習			
Seminars		Junior Seminar	Senior Seminar	
卒業論文				卒業論文

**取得資格** 教職課程の履修により、中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)を取得できます。



文学部英語英米文学科4年 千綿 海大 さん (佐賀県立小城高等学校出身)

私は高校2年生のときにスティーブン・ピンカーの『The Stuff of Thought』を読んで言語学に強く惹かれました。この本を通じて、言葉を通して人を知るといった視点に関心を持ち、言語学の研究室がある英語英米文学科を選択しました。

現在もこの視点を大事にしながら学んでいます。大学では、「本当にそうなのか？」と問いを立てる力が求められます。その力を鍛える上で、最も印象に残っているのが「Seminar for Critical Thinking」です。この授業では、前提を疑い、論理的に整理し、議論を通じて多角的に物事を捉える力を養いました。

授業以外では、熊本県外出身ということもあり、友人とともに熊本のグルメを楽しんでいます。特にラーメン巡りは私たちの定番で、昼休みや休日に新しいお店を開拓するのが楽しみの一つです。また、ELLA(英語英米文学会)の委員長として、学生同士の交流を深めるイベントの企画・運営にも携わっています。

大学生活において、新しい環境での経験や人との出会いが思わぬ形で成長につながります。ここには、自ら学び、それを実践できる場が広がっています。みなさんとお会いできるのを楽しみにしています！



Senior Seminar (異文化コミュニケーション)



Junior Seminar (英語学)

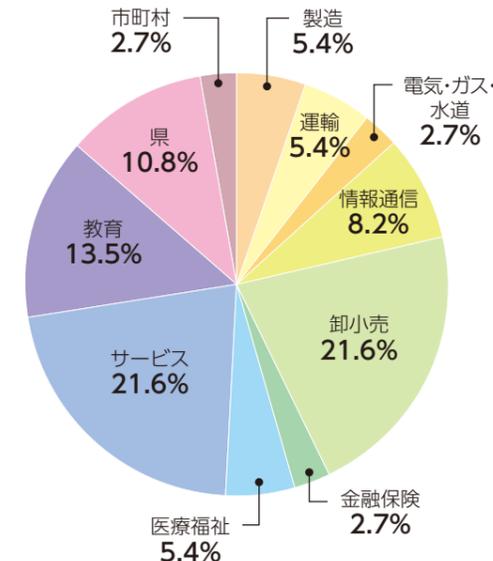


Seminar for Global Studies

[卒業後の進路]

英語運用能力やGlobal Competenceを生かし、国際展開している企業、旅行代理店、航空会社、ホテル、中学校・高等学校の教員のほか、様々な分野での活躍が期待されます。もちろん大学院への進学も可能です。

業種別就職状況(2023年度)



主な進路一覧(2021~2023年度)

● 就職

- 【建設】松栄パナホーム、田村ヒルズ
- 【製造】木野設備、KMバイオロジクス、再春館製薬所、名村造船所、平田機工
- 【運輸】全日本空輸、NAX JAPAN、日本通運、日本郵便、ニトリホームロジスティクス
- 【電気・ガス・水道】九州電力、富士産業
- 【情報通信】アイセス、アソウ・アルファ、アドバンサー、イーコーポレーションドットジェイビー、九州デジタルソリューションズ、熊本県新聞社、KIS、サンケンフォーキャスト、JR九州システムソリューションズ、ソリューション、日本テレメッセージ、ハイコム、フューチャーインスペース、YE DIGITAL
- 【卸小売】アプライドグループ、イオン九州、QVCジャパン、コスモス薬品、住商ファーマインターナショナル、武田コーポレーション、出先、ネットヨタ熊本、ハウデア、富士薬品、丸菱ホールディングス、三菱電機トレーディング、利他フーズ、リンクイット
- 【金融保険】熊本銀行、熊本信用金庫、熊本第一信用金庫、第一生命保険、東洋証券、肥後銀行、三井住友信託銀行
- 【不動産】ケイアイスター不動産
- 【医療福祉】グッドタイムリビング、熊本県医師会、済生会熊本病院
- 【サービス】アタックス、ANAエアポートサービス、エーチーム、熊本ホテルキャッスル、コミュニケーションワークスパスカ、翼、西鉄エアサービス、ハウステンボス、福岡空港サービス、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン、ベンチャーサポート税理士法人、マイステイズ・ホテル・マネジメント、URNESSE、UTグループ、楽天グループ、ルートインホテルズ、ロイヤルホールディングス、ワールドインテック
- 【教育】アイトップス、英進館、大分県教育委員会、鹿児島市教育委員会、熊本学園大学附属高等学校・中学校、熊本国府高等学校、熊本市教育委員会、熊本大学、成学社、福岡県教育委員会、ベルリッツ・ジャパン
- 【県】鹿児島県、熊本県
- 【市町村】宇城市、菊池市、熊本市
- 【国】熊本労働局

● 進学

熊本県立大学大学院文学研究科英語英米文学専攻、熊本大学大学院社会文化学部文化学専攻英語教育専門職コース、CPA 会計学院



【勤務先】

JBS USA inc.

2020年9月  
文学部英語英米文学科卒業

大関 彩香 さん  
(熊本県立熊本北高等学校出身)

高校時代に「将来は海外で働いてみたい」という夢を抱いていた私は、英語を体系的に学べる学部を探して本学を志望しました。英語英米文学科では、英語の運用力だけでなく、文化や言語の背景にある考え方で深く学ぶことができます。

1~2年生では英語文学や異文化コミュニケーションを幅広く学び、3年生からは自分の興味に合わせて分野を選べます。私は「言葉からその背景にある人の考え方を探る」認知言語学に強く惹かれ、専攻しました。

大学生活で特に印象に残っているのは、大学を1年間休学して経験したオーストラリアでのワーキングホリデーです。英語漬けの毎日で、イギリス人のルームメイトに「I'm warming up to you」と言われ、「運動の話?」と聞き返して笑われたのは今でも良い思い出です。こうした言葉の違いから文化の奥深さを感じられるのも、英語を学ぶ楽しさの一つでした。

その後、官民協働による留学支援制度「トビタテ!留学JAPAN」を利用して再びオーストラリアと香港へ。現地では専門学校で国際ビジネスを学び、インターンシップも経験しました。異なる価値観や文化の中で英語を使いながら学び働いた経験が、海外就職という目標を現実のものとして意識するきっかけになりました。国や文化が違えば、言葉の使い方や考え方も異なります。こうした異文化交流の中で、多角的に物事を捉える視野の広さと、相手の意見を受け止める柔軟さが身についたと感じています。

現在はアメリカでシステムエンジニアとして働いています。大学で学んだ英語力や文化理解、そして留学で培った行動力や適応力は、まさに今の自分を支える力となっています。

本学では、英語を「世界を広げる手段」として学ぶことができます。世界に挑戦してみたい皆さん、ぜひ本学でその一歩を踏み出してみませんか?

# 環境共生学部

Faculty of Environmental & Symbiotic Sciences

## 環境共生型社会の創造に貢献する人材を育てる

環境共生学部は、環境共生に係わる諸問題を総合的に捉え、人間活動を支える場としての豊かな自然を保全しつつ、持続的に利用し、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上をめざすことを理念とし、自然環境と人間活動との共生のあり方について教育・研究することを目的とします。

[アドミッション・ポリシー] ~環境共生学部はこのような人を求めています~

本学部は、私たちと自然が共生していく際の諸問題を総合的に捉え、その方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上を目指すことを理念として設置され、環境共生学科のもと、環境資源学専攻、居住環境学専攻、食健康環境学専攻の3専攻で教育研究を行っています。本学部は以下のような能力を持つ学生を求めています。

- ① 環境共生学にかかわる様々な課題に関心を持つ学生
- ② 科学的、論理的思考能力を有している学生
- ③ 高等学校における教科に関してバランスのとれた基礎学力を有している学生
- ④ 理科の科目について十分な学力を有している学生
- ⑤ 英語について幅広い素養を備えている学生

さらに、入学後は、国際的な視野と自然科学・健康科学に係る高度な知識をもとに、人間活動と自然環境との共生にかかわる地域あるいは地球規模の諸問題を総合的に対処できる能力を自ら積極的に学修することによって身につけようと考えている学生を求めます。



### 環境資源学専攻

- ① 自然環境や生態系の保全について学ぶ意欲を持つ学生
- ② さまざまな環境問題に興味がある学生
- ③ 環境にかかわる専門家をめざす学生

### 居住環境学専攻

- ① 自然を利用し、人と地球にやさしい環境をつくる技術を開発したい学生
- ② にぎわいに満ちた元気な“まち”、自然豊かで美しい“むら”をつくりたい学生
- ③ 快適な住まいや公共の建築物などの設計をめざしたい学生
- ④ 地震に強く美しい木造建築物・環境に配慮した建築物をつくりたい学生
- ⑤ 建築士として働きたい学生

### 食健康環境学専攻

- ① 食・健康・環境等の分野に強い関心を有し、将来これらの分野で活躍を目指す意欲的な学生
- ② 社会で活躍する土台となるコミュニケーション能力を持ち、自己のコミュニケーション能力の向上に熱心な学生
- ③ 様々な課題のよりよい解決に向け、自ら問題を発見しようとする探求心とその解決を図るための豊かな想像力を有する学生
- ④ 高等学校卒業レベルの十分な基礎学力を持つとともに、理科学科(化学および生物)に対して興味や関心を持つ学生
- ⑤ 最新の科学的知見を得る上で重要となる英語について幅広い素養を備えている学生

大学院(環境共生学研究所)については→P57

### ◎2026年度入学定員及び募集人員

環境共生学部 環境共生学科	入学定員	募集人員						
		一般選抜		自己推薦型選抜	特別選抜			留学生・帰国生徒 社会人
		前期	後期		学校推薦型選抜	県内	全国	
環境資源学専攻	15名	12名	—	3名*	—	若干名	—	若干名
専攻 居住環境学専攻	110名	20名	12名	4名	4名	—	—	全学で2名以内
専攻 食健康環境学専攻	28名	8名	—	4名	—	—	—	若干名

\*うち2名以上は熊本県内高等学校卒

### 環境共生学部 4年間の学び

環境共生学部の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

自然と人間が共生していく際の諸問題を総合的に捉え、その方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上を目指すことを理念とし、環境共生学科のもと、環境資源学専攻、居住環境学専攻及び食健康環境学専攻の3専攻を設けています。

全学共通教育に加え専門科目として、学部共通教育及び各専攻の専門領域の教育を通して、環境共生型社会の創造に貢献する人材の育成を目指し、環境共生にかかわる諸問題と環境共生の理念を理解するため、フィールドワークを含む「導入科目」、自然科学の知識と理解力を養成する「基礎科目」並びに各専攻の専門的な能力を養成する「展開科目」を講義、演習、実習、実験などの順次性に配慮し、体系的に配置しています。

区分	1年	2年	3年	4年
共通科目群	基盤科目 外国語／健康スポーツ科学／ 情報処理とデータサイエンス／ キャリアデザイン／地域理解とリーダーシップ		教養科目	人間と文化／自然と環境／ 社会と世界 ※詳細はP21
専門科目群 環境資源学専攻 …P36 居住環境学専攻 …P40 食健康環境学専攻 …P44	学科共通科目 導入科目 「環境共生論」 「現代生活と環境問題」 「居住環境を創る」 「食と環境」 「フィールドワーク」			
	「情報処理実習」		「環境共生総合演習」	
	専門科目 環境資源学領域 居住環境学領域 食健康環境学領域		基礎科目	
	展開科目			卒業研究

### [学部長からのメッセージ]

環境共生学部は「環境の世紀」と位置づけられる21世紀を目前にした1999年4月、わが国で初めて「環境共生」を冠する学部として1学科3専攻でスタートしました。2024年4月に創立25周年を迎えたところです。環境共生学研究所は2003年には修士課程を、2005年には博士後期課程を設置するとともに、修士課程を博士前期課程としました。開設時より、豊かな自然を保ちながら持続的に利用し、地域に住む人々の快適な生活を確保する方策を追求して地域の発展と人間福祉の向上をめざすことを理念とし、自然環境と人間活動との共生のあり方について教育・研究を行っています。

世界はいま、貧困、紛争、気候変動、感染症など、かつてないほどの多くの課題に直面しています。これらの課題を統合的に解決し、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のために示されているのが、SDGs(持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals)です。

環境共生学部では、専門的かつ学際的な領域の教育・研究および地域・国際貢献活動を通じてSDGsの達成、すなわち持続可能な社会の構築に貢献します。

新型コロナウイルスパンデミックは、これまでの私たちの社会生活を一変させる事態となりました。加えて数十年に一度といわれるような大きな自然災害も毎年のおこっています。未曾有の危機が突然到来するような難しい時代だからこそ、持続可能な社会の構築にリーダーシップを発揮できる人材を育成していきたいと考えています。

環境共生学部長  
白土 英樹



MESSAGE  
from  
the Dean

# 環境資源学専攻

Division of Environmental Resources,  
Department of Environmental & Symbiotic Sciences



## [専攻の特色]

### 環境科学を実践的に学ぶ

教室で行う講義に加えて、現場での各種フィールドワーク、沿岸域環境、森林環境、水産環境、植物生産環境に関する4つのアセスメント実習や環境分析化学実験、大気環境学実験、高分子化学実験などの科目において、環境共生にかかわる諸問題の原点である現場での実証的な作業やその実験、実習を体験し、環境問題の複雑さを学び、知識の応用能力を養います。

### 情報発信能力を養成する

多数の情報処理機器を学生が自由に利用できる体制が整備されており、情報処理に関する演習科目や各実験・実習・演習科目において得られた結果を処理・分析し、レポート作成、結果発表（プレゼンテーション）する能力を養成します。さらに、環境分野においては英語によるコミュニケーションが不可欠になってきているため、ネイティブスピーカーの教員の指導により英会話のみならず環境分野での英語による海外への情報発信能力を養成します。

## [環境資源学専攻 4年間の学び]

環境資源学専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

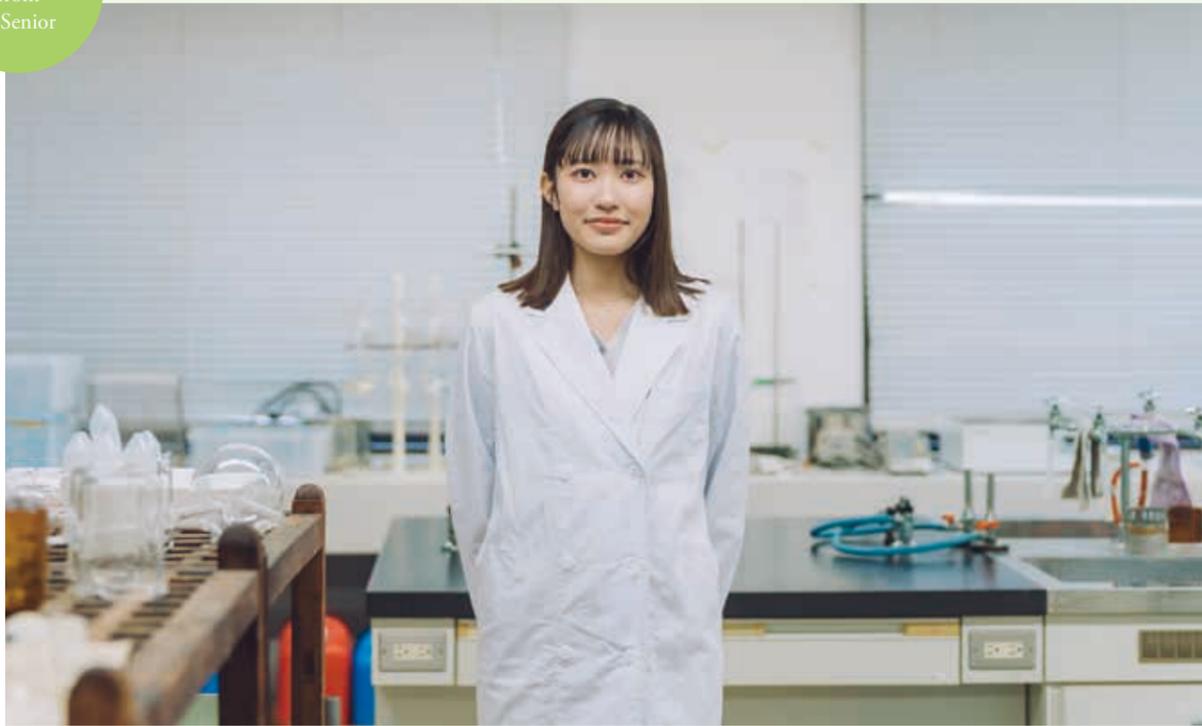
- 1 環境共生に関わる諸問題を科学的に解明し対処するための基礎的な自然科学の知識と理解力を養成し、併せて、環境の成り立ちや生態系の仕組みを理解し、人間活動が環境資源に及ぼす影響を調査、解析、評価する能力を養成するために「専攻専門科目」を置き、環境資源の保全と適正利用による、持続可能な生物資源の生産技術並びに社会発展のための方策について教育します。
- 2 「基礎科目」では、基礎的な自然科学の知識と理解力を幅広く養成するために、理科全般(物理学・化学・生物学・地学)、数学、統計学及び情報処理に関する科目を設置しています。
- 3 「展開科目」では、生態、生物資源、物質環境、環境計画の4分野に関する調査・分析能力を養成するために、各分野の講義科目及び実験・演習科目に加えて、環境評価をフィールドにおいて実践的に体験する4つの環境アセスメント実習(沿岸域環境アセスメント実習、森林環境アセスメント実習、水産環境アセスメント実習、植物生産環境アセスメント実習)を設置しています。
- 4 生態関係科目では、海洋及び森林の生態系の構造と機能、保全と利用のための方策を学ぶ科目を、生物資源関係科目では、海洋及び陸上で生産される生物資源の特性と機能、栽培・増殖法、生産環境、生産物の利用法を学ぶ科目を、物質環境関係科目では、環境における物質循環に関する化学的、物理的な知識と環境への影響評価手法を学ぶ科目を、環境計画関係科目では、環境資源の保全と恒久的利用、持続可能な社会発展に必要な計画論、法規、政策、制度について学ぶ科目を、それぞれ設置しています。
- 5 国境を越え、広域化、国際化する環境に関わる諸問題に対応する能力を養成するために、共通科目群基盤科目の英語科目に加えて、専門科目群専攻専門科目基礎科目に英語科目(Science English)を設置しています。

## [開講科目(専門科目)]

区分		1年	2年	3年	4年
学科 共通 科目	導入科目	環境共生論 現代生活と環境問題 居住環境を創る 食と環境 / フィールドワーク			
		情報処理実習		環境共生総合演習	
専門 科目 (環境 資源学 領域)	基礎科目	生物学I・II / 生物学実験 基礎化学 / 有機化学 化学実験 / 物理学I・II / 数学I・II	統計学 / 統計学演習 物理学実験 / 環境情報処理実習	Science English I・II 地学I・II / 地学実験I・II 応用情報処理演習	
	生態		森林生態学 / 森林資源学 / 森林環境アセスメント実習 海洋生態学 / 沿岸環境保全論 / 沿岸域環境アセスメント実習 海藻学 / フランクトン学		
	生物 資源		作物生産学 / 植物食資源学 / 植物生産環境アセスメント実習 水産環境学 / 水産環境アセスメント実習 / 海洋微生物学 魚類環境生理学 / 食資源開発学		
	展開 科目 物質 環境		環境分析化学 / 水環境科学 / 環境分析化学実験I・II 環境素材学 / 高分子化学 / 高分子化学実験 大気環境学 / 大気環境学実験 / エネルギー環境学 環境衛生科学 / 生物濃縮論 / 環境計量演習 食品分析学 / 食品安全性学		
	環境 計画		環境経済学 / 環境関連法規 / 農山村域計画学 都市計画 / 地域景観計画学 / 都市居住政策学		
卒業研究					卒業論文

### 取得資格

教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状(理科・家庭)・高等学校教諭一種免許状(理科・家庭・農業)が取得できます。また、環境計量士や公害防止管理者の受験に対応しています。



環境共生学部環境共生学科環境資源学専攻4年 光澤 和花 さん (熊本県立第一高等学校出身)

私はもともと生物や化学などの理系科目が好きで、地球温暖化をはじめとする環境問題に関心がありました。環境問題は今後ますます重要になると考え、それについて深く学びたいと思い、この専攻を選びました。

この専攻では、化学・生物・物理・地学といった幅広い理系科目に加え、海洋・干潟・森林などの自然環境や環境問題についても学ぶことができます。座学だけでなく、実験やフィールドワークも充実しており、実際に自然の中で学べる機会が多いのも魅力の一つです。私自身、干潟や森林での調査、化石採集などを経験し、普段できない貴重な体験を通じて、座学では得られない知識やスキルを身につけることができました。

また、この専攻では幅広い分野を学べるため、将来の進路が決まっていなくても、学びながら興味のある分野を見つけることができます。環境問題に関心がある人はもちろん、理系科目が好きな人にもおすすめです。

学業以外の時間も充実しており、アルバイトを通じて社会性やコミュニケーション能力を身につけたり、趣味に時間を使ったり、長期休みには友人と旅行を楽しんだりしています。

幅広い知識を学びながら自分の興味を深められるこの専攻で、ぜひ一緒に充実した大学生活を送りましょう！



物理学実験



沿岸環境アセスメント実習

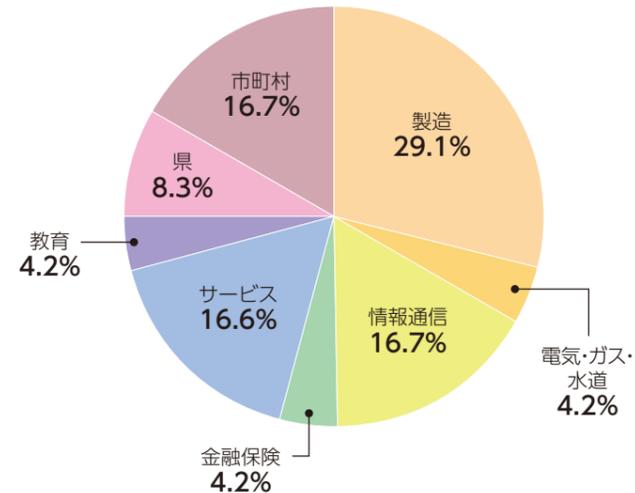


森林環境アセスメント実習

[卒業後の進路]

環境アセスメントにかかわる専門家、地域の発展を環境の面から支えていく公務員、環境のより専門的な分野を掘り下げていく研究者（大学院への進学など）、環境についての次の世代を育てていく教育者への道が拓かれています。

業種別就職状況(2023年度)



主な進路一覧(2021~2023年度)

- 就職
  - 【建設】シアーズホーム、西日本高速道路エンジニアリング九州
  - 【製造】木村、熊本ニチアス、熊本県果実農業協同組合連合会、KMバイオロジクス、JCU、タキロンシーアイ、タチバナ化成、長工醤油味噌協同組合、ニチアス、博多まるきた水産、未来工業、ヤマックス
  - 【電気・ガス・水道】熊本酸素
  - 【情報通信】アプリケーションスペース、クレスコ、SYSKEN、システムライフ、ソフトウェアビジョン、中央コンピューター、ブライト、リコージャパン
  - 【卸小売】加藤産業
  - 【金融保険】熊本銀行、佐賀銀行
  - 【医療福祉】託麻台リハビリテーション病院
  - 【サービス】IBJ、アウトソーシングテクノロジー、アドバンテック、アルプス技研、いであ、九電産業、ハウステンボス、肆方山弦楽堂
  - 【教育】熊本大学、尚綱学園、長崎大学、山川塾
  - 【県】鹿児島県、熊本県、福岡県
  - 【市町村】熊本市、南さつ市
  - 【国】熊本国税局

- 進学
  - 熊本県立大学大学院環境共生学研究科、熊本大学大学院教育学研究科教職実践開発専攻



私は高校時代に生物や化学といった理科の楽しさを知りました。そのような中、オープンキャンパスで見かけた「環境のお医者さん」という本学科のキャッチフレーズに惹かれ、自然環境について深く学びたいと感じたため、本学科へ進学しました。

私が思う本学科の最大の長所は、自然環境についての様々な学問を幅広く学ぶことができる点と、フィールドワークが充実している点です。私は入学当初から、熊本の豊かな水を誇りに思っており、水や海に関する学問に関心を持っていました。ところが、大学三年の時、講義や実習、人との出会いを通して、心から楽しいと思えた学問が農学で、現在の職業に繋がっています。仕事の中で、卒業研究のテーマだった栗に携わることもでき、大学で学んだことを仕事に活かしています。

また、在学時はスキューバダイビング部に所属し、週末や長期休暇には海に潜り、非日常的な貴重な大学生活を送ることができて心に残っています。

本学科では、あらゆることに挑戦することの大切さを学ばせていただきました。幅広く学問を学べたことで、「これだ!」と思える学問に出会うことができました。皆さんにも、本学科でぜひ充実した大学生活を送っていただきたいです。

[勤務先]  
熊本県庁

2024年3月  
環境共生学部環境共生学科  
環境資源学専攻卒業

崎山 智有 さん  
(熊本県立済々黌高等学校出身)

# 居住環境学専攻

Division of Human Habitats,  
Department of Environmental & Symbiotic Sciences



## [専攻の特色]

居住環境学専攻では、「地域に密着した題材を通して、従来の建築学科の枠を超える教育・研究」を行っています。近年の社会の流れを根本から転換し、「人と自然、さまざまな人々が共に生き続ける社会」=「環境共生型社会」をめざす熱い心をもち、地域文化や気候風土に根差した“すまい”・建築・都市・農山村などの「環境共生型居住環境を保全・創造する知識、能力、技術を豊富に持った人材育成」をめざしています。

### 新しいライフスタイルの創出を国際的視点から考える能力の養成

地球温暖化など世界的規模で生じる問題とその解決法を、グローバルに学び、地域に還元する力の養成に努めています。

### 少人数体制の下、実体験と現場を重視した教育

少人数制を活かして、「居住環境デザイン実習」、「CAD実習」、「居住空間構造・材料実験」などの科目で、現場体験する実践型の教育を行います。また、「フィールドワーク」、「木質材料活用論」など建築・地域などに関するさまざまな見聞を広める貴重な体験学習の科目を設けています。

### 総合力、構想力の養成

講義などで得た知識を統合化する設計製図などの実習を有機的に関連させたカリキュラムを組んでいます。これらの訓練を通して、構想から形を創る能力や知識を総合化する能力を養成します。

### 問題の認識と解決方法を深めるための歴史を重視した教育

現代の複雑な問題群を本質的に解決するには、その背景や要因を歴史的に学ぶ必要があります。歴史を通して、先人の知恵を学び、現代の問題群を根本的に理解できる教育に努めています。

## [居住環境学専攻 4年間の学び]

居住環境学専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

本専攻の「環境共生」の理念のもと、環境への負荷軽減、人間の健康・福祉などを重視し、住居から建築・都市・地域に至る居住環境の全体を見据え、実体験に基づいた科学的認識能力と、居住環境をまもり育てる専門的な技術をもった人材を育成します。そこで、以下のようなカリキュラムを編成しています。

- 1 本専攻は居住空間計画、都市・地域計画、環境調整・設備、構造・材料の4分野から構成され、各分野において基礎から応用まで段階的に修得できるように科目を設置しています。基礎的な科目はすべて必修科目に指定し、初年度から基礎的な実習を取り入れて主体的な学修を促します。また、実験・実習・演習の科目を多く設け、講義で得た知識を実験実習で体感し、自ら主体的に取り組み、より深く認識できる構成としています。
- 2 居住空間計画及び都市・地域計画分野では、地域の課題を浮き彫りにする内容とともに、国際的な視野で課題を考えることができる力を養うべく、多くの外国事例などをとりあげて幅広く講義する科目群を設置しています。
- 3 環境調整・設備及び構造・材料分野では、自然環境との共生と環境負荷の軽減を目指すとともに、人と地球にやさしい建材である木質材料を重視した関連科目群を設置しています。
- 4 卒業時に、一級建築士、二級建築士の受験資格が得られ、更に様々な進路も選択できるようなカリキュラム構成としています。

## [開講科目(専門科目)]

区分		1年	2年	3年	4年
学科 共通 科目	導入科目	環境共生論 現代生活と環境問題 居住環境を創る 食と環境 / フィールドワーク			
		情報処理実習		環境共生総合演習	
専門 科目 (居住 環境学 領域)	基礎科目	数学Ⅰ・Ⅱ / 国学 / 物理学Ⅰ・Ⅱ 居住環境デザイン実習Ⅰ・Ⅱ	CAD実習Ⅰ	応用情報処理実習	
	都市・地域 計画		比較都市文化論 / 都市計画 / 都市居住政策学 農山村域計画学 / 地域景観計画学 / 地域計画論		
	居住空間 計画		建築史 / 住空間計画学 / インテリアデザイン論 / インテリアデザイン実習 比較住文化論 / 建築計画学 / 木質デザイン論 / 福祉住環境原論		
	環境調整・ 設備		建築環境工学Ⅰ・Ⅱ / 環境設備学 環境設備システム学 / 環境設備システム学演習 環境調整工学 / 居住環境調整工学実験		
	構造・材料		建築構法 / 建築構造の基礎 / 木質構造学 / 静定構造力学 / 静定構造力学演習 居住空間材料学 / 不静定構造力学 / 不静定構造力学演習 鉄筋コンクリート構造学 / 居住空間構造・材料実験 / 鉄骨構造学		
	全体共通		居住環境デザイン実習Ⅲ～Ⅵ / 木質材料活用論 / CAD実習Ⅱ / 建築施工学 環境防災・安全工学 / 建築法規 / 森林生態学 / 海洋生態学 / 地学Ⅰ・Ⅱ / エネルギー環境学 大気環境学 / 環境関連法規 / 環境経済学 / 地方自治論 / 公共政策論		
卒業研究					卒業論文

## 取得資格

一級建築士および二級建築士の受験資格が得られます。また、教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状(理科・家庭)・高等学校教諭一種免許状(理科・家庭・農業)が取得できます。その他、卒業後取得可能な資格として、1級建築施工管理技士及び2級建築施工管理技士があります。(1級建築施工管理技士は、卒業後3年以上、2級建築施工管理技士は、卒業後1年以上の実務経験が必要です。)在学中に取得できるものは、インテリアプランナー、福祉住環境コーディネーター、インテリアコーディネーター、カラーコーディネーター検定、色彩検定、照明コンサルタントなどがあります。

MESSAGE  
from  
a Senior

先輩からのメッセージ



環境共生学部環境共生学科居住環境学専攻4年 中村 紗也佳さん (文徳高等学校出身)

私は、日常生活の中で、居住空間が人々の気分や健康に大きな影響を与えることを実感し、建築という分野に興味を持ちました。そこで、幅広い分野の知識を学び、多様な視点から、居心地の良い居住空間を考えたいと思い、この専攻を選びました。

本専攻では、設計、構造、設備、福祉住環境、都市・農村計画、CAD、インテリアデザインなど様々な分野について学ぶことができます。設計に関しては、手書きだけでなく、CADのスキルも身につけることができます。また、プレゼンテーションを行い、表現する力や伝える力を身につけることができるので、数々のコンペに挑戦する際に大いに役に立つと思います。更に、先生方が様々なワークショップを紹介して下さるため、実践的に建築を学んだり、地域の人々との繋がりを深めたりと、座学では得られない貴重な経験を積むことができます。他にも3年生になると、実際に木材を用いて学生の居場所をつくる「中庭プロジェクト」に参加したり、県大マルシェを企画したりするなど、様々なことに挑戦することができます。

私のように、設計・デザイン・ものづくりを通して、居心地の良い空間を学びたい方や、興味の幅を広げ、色々なことに挑戦したい方は、ぜひ居住環境学専攻で充実した大学生活を送りましょう！



居住環境デザイン実習



居住環境調整工学実験

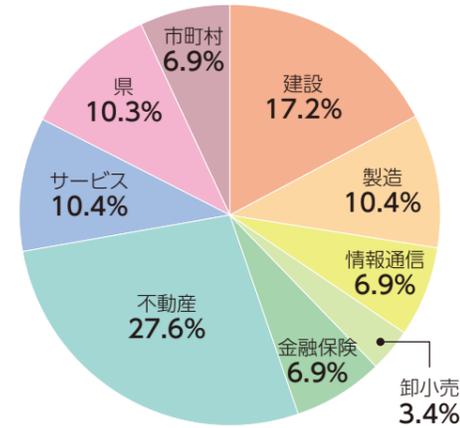


ワークショップの様子

## [卒業後の進路]

建築・構造・設備各関係の設計事務所、住宅・建築・不動産開発などの会社の企画・技術者、家具やインテリア製品メーカーの企画・デザイナー、建築材料・機器メーカーや流通部門でも専門スタッフなどのほか、国・都道府県をはじめ自治体の上級・専門職への道が拓かれています。大学院進学者も多数います。

業種別就職状況(2023年度)



主な進路一覧(2021~2023年度)

### ● 就職

- 【建設】アーネストワン、旭化成ホームズ、新井組、上村建設、エバーフィールド、オカモト、河村佐藤デザイン、グリーンライフ産業、シアーズホーム、十五建設、ショーボンド建設、昭和、新産住拓、スペースエージェンシー、住友林業、積水ハウス、大和ハウス工業、大和リース、東建コーポレーション、東宝ホーム、戸田建設、ニッカホーム、PAAK DESIGN、パナソニックリビング九州、ハンシン建設、ボラス、ミサワホーム九州、水野建設、悠々ホーム、和久田建設
- 【製造】岩崎電気、コイズミ照明、三友機器、三冷社、日鉄銅板、豊前東芝エレクトロニクス
- 【電気・ガス・水道】リビングハウス
- 【情報通信】安心計画、KIS、TIS長野、DYM、メディア
- 【卸小売】アクタス、朝日興産、三菱電機住環境システムズ
- 【金融保険】addit、熊本県市町村共済組合、東京海上日動パートナーズ九州
- 【不動産】旭化成ホームズ、カチタス、住友林業ホームテック、積水ハウスリフォーム、別大興産、ヤマダホームズ
- 【サービス】エイ、アンド、エス、システム、ジャパンインターナショナル総合研究所、ファーストコンテック、有価物回収協業組合石坂グループ
- 【県】熊本県、福岡県
- 【市町村】恵那市、熊本市、益城町、宮崎市
- 【国】海上保安庁、九州財務局

### ● 進学

- 熊本県立大学大学院環境共生学研究科、熊本大学大学院自然科学教育土木建築学専攻、千葉大学大学院融合理工学府創成工学専攻建築学コース、奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科

MESSAGE  
from  
a Graduate

卒業生からのメッセージ



〔勤務先〕  
熊本県庁

2024年3月  
環境共生学部環境共生学科  
居住環境学専攻卒業

渡邊 彩加さん  
(熊本県立第二高等学校出身)

私は、建築に関して様々な角度から学ぶために、本学科に進学しました。本学科では、建築設計や建築を取り巻く都市環境など、フィールドワークや実験を通して実践的に学ぶことができます。私はそれまで「建築」というと設計のイメージが強かったのですが、本学科に進学したことで自分の視野が広がりました。学生生活では研究活動の一環で様々な現場に赴き、現地の方々のフィールドワークを体験しました。その中でも、古民家DIYワークショップや大学内でのマルシェイベントは、建築的な空間づくりだけでなく、地域とつながる楽しさを知るきっかけとなりました。

現在は、熊本県職員として、主に法律的観点から建築士の業務適正化や建築物の質の向上に寄与する業務に従事しています。カリキュラムで得た知識はもちろん、研究等を通して身につけたセルフマネジメントや他者に説明する力の醸成は、現在の業務に活かされていると実感しています。

新たに入学される方には、自由に使える時間を活かして、好奇心の赴くままに、活動や資格取得に挑戦することをお勧めします。本学科の授業内容は多岐にわたるので、皆さんにとっての「好き」を見つけられると思います。

遊びでも勉強でも行動には、何かしらの学びがあります。皆さん一人一人が本学でひとつでも多くの学びが体験できることを願っています。

# 食健康環境学専攻

Division of Food & Health Environmental Sciences,  
Department of Environmental & Symbiotic Sciences



## [専攻の特色]

### “食”を通じて“健康”を、“環境”を通じて“食”を考える

食健康環境学専攻では、食品の機能、人体の構造と機能、栄養素の体内での代謝、食生活改善による生活習慣病の予防、疾病時の栄養管理、バイオテクノロジーと食品開発、食品の安全性と健康、身体活動と健康管理、食糧生産など、食料・健康・環境にかかわる諸問題を科学的に解明し対処するための知識と実践力を養います。

また、フィールドワークや多数の実験・実習科目を通して、基礎知識を確実に身につけ、さらに応用力や創造性を高めることをめざします。

### 高度な教育・研究の推進によって多分野で活躍できる人材を育成

本専攻では「人と社会と自然との共生」の視点から、自然環境へやさしく、地域の環境特性を反映した「食と健康」について高度な教育・研究を行い、食と健康、食料を取り巻く環境問題、生命科学、バイオテクノロジーなど、“食”を総合的かつ多面的に掘えることができる『食のスペシャリスト』を養成しています。このほか管理栄養士養成施設として、管理栄養士を養成するだけでなく、食と健康に関する高度な知識と実践の方法を学びながら、問題解決能力と研究能力を高め、応用力のある管理栄養士の輩出をめざしています。

## [食健康環境学専攻 4年間の学び]

食健康環境学専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より一部抜粋

- 1 自然科学に関する基礎的知識を基にして、専門分野における知識と技術の修得が可能となる科目を、段階的に、総合的に学修できるように配置しています。特に、大学教育で得られた知識をもとに自ら考え、発展させる能力や、レポート作成、プレゼンテーション能力などを養うことを目指し、実験・実習・演習科目を重点的に配置しています。
- 2 食・健康・環境に関わる様々な問題を国際的な視野をもち、地域の立場から、自ら発見し解決する思考力・判断能力を修得するための科目を配置しています。
- 3 自然環境や地域の環境特性を反映した地域住民の健康づくり、疾病の予防・治療、食品開発などに寄与できる技術や態度を修得できるように、食品の機能、人体の構造と機能、栄養素の体内での変化、食生活と生活習慣病予防、疾病と栄養、バイオテクノロジーと食品開発、食品の安全性と健康、身体活動と健康管理、食糧生産などに関連する科目を配置しています。
- 4 基礎科目では、食品、栄養、運動および健康を学ぶための基礎となる化学と生物学に関連する科目ならびに物理学、統計学を含む科目を設置しています。展開科目の食環境関連科目では、食をめぐる環境に関し、食品の物理・化学的性質と調理・加工・流通にともなう変化ならびに食品の安全性を理解した上で、環境と共生できる食資源の開発・利用を学ぶ科目を配置しています。また、展開科目の健康環境関連科目では健康をめぐる環境に関し、食品機能・栄養化学、解剖・運動生理など、人体の構造・機能を理解した上で、食や運動を通じた健康管理・増進について学ぶ科目を配置しています。

## [開講科目(専門科目)]

区分		1年	2年	3年	4年
学 科 共 通 科 目	導入科目	環境共生論 現代生活と環境問題 居住環境を創る 食と環境 / フィールドワーク			
		情報処理実習		環境共生総合演習	
専 門 科 目 群	基礎科目	生物学 / 生物学実験 / 基礎化学 化学実験 / 生命有機化学 有機化学 / 生化学 / 物理学	物理学実験 / 統計学 / 統計学演習	生化学実験 / 応用情報処理実習	
	食環境	調理学 / 調理学実習 / 食品学総論 / 食品化学 / 環境衛生学 / 作物生産学 / 食文化論 食資源開発学 / 食品学各論 / 植物食資源学 / 食品製造学 食品微生物学 / 食品分析学 / 食品分析学実験 / 食品加工学 / 食品加工学実験 / 食品バイオテクノロジー 食品バイオテクノロジー実験 / 食品衛生学 / 食品衛生学実験 / 食品保存学 / 食品安全性学			
	展開科目 (食健康環境学領域)	解剖生理学 / 栄養教育論 / 環境生理学 / 環境生理学実習 / 栄養学総論 / 解剖生理学実験 / 栄養学実験 発育発達運動学 / 栄養生化学 / 栄養学各論 / 栄養教育論実習 / 栄養指導論 / 生体防衛学 給食経営管理学 / 臨床医学概論 / 健康管理学 / 栄養運動生理学 / 栄養運動生理学実習 ライフステージ栄養学演習 / 栄養機能性学 / 給食管理実習 給食経営管理臨床実習 / 公衆栄養学 / 疾病論 / 栄養情報管理学 / 臨床栄養学実習 / 臨床栄養学実習 生活習慣病予防学 / 臨床栄養学実習 / 公衆衛生学 / 臨床治療学実習 / 臨床栄養学実習 / 臨床栄養学実習 地域栄養学実習 / 公衆栄養学実習 / 臨床外科栄養学 / 実践栄養学総合演習 臨床栄養治療学 / 臨床代謝栄養学			
卒業研究				卒業論文	

### 取得資格

所定の科目を履修することで栄養士免許が取得でき、管理栄養士国家試験の受験資格が得られます。また、教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状(理科・家庭)・高等学校教諭一種免許状(理科・家庭・農業)、栄養教諭一種免許状が取得できます。食品衛生監視員及び食品衛生管理者(任用資格)の取得も可能です。



環境共生学部環境共生学科食健康環境学専攻4年 村山 琉奈 さん (熊本県立第一高等学校出身)

私が本専攻を志望したのは、高校生の頃、講話で食事を通じて愛情を伝えられることを知り、食事の重要性を多くの人に伝えたいと思ったためです。本専攻では、食品や栄養を疾病・運動・食育など幅広い観点から学びます。学年が上がるにつれ、実習や実験が増え、座学で得た知識を実践的に深める機会も多くなります。

例えば、給食経営管理の授業では大量調理時の衛生管理を学び、給食管理実習では約50人分の食事を調理しながら管理栄養士役の学生が衛生面のチェックを行います。また、臨床栄養学実習では自身の食事を3日間記録し、栄養バランスの改善方法を考察します。これらの授業を通じて、管理栄養士だけでなく、患者や調理員、生徒などさまざまな立場を経験し、実際の現場を想像する力を養えます。さらに、学園祭では3年生が手作りのお菓子を販売し、商品開発や販売の実践的な学びを得ることができます。

本専攻は少人数制で、同級生と切磋琢磨しながら学べる環境が整っています。また、縦のつながりも強く、実験や実習で不安があっても先輩方が優しくサポートしてくれます。

卒業後は、本専攻で取得することができる管理栄養士、栄養教諭、家庭科教諭などの資格を活かし、食事を通じて人々の健康や幸せに貢献できます。本専攻で食について深く学び、食の専門家として社会で活躍しませんか。



生物学実験B



食品バイオテクノロジー

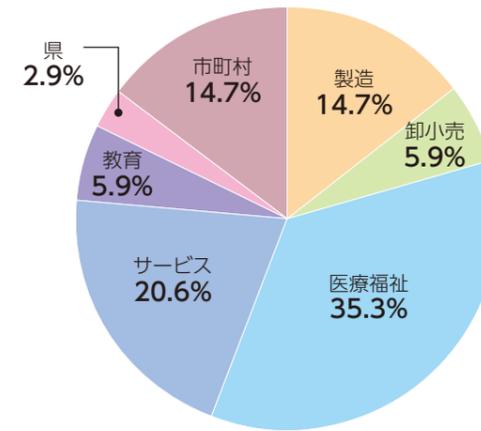


栄養運動生理学実習

[卒業後の進路]

環境共生学部の理念のもと、「食」と「健康」、そして「環境」について学んだ卒業生は、ある特定の分野に限らず、さまざまな方面で活躍しています。進路は、食品・医療・健康関連企業、病院・保健所・福祉施設・小中学校などでの管理栄養士業務や研究開発業務、行政機関（保健・福祉・食品・環境分野）、教職（理科・家庭・農業・栄養）などへの道が拓かれています。

業種別就職状況(2023年度)



主な進路一覧(2021~2023年度)

● 就職

【製造】一番食品、五木食品、オオヤブデイリーファーム、カネリョウ海藻、九州乳業、久原本家グループ、KMバイオロジクス、三協アピカ、シマヤ、タイヘイ、ダイショー、てまひま堂、日清医療食品、フランソア、マルキン食品、丸大食品、山崎製パン

【卸小売】大森淡水、サンキュードラッグ、システムフレオ、新生堂薬局、ドラッグストアモリ、ハウデイ、ロッキー

【医療福祉】アインホールディングス、あおば歯科クリニック、朝日野総合病院、天草セントラル病院、飯塚病院、大林歯科小児歯科医院、岡山赤十字病院、鹿児島大学病院、霧島市立医師会医療センター、くまもと健康支援研究所、熊本県総合保健センター、熊本赤十字病院、熊本大学病院、熊本中央病院、国立病院機構九州グループ、済生会熊本病院、さかい胃腸・内視鏡内科クリニック、桜十字病院、桜十字八代リハビリテーション病院、寿楽園、新東京病院、スマイリング・パーク、正峰会、正勇会、たつだ保育園、たていけ至福の園、田主丸中央病院、土井リハビリテーション病院、西日本病院、ユニメディコ

【サービス】ABCクッキングスタジオ、エームサービス、くまもと健康支援研究所、グリーンハウス、日清医療食品、日本調剤、パーソナルキャリア、富士産業、南さつま農業協同組合、ラヴァインターナショナル、LEOC

【教育】熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本中央高等学校、福岡県教育委員会

【県】鹿児島県

【市町村】荒尾市、大分市、国富町、熊本市、合志市、延岡市、枕崎市、山鹿市、横浜市

● 進学

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医科学専攻、熊本県立大学大学院環境共生学専攻



[勤務先]  
社会福祉法人 恩賜財団  
済生会熊本病院

2023年3月  
環境共生学部環境共生学科  
食健康環境学専攻卒業

濱崎 諒 さん  
(熊本県立熊本北高等学校出身)

卒業生からのメッセージ

元々食べるのが好きで食に興味があり、調べていく中で「管理栄養士」という職業を知り、資格を取得したいと思い本専攻へ進学しました。

本専攻では、食品や微生物に関する実験、給食管理や治療食、生理学に関する実習など実践的な講義が多く、幅広い分野から「食」や「健康」について座学で学んだ知識の理解を深めることができます。講義や課題・レポートに追われて忙しい毎日でしたが、仲間と助け合いながら充実した学生生活を送ることができました。また、本専攻では毎年学園祭でお菓子の販売を行っています。メニュー作成、材料発注、衛生管理、調理、提供までの全てを自分たちで行うことは大変でしたが、仲間と協力して成功できたことは大切な思い出の1つです。

現在、私は急性期病院で管理栄養士として働いています。私の勤務する病院では全病棟に管理栄養士が常駐しており、多職種と連携しながら患者さんの病態に合わせた栄養管理や栄養指導を行っています。在学中に学んだ生理学や臨床栄養学などの知識はもちろん、お菓子販売で培った協調性や卒業研究でのプレゼンテーション能力など、様々な経験が活かされていると感じています。

学生生活での経験や仲間との出会いは大きな財産になると思います。食に関する知識を学びながら、様々なことに挑戦し、充実した学生生活を送ってください。

# 総合管理学部

Faculty of Administrative Studies

## 行政から企業まで、活躍の場を選ばない「総合管理能力」を究める

総合管理学部は、多様化、複雑化してきた社会の諸問題を、総合的に捉え、解決していくため、社会学、行政学、社会福祉学、経営学、情報学などを統合・体系化した総合管理（アドミニストレーション）学を専門的に教育・研究することを目的とします。

[アドミッション・ポリシー] ~総合管理学部はこのような人を求めています~

総合管理学部は、社会的諸課題を正しく捉え、それを実践的に解決していくことを学ぶ社会科学系の学部です。社会的諸課題を解決していく実践的な人材養成に向けて、学部の入学受け入れ方針を次のように定めます。

- ① 社会の諸課題に興味を持ち、それを解決していこうとする意欲と態度を備えている人
- ② 課題解決のために、他者と協力的に活動していける人
- ③ 課題を正しく把握するために、多様な視点で柔軟に考えていける人
- ④ 多様な知識とスキルから成る総合管理を学ぶために、高校までの幅広い基礎学力を持っている人



### ●2026年度入学定員及び募集人員

総合管理学部	入学定員	募集人員								
		一般選抜		自己推薦型選抜	特別選抜					
		前期	後期		学校推薦型選抜		留学生・帰国生徒 社会人			
学科	総合管理学科	280名	A方式 30名 B方式 60名	A方式 40名 B方式 50名	50名	50名	-	-	全学で2名以内	若干名

A方式：大学入学共通テスト6教科利用  
B方式：大学入学共通テスト4教科利用

### [学部の特色]

## 1 これからの時代に必要不可欠な「総合管理」、1年次から理論と実践の両輪を学ぶ

「総合管理」とは何なのか？ まずはその基礎をしっかりと学び、理解することが大切です。その土台の上に課題解決に必要な幅広い知識を修得し、実践的な演習を繰り返すことで、「総合管理能力」を発揮する人材を育成することが可能となると考えます。理論と実践、その両輪を本学では1年次から一貫して学ぶことができます。

- 1年次に「総合管理学」を設置、その体系を理解し学ぶ
- 課題解決に必要なさまざまな知識修得のための必修・選択科目群を設置

## 2 1年次から卒業まで一貫して、PBLなど少人数でのアクティブラーニングで実践力強化

教員からの一方的な講義で「知識」を得ることだけでなく、学生たちが主体的に参加、トライ&エラーを繰り返しながら、仲間と一緒に深く考えながら課題を解決する力を養っていくアクティブラーニング形式の演習で実践力を磨きます。PBL (Project-Based Learning: プロジェクト型学習) など、少人数での議論やグループワークでの学修に、全学生が1年次から取り組みます。

- 全学生が1年次から演習形式のアクティブラーニング
- 2年次後期から4年卒業まで各専攻のゼミに所属し、少人数で深く学ぶ

## 3 多様な知と実践力で公共、ビジネス、情報など360度さまざまな分野での「総合管理能力」を身につけられる

マネジメントやリーダーシップを学べる大学は他にもたくさんあるでしょう。しかしそれだけでは、ますます複雑化する世の中の課題解決には不十分です。多様な知と実践力を伴った「総合管理能力」を有した人材が切実に求められるのです。

- さまざまな分野・領域で「総合管理能力」を応用、展開
- いろいろなことを学び、「総合管理能力」で未来へ飛躍

### [学部長からのメッセージ]

総合管理学部は、社会的な課題を創造的に解決し、地域社会及び国際社会への貢献を目指す人材の育成を目的としています。多くの社会的課題は、個人だけでは解決が困難であり、複数の人々や組織が協力することが不可欠です。これを達成するには、協働をうまく促進できるリーダーが必要です。そのための理論やマネジメント手法を学ぶのが「総合管理学」です。

総合管理学部では、1年次から段階的に総合管理を学べるカリキュラムが設計されています。このカリキュラムは、理論と実践のバランスを重視しており、アクティブラーニング形式の演習を通じて、実践的な状況での課題解決技法を学びます。さらに、令和6年度からは専攻制を導入しており、学生は2年生の後期から公共専攻、ビジネス専攻、情報専攻のいずれかを選択します。専攻選択後は、関連する講義や演習に加え、専門研究や同専攻の学生との共同学習の機会が増えます。

また、熊本県立大学では、全学部生に対し、情報化・国際化する社会への対応として情報通信技術や外国語の習得を必修としています。特に英語教育においては、TOEIC®受験を推進し、データ駆動型社会に向けたデータサイエンス教育にも力を入れています。

外国語、情報技術、データサイエンスのスキルを兼ね備え、総合管理の理論と実践を身につけた皆さんが、選んだ専攻を通じて社会的課題を解決するリーダーとして将来、活躍することを期待しています。熊本県立大学のキャンパスでお会いできる日を楽しみにしております。

総合管理学部長 宮園 博光



MESSAGE from the Dean

総合的な学び  
Basic Administrative Study

×

**専門性 MAJOR**

**公共専攻** Division of Public Administration  
これからの公務員やNPOに求められる行政、法律、政策、福祉等の知識を学び、協働的に社会的課題を解決する。

**ビジネス専攻** Division of Business Administration  
経済学や経営学の分野に軸を置きながら、多様なフィールドを多角的・学際的に捉え、イノベティブに社会的課題を解決する。

**情報専攻** Division of Informatics  
情報による社会的価値の創造を中心に最先端の原理と技術を社会に応用し、クリエイティブに社会的課題を解決する。

➡

高度な課題解決人材育成

大学院 (アドミニストレーション研究科) については→P57

# 総合管理学部 4年間の学び

- 現代社会に相応しい市民性を涵養するための共通科目群と、総合管理の理論と方法の修得のための専門科目群で教育課程を編成しています。
- 専門科目群は、総合管理科目、基幹科目、展開科目、演習科目・卒業論文を体系的に配置して編成しています。

**取得資格** 教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状（社会）・高等学校教諭一種免許状（公民、商業、情報）を取得できます。



	1年	2年	3年	4年	
<b>共通科目群</b>	<b>■基幹科目</b> 外国語／健康スポーツ科学／情報処理とデータサイエンス／キャリアデザイン／地域理解とリーダーシップ				
	<b>■教養科目</b> 人間と文化／自然と環境／社会と世界				
<b>専門科目群</b>	<b>総合管理を学ぶ</b>				
	<b>■演習科目</b> さまざまな知識やメソッドを活用し、自らの問題意識でテーマを設定し、課題解決に向けて取り組む プレゼミナール（共通科目群）	<b>全員が自らが専攻する専門のゼミに所属し、総合管理の考え方をもとにそれぞれのフィールドで学びを広め、深めていく</b>			
		<b>■展開科目</b> ：所属する専攻を中心に、学生の興味や関心に応じて選択できる科目 専攻基礎演習 専門演習Ⅰ	専門演習Ⅱ-1 専門演習Ⅱ-2	専門演習Ⅲ-1 専門演習Ⅲ-2 卒業論文	
	<b>■総合管理科目</b> ：総合管理の基礎を理解する 総合管理学Ⅰ／Ⅱ 総合管理学Ⅲ	<b>■展開科目</b> ：所属する専攻を中心に、学生の興味や関心に応じて選択できる科目 統計学Ⅱ／社会調査法Ⅰ・Ⅱ			
	<b>■基幹科目</b> 総合管理を実践するスキルおよび多様な分野へと展開していく土台となる科目 <b>共通／必修</b> 公共と社会／経済学／情報イノベーション学Ⅰ(現代社会と地域情報)／情報イノベーション学Ⅱ(現代社会と半導体)	<b>公共専攻</b> <b>2年次開講科目</b> 憲法Ⅰ・Ⅱ／民法Ⅰ・Ⅱ／労働法／ビジネスと法Ⅰ／行政学Ⅰ／財政学／公共政策論Ⅰ／地方自治論／国際関係論／社会福祉学	<b>3年次開講科目</b> <b>【法律】</b> 行政法Ⅰ・Ⅱ／民法Ⅲ／ビジネスと法Ⅱ／社会保障法／生命倫理と法 <b>【政治・行政】</b> 行政学Ⅱ／行政組織論／公共政策論Ⅱ／政策実践論／参加協働論／国際システム論／地域研究／比較政治論 <b>【健康・福祉】</b> 保健医療福祉論／家庭福祉論／福祉政策論		
	<b>共通／選択必修（この中から3科目以上）</b> 政治学概論／法学概論／経済学／簿記概論／情報学／統計学Ⅰ／情報処理基礎演習	<b>情報専攻</b> <b>2年次開講科目</b> プログラミング演習Ⅰ・Ⅱ／地域と情報／データベース／情報セキュリティ基礎／情報システム	<b>3年次開講科目</b> その他、指定された連携開設科目 <b>【実践英語】</b> 実践英語Ⅰ・Ⅱ <b>【人間情報】</b> メディア情報処理／人工知能／自然言語処理／対話情報処理 <b>【システム情報】</b> 通信ネットワーク／アルゴリズムとデータ構造／プログラミング演習Ⅲ／サイバーフィジカルシステム <b>【社会情報】</b> 情報ネットワーク社会／情報社会と職業／データ可視化／応用情報処理実践		
	<b>コミュニケーション論／社会倫理</b>	<b>ビジネス専攻</b> <b>2年次開講科目</b> ミクロ経済学／マクロ経済学／計量経済学／金融論Ⅰ／マーケティング／人的資源論／経済戦略論Ⅰ／ビジネスマネジメント／簿記Ⅰ・Ⅱ／原価計算論	<b>3年次開講科目</b> <b>【組織・戦略】</b> 経営戦略論Ⅱ／経営組織論／消費者行動論／社会的企業論／ベンチャービジネス論／アントレプレナーシップ <b>【会計・財務】</b> 経営分析論／管理会計論／財務会計論／証券投資論／企業金融論 <b>【経済・金融】</b> 流通経済論／産業組織論／ビジネスデータ分析／金融論Ⅱ／公共経済学		
	<b>動きの</b>	▲ 専攻配属 (1年次末に希望調査)	▲ ゼミ配属 (2年次後期から)		

指定された連携開設科目：インストラクショナル・デザイン基礎、デジタルマーケティング



総合管理学部総合管理学科(ビジネス)3年 古谷 勇二 さん (熊本県立人吉高等学校出身)

私は、総合管理学部の幅広い学びに魅力を感じ、本学部を志望しました。高校時代から社会の仕組みや経営に興味がありましたが、総合管理学部では経済・経営だけでなく、法律や情報、地域政策など多様な分野を横断的に学べる点に惹かれました。社会の課題を多角的に捉え、解決策を考える力を身につけたいと思い、入学を決めました。

現在は、経済・経営の基礎に加え、データ分析や社会調査、情報技術の活用についても学んでいます。特に「社会調査法II」の授業では、グループで調査を設計し、データを収集・分析する実践的な学びができ、大きな糧となっています。

勉強以外では、サークル活動やアルバイトを通じて多くの人と交流し、視野を広げています。大学では自分の興味に応じて自由に時間を使えるため、勉強だけでなく、さまざまな経験を積むことができます。

入学してよかったことは、多様な価値観を持つ仲間と出会い、刺激を受けながら学べることです。総合管理学部では、自分の興味に応じて幅広く学びを深められるため、将来の選択肢が広がります。

受験生の皆さんも、自分の興味や目標に合った学びができるかどうかを考えながら進路を選んでください。大学生活は学びの場であり、多くの人と出会い成長する機会にもなります。皆さんが充実した学生生活を送れることを願っています。



総合管理学部総合管理学科(公共)3年

小山 桃加 さん

(熊本県立東稜高等学校出身)

私が本学部を選んだ一番の理由は、公共・情報・ビジネスといった幅広い分野を学び、多角的な視点や知識を身につけられることにとても魅力を感じたからです。これらの力は、将来地域に貢献したいと考えている私にとって大切だと考えています。また、「KUMAJECT(クマジェクト)」という地域に根差したプロジェクト等にも参加

することができたり、他の大学にはない総合管理学を学べたりすることで様々な知識と経験を積むことができると確信したからです。

現在は、法学や経済学、社会福祉などについて学習しています。これまで履修してきた中で「もやいすとシニア育成」という科目が一番印象に残っています。この科目は、一年次で必修の「もやいすとジュニア育成」よりもレベルアップした科目で、仲間と協力してより具体的な課題解決に向けて考えることができ、とても達成感のある講義でした。

勉強以外では、部活動や同好会など4つの団体に所属しつつ、地域活性化を目的とした学外活動にも参加しています。時には、学業との両立の難しさを感じることもありますが、自分の向上心を大切に、努力し続ける姿勢を心がけています。

本学だからこそ学べることが多くあると感じます。ぜひ、私達と一緒にやりたいことに一生懸命取り組める、楽しい大学生活を送りませんか？



総合管理学部総合管理学科(情報)4年

村田 怜菜 さん

(ルーテル学院高等学校出身)

私は高校生の頃に熊本の農業課題解決を目的とするプロジェクトに参加し、「熊本の第一次産業に貢献できる人材になりたい」と思ったことをきっかけに、地域に根ざし、多様な視点から課題解決を学ぶことができる本学部を志望しました。現在は情報分野の岩見ゼミに所属し、気候変動が海苔養殖

に与える影響や地域との関連性について研究を進めています。

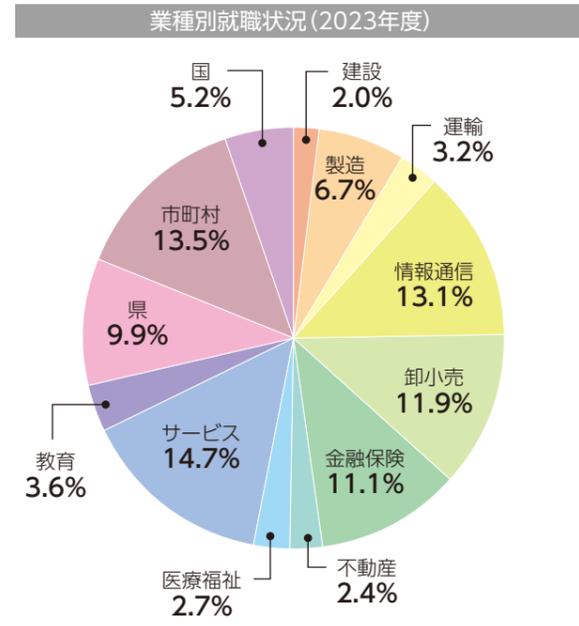
本学部では情報技術の使い方だけでなく、情報技術をどのように課題解決に応用していくか、という実践的な知識を得られるのが魅力の1つだと感じています。その中でも「地域と情報」という講義で学んだことが現在の研究の基礎になっています。

学生生活の中では、本学の学祭である白亜祭で昨年度に実行委員長を務めたことが最も印象深い経験です。一緒に白亜祭を作り上げてくれた仲間や、実行委員長の仕事を通して出会った方々との繋がり、困難を乗り越えた経験は、私の人生における何にも代えがたい財産となりました。

本学部は多様な学びを得られるという特徴から、夢や目標も多種多様な学生が集まっています。私自身、そんな同期や先輩、後輩たちから刺激を受け、日々学んでいます。受験期間は辛い事も多いと思いますが、大学で素敵な同期、先輩、教員の皆さんに出会える日を思い描き、ぜひ最後まで走り抜いてください！

## 卒業後の進路

国家公務員、地方公務員はもとより、民間では銀行、生保、損保、病院、旅行会社、航空会社、テレビ局、不動産、学校、メーカー、サービス、流通と就職先は多岐にわたっています。



## 主な進路一覧(2021~2023年度)

### 就 職

【建設】一条工務店、開成工業、金子組、木村建設、九州開発エンジニアリング、九電工、共同エンジニアリング、桑畑建設、建設プロジェクトセンター、さかぐち、シアーズホーム、松栄パナホーム熊本、新産住拓、すまい工房、生和コーポレーション、セキスイハイム九州、大政建設、DADA建築企画研究所、電盛社、東建コーポレーション、ニチレキ、ハウジングプラザ、原田木材、メタウォーター、矢作建設工業、リブワーク、ワイテック

【製造】アイリスオーヤマ、アヤボ、F・Oインターナショナル、応用電機、オムロン阿蘇、キーエンス、熊本県果実農業協同組合連合会、熊本県酪農協同組合連合会、熊本製粉、倉岡紙工、KMバイオロジクス、コニカミノルタ、小松製作所、再春館製薬所、三相電機、Japan Advanced Semiconductor Manufacturing、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、タイヘイテクノス、デリカフレンス、東京エレクトロン九州、東京応化工業、DOBLEK、日本リモノイト、不二ライトメタル、フンドーダイ、ホーコス・アスリード、ホシザキ北九、マキタ、丸美屋、メルコセミコンダクタエンジニアリング、MOLDINO、安川オートメーションドライブ、ヤマハ熊本プロダクツ、ユナイテッドトヨタ熊本、リョーユーパングループ

【運輸】ANAウイングス、九州産交バス、共同、熊本国際空港、サントリービバレッジソリューション、JALスカイ、鈴与、センコー、永井運送、西日本鉄道、西鉄エアサービス、日鉄物流、日本航空、日本郵便、ハート引越センター

【電気・ガス・水道】九州テクニカルメンテナンス、南九州マルキ

【情報通信】RKKCS、ISIDインターテクノロジー、安心計画、イリオスネット、インサイド・アウト、インフォセンス、エスユーエス、NIK、NECフィールディング、NSW、エス・ティ・ティ・データフィナンシャルテクノロジー、愛媛新聞、エンテックス、オラフズ、学映システム、カナオビ、兼松エレクトロニクス、ギミック、九州デジタルソリューションズ、Qsol、九電ビジネスソリューション、熊日広告社、くまもと経済、熊本計算センター、クラッキ、KIS、コスモネット、コマス、これから、サードウェア、サイジスタ、再春館システム、GMOインターネット、シエルシステム、SYSKEN、ジョウツウ、スタイル・エッジ、スフィードクロス、スマセイ情報システム、ソフトウエアビジョン、地方公共団体情報システム機構、Twostone&Sons、TKC、TYO、D.Ace、DMM.com、トラストリング、トランスコスモス、ナレッジコミュニケーション、日鉄ソリューションズ、日本ビジネスデータプロセッシングセンター、日本ユニシス、ネクストビート、ハイコム、ビートテック、ビーネックスソリューションズ、肥銀コンピュータサービス、日立社会情報サービス、日立ソリューションズ西日本、ヒューマンテックノシステムホールディングス、FIXER、富士通Japan、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン、Fusic、フロイデ、ポート、ホンダコムテック、三菱電機インフォメーションシステムズ、宮崎放送、RITAグループHD、ローカル、ワイイーデジタル

【卸小売】愛歯、愛知日産自動車、青山商事、アルペン、イオン九州、イオンリテール、イズミ、内村酸素、SRL、大寫屋、鹿児島ダイハツ販売、キタムラ、木村、キヤノンシステムアンドサポート、キヤノンマーケティングジャパン、九州ケースデンキ、キングラン九州、熊本クボタ管機材、熊本トヨペット、興農園、コスモス薬品、コネクシオ、JR九州リテール、ジャパネットホールディングス、シャープマーケティング

ジャパン、生活協同組合くまもと、正晃、善徳丸建材、大黒天物産、大創産業、ダイレックス、ツルハグループ&ファーマシー西日本、鶴屋百貨店、T-LIFE、DCM、DNS、同仁堂、富田薬品、トヨタモビリティパーツ、ドラッグストアモリ、西原商会、日産プリンス熊本販売、ネクステージ、パナソニックコンシューマーマーケティング、パナソニックホームズ北九州、ビックカメラ、ヒラタ、福岡スバル、フジチク、フタバ、勉強堂、マルキョウ、丸菱、丸菱ホールディングス、マルミヤストア、メガネの大宝堂、ヤマダホールディングス、山崎文栄堂、ユナイテッドトヨタ熊本、吉田、ヨドバシカメラ、リコージャパン、良品計画、レイメイ藤井、ロッキー、渡邊ハイブ

【金融保険】朝日生命保険、天草信用金庫、大牟田信用金庫、鹿児島銀行、九州労働金庫、熊本銀行、熊本県農業共済組合、熊本県民共済生活協同組合、熊本信用金庫、熊本第一信用金庫、熊本中央金庫、全国共済農業協同組合連合会熊本県本部、ソニー損害保険、第一生命保険、大熊本証券、東京海上日動火災保険、東京海上日動コミュニケーションズ、ニッセイウェルス生命、日本カストディ銀行、日本生命保険、肥銀カード、肥後銀行、ペイペイカード、三井住友信託銀行、明治安田生命保険相互会社、山口フィナンシャルグループ、楽天カード

【不動産】AoYama、アサンテ、穴吹興産、イオンモール、エイブル、MBC開発、奥羽興産、カチタス、カリノファシリティーズ、グッドハート、熊本賃貸サポート、熊本地所、新規建設、心友不動産、すがコーポレーション、東急コミュニティ、9GATES、日立ビルシステム、プレミアムライフ、三井不動産リアルティ九州、明和不動産、リブワーク

【医療福祉】熊本県医師会、熊本県歯科医師会、熊本市医師会熊本地域医療センター、熊本整形外科病院、熊本赤十字病院、熊本中央病院、くわみず病院、国立病院機構九州グループ、国立病院機構福岡東医療センター、こどもみらいラボSAI、再春館製薬所、済生会熊本病院、社会保険診療報酬支払基金、全国健康保険協会、大輪会、地域医療機能推進機構、ひまわり、ヘルスケアシステムズ、メディカル・ケア・サービス、メディカル・データ・ビジョン、もみの木園、ゆうしん

【サービス】アクセンチュア、麻生、アソウアルファ、阿蘇森林組合、阿蘇農業協同組合、あつまるホールディングス、アパホテル、アントルメ果樹、石井養鶏農業協同組合、岩崎産業、INTLOOP、インバウトホールディングス、エイチ・アイ・エス、エイブル、ABCash Technologies、SRL、エステティックTBC、EVAND、エム・シーネットワークスジャパン銀座カラー、オートバックスセブン、鹿児島県土産改良事業団連合会、金井大道具、上益城農業協同組合、川六、広東 旅館みな和、九州産交ツーリズム、九州産交ランドマーク、九州テクニカルメンテナンス、近代経営、熊日広告社、熊本学習支援センター、熊本県果実農業協同組合連合会、熊本県経済農業協同組合連合会、熊本県国民健康保険団体連合会、熊本県商工会連合会、熊本県土産改良事業団体連合会、熊本県酪農協同組合連合会、熊本市農業協同組合、熊本地所、GROP、KBCメディア、国家公務員共済組合連合会、コロナワールド、コンベンションリクージュ、サーキュレーション、さくら優和パートナーズ、シーエスエス総合舞台、JA、JA熊本中央会、JECC、スチームシップ、生活協同組合くまもと、セクラ、セルモ、全国健康保険協会、総合企画、総合プラント、ダイナム、玉名農業協同組合、チュチュアンナ、DYM、トライトキャリア、ナノヒューマンプロモーション、西鉄エアサービス、日研トータルソリューション、日本年金機構、日本郵政コーポレートサービス、パーソルワークスデザイン、はま寿司、ひぐち、ビッグモーター、ヒューマンライフ、ヒューマンリソシア、ピラッドフィルムクアドラ、福岡県広域森林組合、BOOK MARUIE、ふもと旅館、ブラフイー、プレナス、ホテルジャパネスク福岡、マーキュリー、マイナビ、マイナビワークス、マッシュ、マトリクス・エスディ、丸亀製麺、都城森林組合、宮崎県森林林業協会、八代地域農業協同組合、ゆうプランニング、UTエイム、ユーコー、ライフジャパン、楽天グループ、リクルート、リゾートトラスト、竜之介、理由、りらいあコミュニケーションズ、リライアブル、ローカル、ワールドインテック

【教育】アイオ、有明工業高等専門学校、英進館、愛媛県教育委員会、熊本学園大学、熊本県教育委員会、熊本国府高等学校、熊本市教育委員会、熊本大学、生活と教育、タップカンパニー、鳥取県教育委員会、プライマリストリーム、ベビーキッズクラブ

【県】大分県、鹿児島県、京都府、熊本県、熊本県警察本部、警視庁、佐賀県、東京消防庁、長崎県、広島県警察本部、福岡県警察本部、宮崎県、宮崎県警察本部

【市町村】天草市、岩国市、宇城市、宇土市、大津町、鹿児島市、嘉島町、上天草市、菊池市、北九州市、霧島市、熊本市、熊本市消防局、甲佐町、合志市、佐世保市、薩摩川内市、玉名市、筑後市、長崎市、西原村、氷川町、人吉市、広島市、益城町、南阿蘇村、南九州市、宮崎市消防局、宮若市、八代市、山鹿市

【国】鹿児島地方裁判所、九州厚生局、九州財務局、九州総合通信局、九州農政局、熊本国税局、熊本地方裁判所、熊本地方務局、熊本労働局、長崎税関、陸上自衛隊

### 進 学

大阪大学大学院国際公共政策研究科、熊本学園大学会計専門職大学院、熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科、熊本大学大学院教育学研究科教職実践開発専攻教科教育高度化実践コース、熊本防災看護専門学校、京都大学大学院法学研究科、情報科学芸術大学院大学メディア表現研究科

MESSAGE from a Graduate



【勤務先】**熊本市**

2017年3月  
総合管理学部総合管理学科(公共)卒業

**飯崎 智也 さん**  
(熊本県立宇土高等学校出身)

卒業生からのメッセージ

私は、熊本に残って就職したいという思いと、多様な学問領域を学べることから本学部に進学しました。大学では、法律、国際関係、行政法、情報など幅広い分野を学び、ゼミでは行政法を専門に学びました。印象的だったのは、ゼミ活動を通じて得た市外および海外での学びです。現地に行き、机上では得られない貴重な出会いや視野の広がりがありました。

学業と並行して、サークルでのボランティア活動にも力を入れました。部長として、100人近くの部員をまとめ、調整力を身に付けました。また、地域の方々や関係者とのコミュニケーションを大切にし、その中で熊本市役所職員と出会い、その後の就職活動における大きなきっかけとなりました。

卒業後は熊本市職員として自治会や生活保護関連業務に携わり、大学で身に付けた幅広い教養は公務員試験の際やその後の業務でも活かされています。また、ボランティア活動で培った調整力や関係者・地域住民の方とのコミュニケーション力は、市民の方々や職場・関係機関の方とかわるうえで重要な役割を果たしています。

熊本県立大学は学業だけでなく、人間性を磨く場としても素晴らしい環境です。ぜひ幅広く講義を受け、学外活動にも積極的に参加し、充実した大学生活を送ることで、将来の選択肢を広げてほしいと願っています。

MESSAGE from a Graduate



【勤務先】**ファッション stylist**

2019年3月  
総合管理学部総合管理学科(ビジネス)卒業

**松本 竜弥 さん**  
(熊本県立熊本北高等学校出身)

卒業生からのメッセージ

私は将来を見つけるために本学部へ進学しました。総合管理学部という名称のとおり、初年度から情報・政治経済・福祉など、現代を生きる上で必要不可欠な分野を幅広く学ぶことができるため、何か将来を見つけれられるのではないかと考えました。

学生生活は慌ただしく、とても楽しい日々を送りました。学業では様々なプロジェクトにリーダーとして参加するとともに、野球部に所属して三度の全国大会出場、西日本大会でのベスト8進出。サークル活動にアルバイト。今思えば信じられない体力です(笑)。

そして私の現在(いま)に大きな影響を与えているのは、大学の先輩方です。同じ地元の先輩が多く、白亜祭や逃走中、サークルなどのイベントで打ち解け、可愛がってもらえました。そして何より先輩方がみんなオシャレでカッコよかったんです。そこでファッションに目覚めました。本学の先輩・後輩の距離の近さがないと生まれなかったキッカケだと思っています。

そう、私は現在(いま)、ファッション stylist をしています。雑誌やタレントさんの衣装をはじめ、広告やアーティストの方々のMV衣装まで多岐にわたるファッションを手がけています。最近では韓国の方々とお会いすることが多く、在学中に学んだ韓国語が大変役立っています。簡単な韓国語しか話せませんが、先方からは驚かれます。

結果として、本学の歴代の卒業生とは異なる道を歩んでますが【好き】を仕事にでき、今はとても楽しいです。

私から受験生に言えることは、本学で将来の【キッカケ】を見つけてほしい、そして【好き】を仕事にしてほしいと切に願っております。

MESSAGE from a Graduate



【勤務先】**東京エレクトロン九州株式会社**

2022年3月  
総合管理学部総合管理学科(情報)卒業

**石部 早季子 さん**  
(熊本県立第一高等学校出身)

卒業生からのメッセージ

私は将来やりたいことが決まっていなかったため、様々な分野の学問を学べる総合管理学部へ進学しました。本学部では他学部にはない、ビジネス、公共、情報の3分野について学ぶことができるため、幅広い知識とスキルを習得しました。中でも私は、情報社会において必要なスキルを身につけられる情報分野を専攻しました。プログラミングやデータベース等は難しく苦戦しましたが、4年間しっかり学ぶことができたので、社会人となった今でも役に立っています。学外では、カナダへ留学して語学勉強や、異文化交流といった経験ができました。

現在は東京エレクトロン九州で、開発系の部署で定型業務を中心に、円滑な業務運営と組織運営をサポートする仕事に携わっております。最近では海外とのやり取りも増えてきており、学生時代の留学経験や本学部で学んだことを活かしています。

本学部には、特に将来の目標が明確に決まっていないう方や、幅広く学問を学び選択肢を増やしたい方にとって、いくらでも学べる環境が整っています。進路を定め、前へ踏み出す皆さんを応援しています。

# 大学院

Graduate School

各学部・学科の専門教育を基礎に発展させた、文学研究科、環境共生学研究科、アドミニストレーション研究科の3研究科をそろえています。



## 文学研究科

Graduate School of Language & Literature

●日本語日本文学専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

Division of Japanese Language & Literature

●英語英米文学専攻(博士前期課程)

Division of English Language & Literature

文学研究科は、多様な価値観がせめぎ合う現代社会の中で、言語・文学研究の成果を人間生活の中に生かしていく方途を模索し、的確に実践していくことを理念としています。専門性を深化させ、英知を磨き、真がんと分別する洞察力を養い、以て人間文化の進展に寄与することを目指す研究の場です。



英語学特殊講義

### [人材の養成の目的]

文学研究科博士前期課程では、研究領域の専門的知識を修得した高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

文学研究科博士後期課程では、地域における言語文化研究・言語教育研究の拠点としての役割を見据え、各領域の発展的知識や教育実践活動の成果を応用しながら、問題の設定から解決までを独力でできる高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

専攻	課程	入学定員
日本語日本文学専攻	博士前期課程	5名
	博士後期課程	2名
英語英米文学専攻	博士前期課程	5名
	博士後期課程	2024年度より募集停止

取得資格(博士前期課程)

- 日本語日本文学専攻 中学校・高等学校教諭専修免許状(国語)
- 英語英米文学専攻 中学校・高等学校教諭専修免許状(英語)

## 環境共生学研究科

Graduate School of Environmental & Symbiotic Sciences

●環境共生学専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

Division of Environmental & Symbiotic Sciences

環境共生学研究科は、人間と人間を取り巻く生物学的要因・大気・水・森林・土壌・人工物などの非生物的要因からなる環境とが共生するためのあり方、人間活動を支える場としての豊かな自然を保全し利用する方法、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策などを科学的に追求することを旨とする研究の場です。



食品機能分析学

### [人材の養成の目的]

環境共生学研究科博士前期課程では、環境共生学の基本的理念を基にした環境分野の専門的知識と技術を修得した高度専門職業人および環境共生学を実践できる研究者を養成することを目的とします。

環境共生学研究科博士後期課程では、自然と人間活動との共生を具体的に実現していく資源循環型社会の構築に向けて、より総合的で高い専門的知識や技術と実践的能力を併せもつ高度専門職業人および環境共生学を実践できる内外の研究者を養成することを目的とします。

専攻	課程	入学定員
環境共生学専攻	博士前期課程	20名
	博士後期課程	3名

取得資格(博士前期課程)

- 中学校・高等学校教諭専修免許状(理科)
- 中学校・高等学校教諭専修免許状(家庭)

## アドミニストレーション研究科

Graduate School of Administrative Studies

●アドミニストレーション専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

Division of Administrative Studies

アドミニストレーション研究科は、社会科学系の研究を総合的に行う大学院として、行政学・経営学・経済学・情報学・看護学などの諸学問を学際的に協働させることで社会的諸課題を解決するための理論を発展させていくことを目指す研究の場です。



情報デザイン論特殊講義

### [人材の養成の目的]

アドミニストレーション研究科博士前期課程では、複雑・多様化した社会的諸課題を学際的な協働によって実践的に解決していく高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

アドミニストレーション研究科博士後期課程では、複雑・多様化した社会的諸課題を学際的知識と高度な手法を用いて創造的に解決でき、アドミニストレーションの理論の発展を担う高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

専攻	課程	入学定員
アドミニストレーション専攻	博士前期課程	12名
	博士後期課程	2名

取得資格(博士前期課程)

- 中学校教諭専修免許状(社会)
- 高等学校教諭専修免許状(公民)

# 教員紹介

※五十音順

文学部		日本語日本文学科	
准教授 <b>岩田 芳子</b> <i>Iwata Yoshiko</i> 日本古代文学	准教授 <b>五島 慶一</b> <i>Goto Keiichi</i> 日本文学	准教授 <b>真島 望</b> <i>Mashima Nozomu</i> 日本近世文学	
学科長・教授 <b>大島 明秀</b> <i>Oshima Akihide</i> 歴史学	副学長・教授 <b>鈴木 元</b> <i>Suzuki Hajime</i> 日本文学	教授 <b>山田 俊</b> <i>Yamada Takashi</i> 中国語・中国文化	
准教授 <b>小川 晋史</b> <i>Ogawa Shinji</i> 社会言語学・方言学	准教授 <b>羽鳥 隆英</b> <i>Hatori Takafusa</i> 日本芸能文化論	教授 <b>米谷 隆史</b> <i>Yoneya Takashi</i> 日本語学	

文学部		グローバル・スタディーズ学科	
教授 <b>石井 佳世</b> <i>Ishii Kayo</i> 教育心理学	准教授 <b>田中 和也</b> <i>Tanaka Kazuya</i> 英語文学	教授 <b>原 絃子</b> <i>Hara Hiroko</i> 英語・異文化コミュニケーション	准教授 <b>リカード ジョシュア</b> <i>Joshua Rickard</i> 文化人類学
准教授 <b>萱嶋 崇</b> <i>Kayashima Takashi</i> 英語学・言語学・対照言語学	准教授 <b>難波 美和子</b> <i>Namba Miwako</i> 比較文学	学部長・教授 <b>村尾 治彦</b> <i>Muraio Haruhiko</i> 認知言語学	学科長・教授 <b>レイヴン リチャード</b> <i>Richard Lavin</i> コンピュータ支援英語教育
教授 <b>武上 富美</b> <i>Takegami Fumi</i> 英語教育	教授 <b>西本 陽一</b> <i>Nishimoto Yoichi</i> 地域研究ならびに地域社会学(もやいすと)	准教授 <b>吉田 希依</b> <i>Yoshida Kei</i> 英語文学	

環境共生学部		環境共生学科 環境資源学専攻	
教授 <b>阿草 哲郎</b> <i>Agusa Tetsuro</i> 水環境科学	専攻長・教授 <b>一宮 陸雄</b> <i>Ichinomija Mutsuo</i> 海洋資源学	准教授 <b>斎藤 達也</b> <i>Saito Tatsuya</i> 森林資源学	教授 <b>モロー ジェフリー スチュワート</b> 英語教育 <i>Jeffrey Stewart Morrow</i>
教授 <b>石橋 康弘</b> <i>Ishibashi Yasuhiro</i> 資源循環化学	教授 <b>小林 淳</b> <i>Kobayashi Jun</i> 環境分析化学	教授 <b>張 代洲</b> <i>Zhang Daizhou</i> 大気環境学	
教授 <b>石村 秀登</b> <i>Ishimura Hideto</i> 教育学	准教授 <b>小森田 智大</b> <i>Komorita Tomohiro</i> 海洋生態学	教授 <b>松添 直隆</b> <i>Matsuzoe Naotaka</i> 植物生産学	

環境共生学部		環境共生学科 居住環境学専攻	
講師 <b>栗原 広佑</b> <i>Kuribara Kousuke</i> 環境設備システム学	教授 <b>柴田 祐</b> <i>Shibata Yu</i> 地域計画学	准教授 <b>鄭 一止</b> <i>Cheong Ilji</i> 都市計画学	准教授 <b>南部 恭広</b> <i>Nambu Yasuhiro</i> 居住空間木質構造学
准教授 <b>佐藤 哲</b> <i>Sato Satoshi</i> 建築計画学	教授 <b>高橋 浩伸</b> <i>Takahashi Hironobu</i> 建築設計・住空間計画学	教授 <b>辻原 万規彦</b> <i>Tsujihara Makihiko</i> 地域環境調整工学	専攻長・教授 <b>李 麗</b> <i>Li Li</i> 居住空間合成構造学

環境共生学部		環境共生学科 食健康環境学専攻	
教授 <b>青木 朋子</b> <i>Aoki Tomoko</i> 身体運動制御学	教授 <b>坂本 達昭</b> <i>Sakamoto Tatsuzaki</i> 実践栄養教育学	准教授 <b>田尻 美千子</b> <i>Tajiri Michiko</i> 家庭科教育・調理科学・食育	教授 <b>松崎 弘美</b> <i>Matsuzaki Hiromi</i> 食品バイオ工学
准教授 <b>阿南 弥寿美</b> <i>Anan Yasumi</i> 食品安全性学	教授 <b>下田 誠也</b> <i>Shimoda Seiya</i> 臨床病態代謝学	教授 <b>友寄 博子</b> <i>Tomoyori Hiroko</i> 食品栄養機能学	専攻長・教授 <b>松本 直幸</b> <i>Matsumoto Naoyuki</i> 環境生理学
准教授 <b>岸 知子</b> <i>Kishi Tomoko</i> 公衆栄養学	学部長・教授 <b>白土 英樹</b> <i>Shiratsuchi Hideki</i> 食品分析学	助教 <b>中下 千尋</b> <i>Nakashita Chihiro</i> 食健康環境学	准教授 <b>吉田 卓夫</b> <i>Yoshida Takuya</i> 臨床栄養学
助手 <b>境田 奈津子</b> <i>Sakai Natsuko</i> 食健康環境学	助教 <b>田尻 絵里</b> <i>Tajiri Eri</i> 食健康環境学	准教授 <b>中嶋 名菜</b> <i>Nakashima Nana</i> 給食経営管理学	

総合管理学部		総合管理学科 公共専攻	
教授 <b>石黒 巳紀子</b> <i>Ishiguro Mikiko</i> 地方行政論	准教授 <b>佐藤 雄一郎</b> <i>Sato Yuichiro</i> 憲法学	准教授 <b>田畑 嘉洋</b> <i>Tabata Yoshihiro</i> 民法学	准教授 <b>安武 綾</b> <i>Yasutake Aya</i> 福祉政策論
准教授 <b>井寺 美穂</b> <i>Idera Miho</i> パブリック・アドミニストレーション	教授 <b>澤田 道夫</b> <i>Sawada Michio</i> アドミニストレーション論	教授 <b>中尾 富士子</b> <i>Nakao Fujiko</i> 看護学	
専攻長・教授 <b>上拂 耕生</b> <i>Uebarai Kousei</i> 行政法	准教授 <b>関 智弘</b> <i>Seki Tomohiro</i> 公共経営	教授 <b>西森 利樹</b> <i>Nishimori Toshiki</i> 社会保障法	
教授 <b>江崎 一郎</b> <i>Esaki Ichiro</i> 社会倫理	教授 <b>高埜 健</b> <i>Takano Takeshi</i> 国際関係論	准教授 <b>松本 千晴</b> <i>Matsumoto Chiharu</i> 看護学	

総合管理学部		総合管理学科 ビジネス専攻	
准教授 <b>飯島 賢志</b> <i>Iijima Kenji</i> 社会統計学	准教授 <b>本田 藍</b> <i>Honda Ai</i> 社会調査法	准教授 <b>山西 佑季</b> <i>Yamanishi Yuki</i> 財務会計論	
教授 <b>井田 貴志</b> <i>Ida Takanori</i> 経済の基礎理論	教授 <b>本田 圭市郎</b> <i>Honda Keiichiro</i> 計量経済学	助教 <b>劉 鶴</b> <i>Ryu Hato</i> 産業組織論	
教授 <b>河西 卓弥</b> <i>Kawanishi Takuya</i> ファイナンス	専攻長・教授 <b>望月 信幸</b> <i>Mochizuki Nobuyuki</i> 管理会計論		

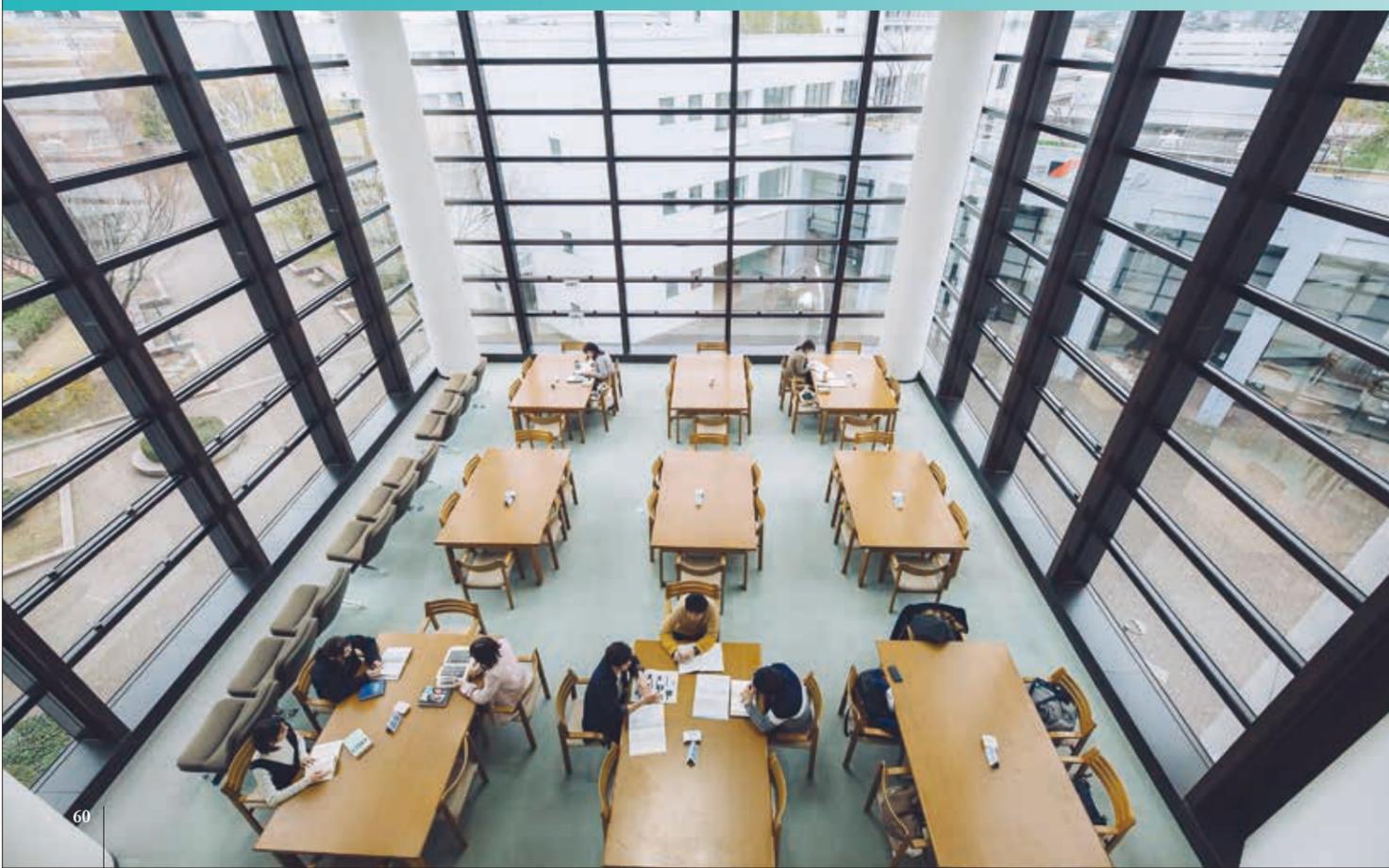
総合管理学部		総合管理学科 情報専攻	
教授 <b>飯村 伊智郎</b> <i>Iimura Ichiro</i> 知能情報学	助教 <b>エロネン ユーソ カレヴィ クリスティアン</b> 情報工学 <i>Eronen Juuso Kalevi Kristian</i>	准教授 <b>堀 一輝</b> <i>Hori Kazuki</i> データサイエンス	専攻長・教授 <b>森山 賀文</b> <i>Moriyama Yoshifumi</i> 情報学
准教授 <b>石橋 賢</b> <i>Ishibashi Ken</i> 情報メディア論	准教授 <b>金井 貴</b> <i>Kanai Takashi</i> 情報セキュリティ論	准教授 <b>松田 節郎</b> <i>Matsuda Setsuro</i> データサイエンス	
准教授 <b>岩見 麻子</b> <i>Iwami Asako</i> 地域情報学	准教授 <b>小藪 和剛</b> <i>Kozono Kazutake</i> プロジェクト・マネジメント	学部長・教授 <b>宮園 博光</b> <i>Miyazono Hiromitsu</i> 情報認知科学	

共通教育センター			
教授 <b>青木 朋子</b> <i>Aoki Tomoko</i> 身体運動制御学	准教授 <b>小藪 和剛</b> <i>Kozono Kazutake</i> プロジェクト・マネジメント	准教授 <b>堀 一輝</b> <i>Hori Kazuki</i> データサイエンス	教授 <b>モロー ジェフリー スチュワート</b> 英語教育 <i>Jeffrey Stewart Morrow</i>
教授 <b>阿草 哲郎</b> <i>Agusa Tetsuro</i> 水環境科学	教授 <b>武上 富美</b> <i>Takegami Fumi</i> 英語教育	准教授 <b>松田 節郎</b> <i>Matsuda Setsuro</i> データサイエンス	センター長・教授 <b>山田 俊</b> <i>Yamada Takashi</i> 中国語・中国文化
教授 <b>石井 佳世</b> <i>Ishii Kayo</i> 教育心理学	准教授 <b>田中 祐治</b> <i>Tanaka Yuji</i> 応用言語学	教授 <b>松本 直幸</b> <i>Matsumoto Naoyuki</i> 環境生理学	准教授 <b>李世恩</b> <i>Ri Seun</i> 英語教育
教授 <b>石村 秀登</b> <i>Ishimura Hideto</i> 教育学	准教授 <b>難波 美和子</b> <i>Namba Miwako</i> 比較文学	教授 <b>宮園 博光</b> <i>Miyazono Hiromitsu</i> 情報認知科学	助教 <b>劉 鶴</b> <i>Ryu Hato</i> 産業組織論
教授 <b>大島 明秀</b> <i>Oshima Akihide</i> 歴史学	教授 <b>西本 陽一</b> <i>Nishimoto Yoichi</i> 地域研究ならびに地域社会学(もやいすと)	准教授 <b>森 裕生</b> <i>Mori Yuki</i> 初年次教育・学修評価・キャリア教育	



## キャリアサポート・学修支援

- キャリアセンター
- キャリアサポート
- デジタルイノベーション推進センター
- 図書館
- 学修支援



# キャリアセンター

## 卒業後の自分を思い描き、その実現に向けて頑張るあなたをサポート

熊本県立大学には、就職活動などの支援を行う「キャリアセンター」があります。キャリアセンターでは、センター長やキャリアコーディネーターが中心となり、学生が自分にあった進路・就職先を選択するための様々な支援を行っています。

### 進路相談

進路は自分自身の問題なので主体的に考え、行動することが重要です。しかし、自己分析→業界・企業研究→会社説明会→採用試験→内定といった一連の就職活動では、様々な疑問、不安や悩みを感じる事が少なくありません。これは就職だけでなく、進学、留学、資格取得などをする場合にも同様のことが言えます。

キャリアセンターでは、進路に関する様々な情報提供を行うとともに、就職相談員やCCA(キャンパス・キャリア・エンジェル)による進路相談を開催するなど、進路選択のサポートを積極的に行っております。

### 就職相談員

経験豊かな専任の就職アドバイザーがきめ細やかな就職指導、就職相談を行います。企業情報の収集の仕方、自己PRや志望動機を中心とした履歴書の書き方、受験する企業に焦点を合わせた面接や入室のマナーに至るまで、親身になって支援を行います。

### CCA (キャンパス・キャリア・エンジェル)

卒業後の進路が決定している4年生(「キャンパス・キャリア・エンジェル」)が、自身の学生生活や就職活動を踏まえて、就職活動や進路選択などに関する相談に応じます。

### 就活関連情報

キャリアセンターでは、求人情報や企業情報、就活関連の書籍および情報誌、面接対策DVDなど、就活に役立つ様々な情報を閲覧できます。中でも「受験報告書」は、先輩たちの就活の進め方や選考の内容、後輩へのアドバイスなど、活きた就活体験が詰まっているため、自身の就活の際にとっても役に立ちます。就活関連書籍の一部は貸出対応も行っています。

3年生になると、県大生専用の就活サイト「県大就活ナビ」を利用できます。求人情報や企業情報の閲覧、求人へのエントリーはもちろん、インターンシップや学内企業説明会などの就活に関するイベント情報を確認したり参加申込をしたりすることができるほか、先輩方の「受験報告書」も学内外を問わず気軽に閲覧できます。



## 学生サポート

これまでとは違った環境で過ごす学生生活。自らをコーディネートしていくあなたをサポートします。

### 学生相談

学業、進路、心と体、生活などに関する相談を受け付けています。内容によって、保健師、臨床心理士、教職員が対応します。また、電話や電子メールでの相談も受け付けています。



### 下宿・アパート

自宅が遠方の学生にとってアパート・下宿先を探すのは大変です。本学では、本学周辺のアパート・下宿に関する情報を提供しています。仲介手数料がないのもメリットです。

なお、アパート・下宿情報は本学ホームページでも閲覧することができます。



### アルバイト

学生支援課では、経済的支援の一環として、学生アルバイトとしてふさわしい仕事のみを厳選し紹介しています。アルバイトは、学業に支障のない範囲で行いましょう。



# キャリアサポート

## 就職や進学に向けたきめ細やかなサポート

年間を通して多くの学生に利用されているキャリアセンターでは「セミナー」や「ガイダンス」などを開催し学生の4年間を強力にサポートします。



就職相談



マナー講座



キャリアアップ対策



公務員説明会



学内合同企業セミナー

# 学修へのデジタル活用環境



## 情報処理実習室

- 4つの教室に214台のPCを設置しています。
- 図書館にも50台設置しています。
- 空き時間にも利用できるよう実習室の開放を実施しています。
- ハイスペックなPCを設置し、様々なソフトが利用できます。

実習室・図書館  
Microsoft Office Professional Plus 2019  
実習室  
Adobe(Photoshop, Illustrator等)  
Visual Studio 等

### LMS 学修管理システム



授業に関する連絡・資料・課題等が一元的に分かるようシステムで支援しています。

### 無線ネットワーク



私物のPCやスマートフォンでも学内各所でインターネットへWi-Fi接続できます。

### Office 365 ライセンス



在学中は私物のPC等にWord、Excel等を無償でインストールして使用できます。

### データ保存



OneDrive等の保存領域を利用できます。OneDriveは自宅からでもアクセス可能です。

### IT サポート窓口



対面・メール・電話で学修のためのIT関連の質問や相談ができます。

### ノートパソコン貸出



1日単位(当日返却)で貸出。学生なら誰でも利用できます。(台数に限りがあります。)

# デジタルイノベーション推進センター

## デジタルによる教育研究環境の刷新を推進します。

あらゆる情報の分析・活用を通して情報の価値を最大限に高めるとともに、デジタルの力により、革新的で魅力ある環境を構築します。

## 高度な情報リテラシーを習得するための教育支援と環境を提供します。

大学生活に欠かすことのできないITの活用を支援するため、サポート窓口を運営しています。パソコン・ネットワーク利用に関する相談受付や、パソコン・周辺機器の貸出、在学期間における全学生へのOfficeアプリケーションの無償提供、情報処理実習室(パソコン室)の管理・提供を行なっています。

## 安全・安心な情報インフラ・セキュリティを提供します。

本学情報ネットワーク基盤の整備、管理を行っています。また、次世代ファイアウォール等の最新防御対策、セキュリティインシデントへの備えにより安全・安心なネットワーク環境を提供しています。

# 図書館

教養から専門まで充実した蔵書と快適な学修環境を提供します。

キャンパスにふりそそぐ柔らかな光をふんだんに取り入れた快適で明るい学習・情報空間です。パソコンコーナー、ラーニングコモンズ、キャレル(個別学習机)など、多様なニーズに応じた学修スペースを用意しています。



雑誌コーナー

三面ガラス張りの明るいくつろげる空間です。国内外の様々な専門誌がそろっています。



パソコンコーナー

50台設置しており、学生は自由に利用できます。図書を手元に置いてのレポート作成等のニーズに応えます。

### ■図書館概要

- 図書収容能力 41万冊
- 閲覧席 約360席
- 蔵書数  
図書 約38万冊  
(うち電子書籍 約2千冊)
- 雑誌・紀要数 約6,000種
- 購読雑誌数 約210種

※令和7年(2025年)3月末現在

# 学修支援

## GPA制度

### ポイント制による成績評価

成績は、授業科目ごとに、秀、優、良、可、不可の5段階で評価しますが、これに加えて、成績評価システム「GPA(Grade Point Average)制度」を導入しています。GPA制度は、授業科目ごとの成績評価(試験の得点:100点満点)に対し、一定の計算式に基づきポイントを付与し、1単位当たりの平均を算出し、5点満点で評価するものです。

GPAのポイントが特に高い学生は、成績優秀者として表彰されます。また、ポイントが低い成績不振者に対しては、担当教員が個人指導を行います。



成績優秀者表彰式

## オフィスアワー

### Face to Faceできめ細やかな指導

学習や将来の進路など学生の様々な相談に対応するため、教員があらかじめ指定する時間に、学生が研究室を訪問し、相談ができるオフィスアワー制度を導入しています。

もちろんオフィスアワー以外の時間でも、教員が在室しているときは、自由に研究室を訪問できます。また、電子メールで相談することもできます。



オフィスアワー



## 学生生活

- キャンパスライフ
- サークル活動
- キャンパスマップ
- キャンパス周辺情報
- 学費・奨学金  
経済支援



# キャンパスライフ

## Campus Calendar

● 新入生・在学生オリエンテーション  
● 入学式  
● 前学期授業開始

● 開学記念日(5月2日)  
● PUKリンピック(体育祭)(5月上旬)

● 後学期授業開始(9月下旬)

● 卒業式  
● 春季休業(3月下旬~4月上旬)

● 海外協定校・研修団受入(韓国)(6月下旬~7月上旬)

● 前学期定期試験  
● 夏季休業(8月中旬~9月下旬)  
● サマー・ECO・デー(8月中旬)  
● 夏季キャリア体験演習(8月中旬~9月下旬)  
● Intensive English(8月下旬)

● 冬季休業(12月下旬~1月上旬)

● 後学期定期試験  
● 春季キャリア体験演習(2月下旬~3月下旬)  
● 海外協定校・研修団派遣(アメリカ)(2月中旬~3月中旬)

4月 April  
5月 May  
6月 June  
7月 July  
8月 August  
9月 September  
10月 October  
11月 November  
12月 December  
1月 January  
2月 February  
3月 March

入学式(4月)

白亜祭(11月)

祥明大専攻校研修団(6月~7月)

白亜祭(学園祭)(11月中旬)

インターンシップ発表会

Intensive English「英語合宿」(8月~9月)

卒業式(3月)

PUKリンピック(5月)

## 学生生活

### 自宅派



入学当初は授業時間の長さや授業の組み立てなど慣れないことが多く、戸惑うことも多々ありましたが、先輩方に教えていただいたり、友達と相談し切磋琢磨していくうちに徐々に慣れていくことができました。課題やレポート、試験に追われて大変なこともあります。一つ一つ着実に乗り越えることによって自分自身の知識となり力となっています。また、授業のない時間に友達と話したり、自分の趣味に没頭できたりと楽しく充実した時間を過ごすことができます。大学生活では、大学の中だけでなく様々なところで学びを得られる機会があり、自分自身の成長に繋がると思います。たくさんの方に挑戦し、充実した大学生活を一緒に送りたいです!

文学部英語英米文学科2年 渋谷 結美さん  
(熊本学園大学付属高等学校出身)

### 一人暮らし派



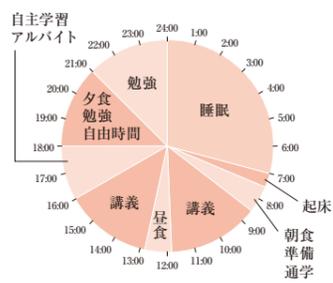
私は毎日の講義に加えて部活動やアルバイトにも積極的に取り組んでいるため、かなりハードな毎日を過ごしていますが、その分とても充実しています。講義と部活とアルバイト、全ての掛け持ちは中々大変な日もありますが、同じ学部や部活動、アルバイトの仲間や友人と切磋琢磨しあひながら毎日を頑張っています。残り一年間の学生生活も、様々な活動に積極的に関わって、毎日をもっと充実させていきたいです。

環境共生学部環境共生学科 居住環境学専攻4年 平野 慶和さん  
(熊本県立天草高等学校出身)

### 1年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限		健康の科学	文学研究への招待	フランス語入門B	フランス語入門B
2時限	英文法I	Basic English Ia	英語音声学I		
3時限	人権と文化	現代社会と法			
4時限		情報処理入門			Reading & Writing Ib
5時限	Seminar for Critical Thinking Ia	プレゼミナール	Seminar for Cultural Literacy Ia	英米文学通史講読 Ia	キャリア形成論
6時限					

### ある一日のスケジュール



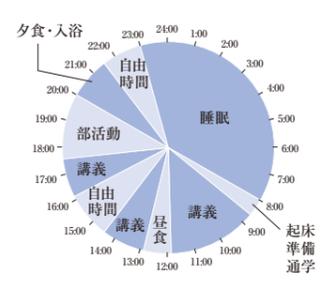
### 一ヶ月の収支

【収入】	
アルバイト	50,000円
収入合計	50,000円
【支出】	
交際費・趣味	20,000円
貯金	30,000円
支出合計	50,000円

### 3年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限					建築環境工学II
2時限	地方自治論	環境共生総合演習	福祉住環境原論	地域景観計画学	建築施工学
3時限	環境調整工学		English for Global Business IV	環境経済学	海洋生態学
4時限				居住環境デザイン実習VI	
5時限				居住環境デザイン実習VI	鉄骨構造学
6時限		地学II		居住環境デザイン実習VI	

### ある一日のスケジュール



### 一ヶ月の収支

【収入】	
アルバイト	55,000円
奨学金	80,000円
収入合計	135,000円
【支出】	
食費	30,000円
家賃	30,000円
水道光熱費	10,000円
交際費・趣味	35,000円
車維持費(ガソリン、ETC含む)	10,000円
貯金	20,000円
支出合計	135,000円

# サークル活動 ともに研ぎ、ともに笑う、仲間たちがここにいる。

学間に励みながら、多くの仲間と出会えるのも大学生活の大きな魅力です。  
サークル活動を通じて、心身ともに研ぎ合うことのできる友をつくる。学問だけでなく、生きることを学ぶ場でもあります。

## 体育系サークル(22団体)

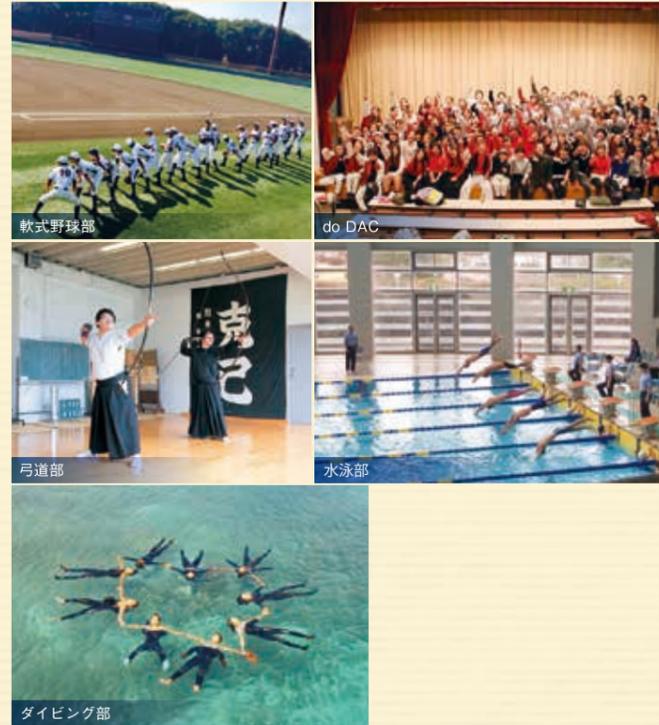
- Army Combat Engineers(サバイバルゲーム)
- 一大事(よさこい) ● 弓道部 ● 硬式テニス部 ● サッカー部
- シーズンすぽっつ(スポーツ全般) ● シンパーズ(ソフトボール)
- 女子バスケットボール部 ● 女子バレーボール部 ● 水泳部
- ソフトテニス部 ● ダイビング部 ● 卓球部
- 男子バレーボール部 ● 男子バスケットボール部
- do DAC(ストリートダンス) ● 軟式野球部 ● バドミントン部
- PUKパド(バドミントン) ● フットサル ● ラグビー部
- ワンダーフォーゲル部

### 体育委員長

総合管理学部総合管理学科3年

副島 由翼 さん  
(熊本県立東陵高等学校出身)

体育委員会では主に、体育会系サークルや部活動を代表して、大学側へ学生の要望を伝える架け橋のような役割を担っています。皆さんのお気づきやご要望など、お気軽にお申し付けください。皆さんの学生生活がより豊かなものになるように尽力いたします。また、新入生歓迎のPUKリピックやサマーキャンプなどのイベントも開催していますので、ぜひご参加ください。多くの人と出会い満足できる4年間になることを心から願っています。



## 文化系サークル(21団体)

- 歌唄(アカペラ) ● 映像研究部 ● MR研究会 ● 合唱部
- 建築デザイン部 ● 茶道・着物礼法部 ● 写真部 ● 手話サークル
- 書道部 ● 吹奏楽部 ● 箏曲部 ● テーブルゲームサークル
- 天文部 ● 美術部 ● フォークソング研究部 ● ぶくはび
- 文芸部 ● Maple Leaves(ボランティア) ● merci(創作いけばな)
- 歴史研究会 ● 書評部

### 文化委員長

総合管理学部総合管理学科3年

神野 航平 さん  
(熊本県立第二高等学校出身)

文化委員会は文化系サークルや同好会の代表として、学生自治会と大学からの諸連絡を各サークルに伝達するとともに、サークル活動が円滑に行えるようサポートする役割を担っています。また、新入生歓迎オリエンテーションの運営にもかかわり、文化系サークルの発展に尽力しています。大学のサークルにはこれまで見たことのない個性的な団体が集まっていると思います。高校生活では味わうことのできない特別な体験を、ぜひ文化系サークルで楽しんでみてはいかがでしょうか。心に決めたサークルが見つかることを祈っています。

※サークル団体数は2025年3月現在



# ボランティア活動

ボランティア活動は、公共福祉の観点から共助精神の涵養に資するものとして極めて意義深いものであり、また授業では学べない多くの体験ができるため、自己形成の上で極めて重要です。

## ボランティア活動団体の紹介

本学には、様々な目的をもって自主的に活動する複数のボランティア団体があります。

「熊本城マラソン」などの各種イベント運営にボランティアとして参加する「Maple Leaves」、規格外野菜の認知拡大や普及を目的に活動する「SalVage ~規格外野菜を救い隊~」、子どもたちにクリスマスプレゼントを届ける活動を行っている「チャリティーサンタ」、国内のみならず海外でのボランティア活動にも参加する「ぶくはび」、大学近隣地域にある幼保連携型認定こども園で子供たちとふれあう活動を行う「つばめレンジャー」などが活動しています。

※ボランティア団体は2024年3月現在

### 「チャリティーサンタ」の活動紹介

私たちチャリティーサンタ熊本支部は、クリスマスイブの日子どもたちにプレゼントを届ける活動を行っている団体です!チャリティー金をいただいた家庭を訪問したり、貧困家庭や災害に被災した家庭に無償でプレゼントを届ける活動を行っています。その他にも幼稚園や施設などのクリスマス会を訪問する活動を行っています!

チャリティーサンタの魅力として、「サンタクロース」になれるということです!プレゼントを届けることを通して「誰かのために何かしたい」を行動に移すことのできる「サンタクロース」のような人になることができます。

その他にも、熊本支部内には熊本学園大学や熊本大学のメンバーが在籍していたり、全国各地に支部が存在しているため、全国の「サンタクロース」と関わることができるということがあります!

ぜひ一緒に「サンタクロース」になってみませんか?



### 「SalVage ~規格外野菜を救い隊~」の活動紹介

私たちSalVage(サルベジ)は、規格外野菜の認知拡大や普及、熊本の地域理解及び未来創生を目的に活動しています。

主な活動としては、農家さんへの取材やマルシェの開催・お手伝い、小学生向けの講演会を行っています。過去には、食育の日のお弁当を考えたり、花農家さんの取材なども行いました。

SalVageは設立して間もないため、幅広く自由な活動ができます。地元の方や農家さんの声を聞いてみませんか?

ぜひ、私たちと一緒に活動しませんか?興味がある方はInstagramで「熊本県立大学 SalVage(サルベジ)」と検索・ご連絡ください。



# 食育活動

食に関する体験研修や講義、イベントなどを環境共生学部内にある食育推進室が学生グループとともに学びながら、定期的に開催しています。あなたも参加してみませんか？



たべラボキャラクター  
もぐ丸

## たべラボ活動

熊本県内のさまざまな地域の食の魅力探し、イベント企画、学食でのメニュー開発・プロデュースなどを行っており、自らの食生活・生活習慣のスキルアップと学内外への食育を実施する学部横断的な学生グループです。



食の魅力発見

一品持ち寄り弁当の日の開催や、野菜・出汁・お菓子作りなど様々なWSを実施しています。



食文化に触れる

日本の食・世界の食。文化的な側面からも楽しめます。



暮らしに生かす

魚をさばいて、味わったり。SDGsの観点からも考えます。

## 食育の日

大学生が地域の食材について学び、その食材を使った学食メニューを考案し提供しています。毎月19日前後に開催しており、学生や教職員に好評です。



地域研修

地域の食材について学びます。



活動プレゼン

弁当提供当日ステージにて、活動のプレゼンテーションも実施します。



学食提供

月替わりテーマに沿って、当日メニューが提供されます。

## 食に関する講演会・イベント

学生が将来にわたる自分の健康の主体者として健全な食生活を自己管理できることを目指しています。その実現に向けて、さまざまな機会を設けています。



食に関する講演会



たべラボマルシェ



学内イベント参加

# 保健センター

保健センターは、学生が充実した学生生活を送ることができるよう、心身の健康管理を行うとともに、修学上あるいは生活上の様々な悩みごとに関する相談業務を行っています。学内で具合が悪くなったり、怪我をした場合は、休養や簡単な応急手当を受けることができます。

## 学生相談

充実した学生生活を送れるよう、学生相談を行っています。なにか困ったことがあれば、一人で悩まず気軽にご相談ください。保健師と臨床心理士が様々な相談に応じています。必要に応じ教員や事務局と連携してサポートします。



## 定期健康診断

全学年を対象として定期健康診断を行っています。健康診断は学校保健法により、年1回必ず受診することになっておりますので、生活習慣の改善に役立ててください。必要に応じて、健康管理の支援をします。



# 地域・研究連携センター

地域に根差した質の高い研究の推進や、公開講座の開催など、本学の教育研究資源を地域と繋ぎ、大学の地域貢献に取り組むセンターです。



## 地域連携部門

地域からの様々な相談に対応し、本学の教育研究資源とのマッチングを図ります。また、包括協定の締結や産学官連携など地域連携の取組を推進します。

## 研究支援部門

国の科学研究費助成事業を活用した研究や、企業、団体、自治体等の外部資金を活用した受託研究・共同研究の円滑な推進を支援します。

## 地域学習部門

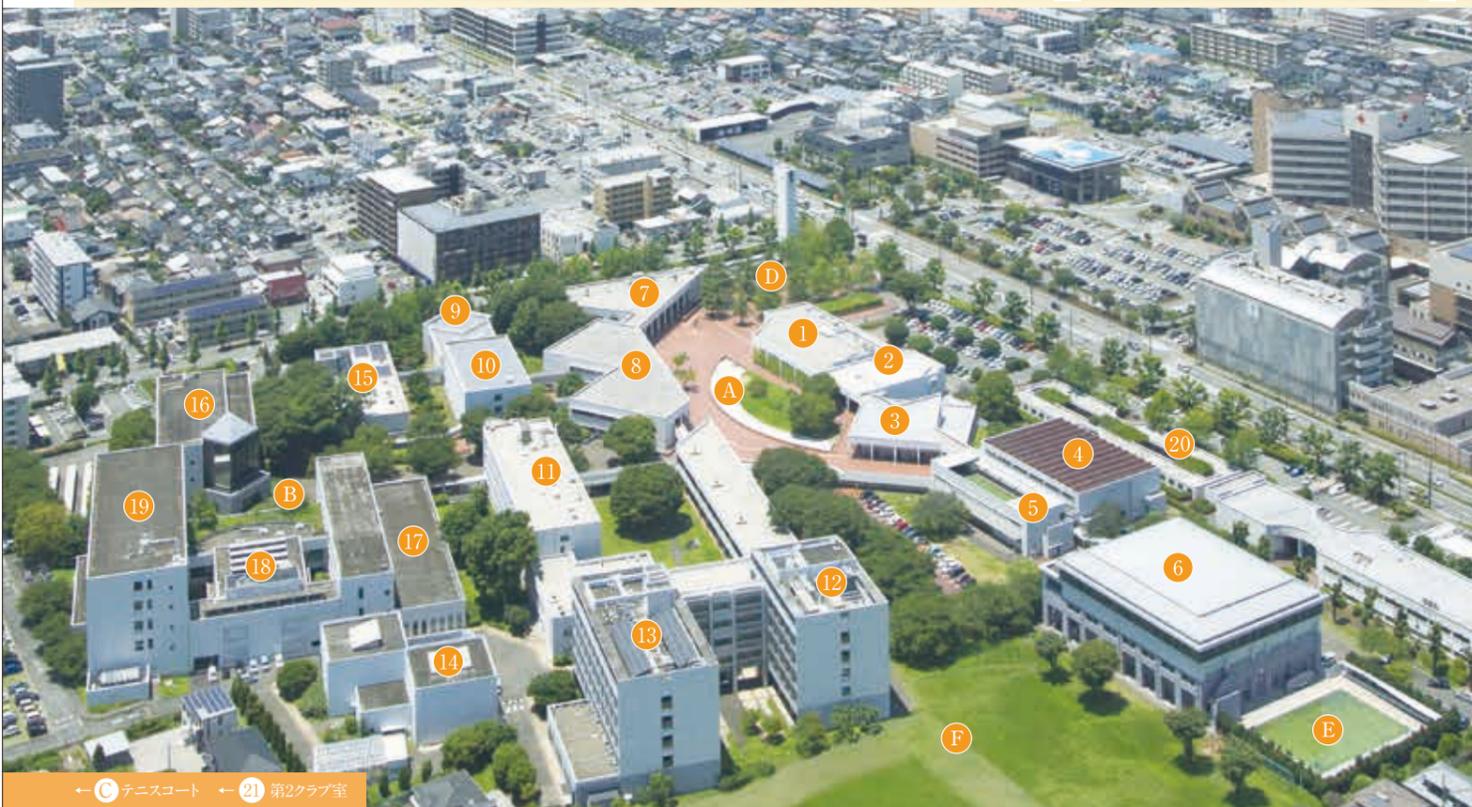
授業公開講座、各種公開講座の開催や、職業人の学び直しとして、CPDプログラム(Continuing Professional Development 継続的専門職能開発)を推進します。

県大の研究室や地域貢献活動を  
紹介するサイトです。  
是非ご覧ください。



# キャンパスマップ

# Campus Map



← C テニスコート ← 21 第2クラブ室

## 1 本部棟

事務局各課・室(1階に教務入試課、学生支援課、2階に総務課、企画調整室)などがあります。

## 2 中ホール

300人収容のホールです。国際会議に対応するため、同時通訳ブースを設置しています。

## 3 キャリアセンター

キャリアセンター、トレーニングルームなどがあります。  
**■キャリアセンター**  
 就職情報などの提供ときめ細やかな相談・指導など、学生一人ひとりの夢の実現に向けた(総合的な)キャリアサポートを行っています。→P59  
**■トレーニングルーム**  
 学生・教職員の健康増進のためウエイトや各種マシンでトレーニングができます。

## 4 サブアリーナ 5 CPDホール

サブアリーナは1階に体育館、2階に弓道場があります。CPDホールは、収容人数が105人(うち固定席60席)規模の講義室で、150インチスクリーンを備えています。



## 6 アリーナ



1階には、柔剣道場などがあります。2階にはバレーボールコート2面分のスペースを有するアリーナがあります。

## 7 学生会館

学生食堂、書籍・売店、共通教育センター(→P21)があります。



**■学生食堂**  
 カフェテリアスタイルで、ガラス張りの吹き抜けとなっている明るい学食です。人気メニューは、日替りのランチやカレーです。

**■書籍・売店**  
 書籍や文具、事務用品の販売はもちろん、引越、旅行の予約・貸衣装、自動車学校の申込など便利な取次サービスも行っています。

## 8 講義棟1号館



小規模の講義室が12室あり、1階に学生ロビーと食育推進室があります。

## 9 小ホール・保健センター

中規模ながらフォーラムなども開催できる140人収容のホールです。また、応急手当や休養、学生相談ができる保健センターがあります。

## 10 文学部棟



文学部の教員研究室、ゼミ室、資料室などがあります。

## 11 環境共生学部西棟

環境共生学部(主に居住環境学専攻・食健康環境学専攻)の教員研究室、各種実験実習室などがあります。

## 学内を網羅するデジタル環境

学内無線LANのアクセスポイントは、教室や演習室、研究室など約420箇所に設置しており、うち300箇所は最新のWi-Fi6(IEEE 802.11ax)対応になっていますので、安定して快適に使用できます。また、各教室にはWeb配信・収録設備を設置しており、対面・遠隔併用のハイブリッド授業の実施が可能です。



### モニュメント「宙(sora)」

児玉士洋氏作。  
 物質社会(柱)と精神社会(球)のバランスのとれた様を表し、若者の無限の可能性が宙へと伸びるようという願いがこめられています。



### モニュメント「大地」

児玉士洋氏作。  
 自然と文明の融合による緊張と安定を表現。大地や水などの自然のパワーとエネルギーがテーマとなっています。



### モニュメント「オーバルカラム」

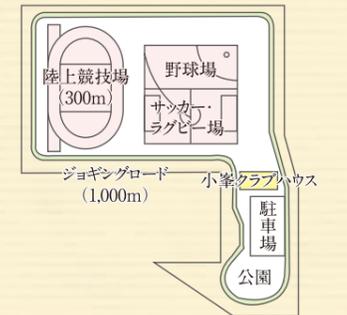
松尾光伸氏作。  
 土筆をイメージしたフォルムが若者の成長を、32面の楕円球がアルファベットと記号を表現しています。



### ブロンズ像「視」

石原昌一氏作。  
 1980年に、創立30周年と新キャンパス建設を祝って同窓会紫苑会から贈られたブロンズ像です。

## 小峯グラウンド (所在地 熊本市東区小峯3丁目2613-1)



キャンパスから約2kmの近距離にある野球場、サッカー兼ラグビー場、300mトラックを兼ね備えたグラウンドです。また、グラウンドを囲って同窓会紫苑会から贈られた1,000mのジョギングロードがあり、一般にも開放しています。

## 12 18 環境共生学部北棟・南棟



北棟と南棟からなり、環境共生学部(主に環境資源学専攻)の教員研究室、各種実験室などがあります。太陽光発電と雨水利用システムを備えるなど環境に配慮した施設です。

## 14 構造実験棟

環境共生学部の構造実験室、材料実験室があります。

## 15 グローバル棟

1階には地域・研究連携センターと共創の流域治水研究室があり、2階には国際教育交流センターがあります。

## 16 図書館

ガラス張りの塔が印象的な図書館は、収容能力41万冊、蔵書数約38万冊を誇ります。1階にはオンラインでの会議・授業・面接等で活用できるパーソナルブース3台が設置されています。本学の学生や教職員をはじめ広く一般にも公開し、地域の図書館として利用されています。→P65

## 17 講義棟2号館

4つの中講義室と4つの小講義室があるほか、情報処理実習室1室があります。

## 18 大ホール



350人収容のホールです。200インチスクリーンによりPCなどを利用した講義が可能です。

## 19 総合管理学部棟



総合管理学部の教員研究室、ゼミ室、資料室などがあります。また、1階には情報ネットワークの中枢であるデジタルイノベーション推進センターのほか、IR室、情報処理実習室2室があります。

## 20 第1クラブ室



## 21 第2クラブ室



本部棟と講義棟1号館、学生会館の間に広がるオープンスペース。赤レンガと草木のコントラストの美しさが自慢です。モニュメント「大地」やブロンズ像「視」もあります。

## B アカデミックプラザ



図書館と大ホールの間にひろがる、憩いと語らいのオープンスペース。図書館のガラス張りの塔とモニュメント「宙(sora)」が印象的な空間です。

## C テニスコート



夜間照明を備えたテニスコートが6面あります。

## D キャンパスギャラリー



## E プール

アリーナに併設されている屋外プール(25m・7コース)です。

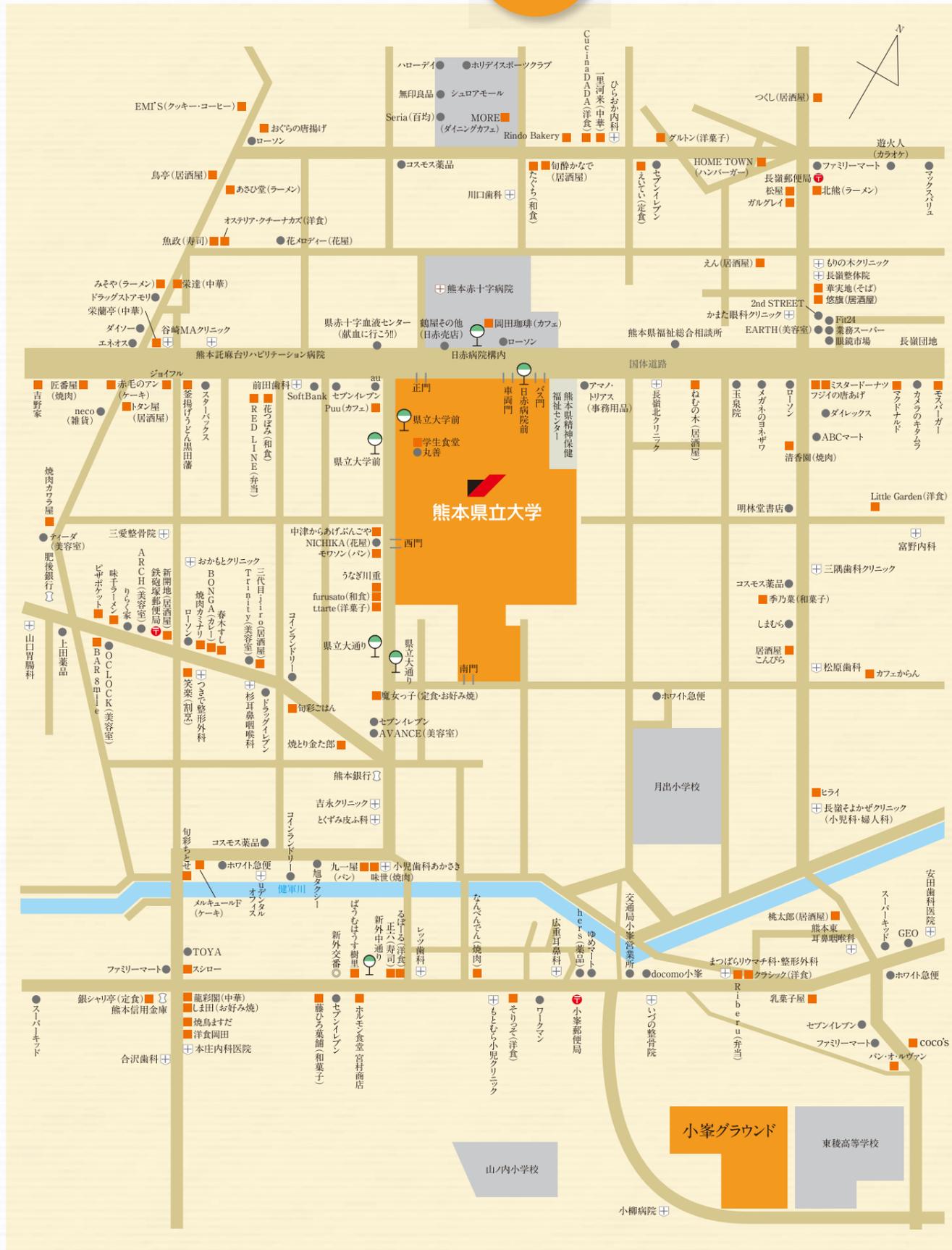
## F 月出フィールド

共創の流域治水研究室実験棟と雨水を地中に浸透させる「雨庭」、実験水路等が併設されています。

# キャンパス周辺情報

熊本市  
東区月出  
エリア

熊本県立大学がある月出界隈は、衣・食・住のバランスのとれたアメニティタウンです！



# 学費・奨学金・経済支援

大学で学ぶには、何かとお金がかかるもの。熊本県立大学では、独自の奨学金制度「熊本県立大学奨学金」を創設するなど支援制度の充実に取り組んでいます。併せて授業料徴収猶予・減免制度など、経済支援制度も設けています。

## ◎学費

種別	入学金 (入学手続き時に納入)	授業料 2期に分けて口座引き落とし
県内	207,000円	年額 535,800円 (各期267,900円×2期)
県外	414,000円	

※上記の金額は、2022年度のものです。  
※入学金、授業料のほか、後援会費として67,000円(4年間分を入学時に一括納入)が必要です。他に学部により実習費、学会費や保険料(5,000円程度)が必要です。

## ◎授業料徴収猶予・月額払・減免制度

経済的理由、不慮の事故、疾病、その他やむを得ない特別な事情により、期限までに授業料の納付が困難な場合、徴収猶予(納付期限の延長)又は月額による納付(年額の12分の1を毎月納付)の許可を受けることができます。

また、一定の成績基準や家計基準を満たしている場合、多子世帯の要件を満たしている場合、申請を行うことで授業料が免除(一部減免を含む)される場合があります。

さらに、学費負担者が年度途中で死亡、又は災害、事故、長期療養などにより生活に困窮し、授業料の納付が困難になった場合の減免制度もあります。

## ◎入学金納付時期猶予制度

日本学生支援機構の入学時特別増額貸与奨学金を受給する学生や、修学支援法の予約採用者については、入学金の納付時期が猶予されます。

## ◎大学院入学金免除制度

本学の学部を卒業し、本学大学院への進学を希望する者のうち、一定の条件を満たす者については入学金が免除されます。

## ◎熊本県立大学奨学金

本学では有為な人材を育成するため、熊本県立大学未来基金への寄附金等を活用しながら、本学独自の奨学金制度を設け、学生の修学を支援しています。

名称	対象	金額	期間
同窓会紫苑会奨学金	学業成績・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由から修学が困難と認められる者(学部全学年より毎年10人程度)	年額20万円	1年
短期派遣留学生支援奨学金	学生交流に関する協定に基づき、1年以内の期間派遣される者(奨学生の数は毎年度予算の範囲内において別に定める)	月額8万円から12万円 ※派遣先大学の所在地による	派遣先で修学する期間
小江梅子奨学金	文学部英語英米文学科又は文学研究科英語英米文学専攻に在籍する者で一定期間以上の海外留学・研修を行う者	1回5万円から10万円 ※同一学生の奨学金は、文学部在籍時と文学研究科在籍時のそれぞれについて、10万円をその上限額とする。	30日以上

## ◎日本学生支援機構奨学金

(独)日本学生支援機構が実施している奨学金制度です。

名称	種類	対象	金額	期間
貸与奨学金	第一種奨学金 (無利子)	学部 <sup>*1</sup>	自宅通学 月額20,000円、30,000円または45,000円 <sup>*2</sup>	4年
		大学院	自宅外通学 月額20,000円、30,000円、40,000円または51,000円 <sup>*2</sup>	
	第二種奨学金 (有利子)	学部	博士前期 月額50,000円または88,000円	2年
		大学院	博士後期 月額80,000円または122,000円	
給付奨学金	給付 <sup>*3</sup>	学部	自宅通学 月額29,200円(市町村民税所得割非課税世帯の場合) <sup>*4</sup>	4年
			自宅外通学 月額66,700円(市町村民税所得割非課税世帯の場合) <sup>*4</sup>	

※1. 学部の第一種奨学金は、修学支援法に基づく給付奨学金受給中、貸与額が減額(または増額)される場合があります。  
 ※2. 申込時の家計収入が一定額以上の場合は、最高月額を選択不可。  
 ※3. 給付奨学金受給者は、申請により、給付奨学金の支援区分に応じ授業料等が減免されます(修学支援法に基づく授業料減免)。  
 ※4. 市町村民税所得割課税世帯の場合は、課税額等に応じた認定区分により2/3~1/4の給付奨学金を受けられる場合があります。

## ◎その他の奨学金

熊本県有英資金、熊本市奨学金など各都道府県・民間団体の奨学金制度がありますので学生支援課へお気軽にご相談ください。

# 入試情報

熊本県立大学の入試情報は、ホームページに集約されています。  
出願期間、合格発表はもちろん、過去5年間の志願者数、競争率などの気になる情報が満載です。  
入試について調べたい場合は是非ホームページをご覧ください。

熊本県立大学  
入試情報ホームページ

<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination/>



## 入試の日程 (インターネットによる出願手続を実施しています。)

	一般選抜 (個別学力検査)	自己推薦型選抜		特別選抜	
		環境共生学部 環境共生学科 居住環境学専攻	総合管理学部 総合管理学科	学校推薦型選抜 社会人選抜 帰国生徒選抜	私費外国人留学生選抜
出願期間	2026年1月26日(月) 2026年2月4日(水)	2025年9月4日(木) 2025年9月12日(金)		〈学校推薦型選抜〉 2025年11月4日(火) 2025年11月10日(月) 〈社会人選抜・帰国生徒選抜〉 2025年10月6日(月) 2025年10月10日(金)	
選抜期日	前期日程 2026年2月25日(水) 後期日程 2026年3月12日(木)	2025年10月18日(土) 10月19日(日) (注)	第一次選考 2025年10月18日(土) 第二次選考 2025年10月19日(日) (注)	2025年11月30日(日)	2026年2月7日(土)
合格発表	前期日程 2026年3月5日(木) 後期日程 2026年3月20日(金)	2025年11月1日(土)		2025年12月8日(月)	2026年2月16日(月)
入学手続	前期日程 2026年3月6日(金) 2026年3月15日(日) 後期日程 2026年3月20日(金) 2026年3月27日(金)	合格通知書到着日 2025年11月10日(月)		合格通知書到着日 2025年12月17日(水)	2026年3月13日(金) 2026年3月19日(木)
発表期日	11月上旬(予定)	7月上旬(予定)		8月上旬(予定)	8月上旬(予定)

注…不測の事態の発生により上記期日に試験実施が困難になった場合に備え、2025年10月25日(土)、26日(日)を選抜予備日とします。

## 入学定員及び募集人員

学部	学専攻	入学定員	募集人員						
			一般選抜		自己推薦型選抜	特別選抜			
			前期日程	後期日程		学校推薦型選抜		社会人選抜・ 帰国生徒選抜・ 私費外国人 留学生選抜	
文学部	日本語日本文学科	45	30	10	-	5	-		-
	グローバルスタディーズ学科	45	28	10	-	7	-	-	若干名
環境共生学部	環境資源学専攻	110	15	12	-	3 (うち2名以上は熊本県内 高等学校卒※1)		若干名 ※2	県内 2名 以内
	居住環境学専攻		20	12	4	-	-		
	食健康環境学専攻		28	8	-	4	-	-	
総合管理学部	総合管理学科	280	A方式30 B方式60	A方式40 B方式50	50	50	-	-	若干名
合計		480	211	142	54	73	若干名	若干名	若干名

※1…熊本県内高等学校卒業見込みの者

※2…高等学校及び中等教育学校の農業、林業、水産又は工業に関する学科を卒業見込みで一定の要件を満たす者

## 一般選抜結果 (2023~2025年度)

学部	学専攻	日方式	2025年度					2024年度	2023年度	2025年度			
			募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	実質競争率(A/B)	実質競争率	実質競争率	満点	合格者 最高点	合格者 最低点	合格者 平均点
文学部	日本語日本文学科	前期	30	117	112	34	3.3	2.6	2.3	1000	702.6	609.3	645.3
		後期	10	127	62	15	4.1	2.4	2.2	900	625.2	581.6	602.1
		学科計	40	244	174	49	3.6	2.6	2.2				
	英語英米文学科	前期	28	77	74	34	2.2	1.8	1.5	900	675.4	580.6	616.3
		後期	10	110	41	19	2.2	1.8	1.7	900	731.8	517.5	589.4
		学科計	38	187	115	53	2.2	1.8	1.6				
学部計			78	431	289	102	2.8	2.2	1.9				
環境共生学部	環境資源学専攻	前期	15	46	43	17	2.5	2.5	2.1	1350	902.7	766.1	816.2
		後期	12	127	52	15	3.5	3.6	2.7	1250	904.5	769.5	834.2
		専攻計	27	173	95	32	3.0	3.0	2.4				
	居住環境学専攻	前期	20	53	52	21	2.5	1.7	2.0	1350	959.8	786.5	825.2
		後期	12	98	33	16	2.1	2.6	2.4	1350	998.6	851.4	901.0
		専攻計	32	151	85	37	2.3	2.1	2.2				
食健康環境学専攻	前期	28	58	58	31	1.9	1.8	1.5	1350	896.7	747.7	789.9	
	後期	8	61	20	10	2.0	2.6	2.2	1350	892.3	770.3	823.0	
	専攻計	36	119	78	41	1.9	2.0	1.7					
学部計			95	443	258	110	2.3	2.3	2.1				
総合管理学部	総合管理学科	前期A	30	159	157	31	5.1	2.8	2.5	650	486.5	417.2	435.9
		前期B	60	174	169	63	2.7	2.5	2.0	650	567.2	418.9	449.5
		後期A	40	313	192	45	4.3	1.9	1.7	650	460.0	375.6	401.0
		後期B	50	276	138	55	2.5	2.3	1.5	650	494.9	361.6	398.4
	学部計			180	922	656	194	3.4	2.3	1.9			
合計		前期	211	684	665	231	2.9	2.3	2.0				
		後期	142	1112	538	175	3.1	2.3	1.9				
		計	353	1796	1203	406	3.0	2.3	1.9				

※大学入学共通テストと個別学力検査の合計点です。調査書得点は含みません。  
※追加合格者については数値に含めていません。

## 自己推薦型選抜結果 (2025年度)

学部	学専攻	募集人員	志願者数	受験者数	第1次選考		第2次選考	
					合格者数	競争率	合格者数	競争率
環境共生学部	環境共生学科居住環境学専攻	4	19	19	4	4.8	-	-
総合管理学部	総合管理学科	50	211	211	84	2.5	51	4.1

## 特別選抜(学校推薦型選抜)結果 (2025年度)

学部	学専攻	志願者数	受験者数	合格者数
文学部	日本語日本文学科	22	22	5
	英語英米文学科	23	23	7
環境共生学部	環境資源学専攻	6	6	3
	居住環境学専攻	13	13	4
	食健康環境学専攻	25	25	4
総合管理学部	総合管理学科	87	87	52
合計		176	176	75

※農業・林業・水産・工業科学校推薦型選抜、“くまもと夢実現”学校推薦型選抜を含む。

## よくある質問

### Q1. 熊本県内高校出身者の割合はどのくらいですか。

2025年度入学者全体で見ると、熊本県内高校出身者が占める割合は78.0%です。

#### 九州・沖縄地区出身高校の入学生数

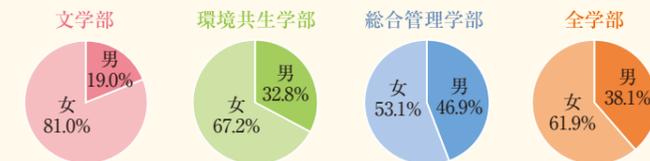
※2025年度入学生

##### ■入学者出身高校の所在地別データ(2025年度)

		九州・沖縄地区										合計	
		九州 圏外	九州 圏内	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県		その他
全学部	男	6	186	10	3	3	156	1	4	9	0	0	192
	女	10	301	20	3	10	237	10	6	12	3	1	312
	合計	16	487	30	6	13	393	11	10	21	3	1	504

※その他は、外国の学校卒、高卒認定等

##### ■入学者の男女の割合(2025年度)



### Q2. 資料請求をしたいのですが、どのような方法がありますか。

大学案内(本冊子)及び入学者選抜概要は次の3つの方法で入手できます。

#### ① テレメールで請求

パソコン・スマホ・携帯電話を利用して請求できます。  
<https://telemail.jp>

スマホ・携帯電話でQRコードをよみとってアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。



①の請求方法についての問い合わせ先  
テレメールカスタマーセンター  
電話 **050-8601-0102**  
(受付時間: 9時30分~18時)

#### ② 本学に郵便で請求

角型2号(A4サイズの冊子が入るもの)の返信用封筒に、送料分の切手(大学案内は215円、入学者選抜概要は180円、両方の場合は310円)を貼付の上、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記し、裏表紙記載の住所までお送りください。なお、返信用封筒の表に「大学案内請求」又は「入学者選抜概要請求」(両方の場合は「大学案内及び入学者選抜概要請求」)と朱書きしてください。

#### ③ 本学教務入試課で入手

本部棟ロビーで配布(設置)しております。土日祝日でも来学の上、自由にお持ち帰りください。  
なお、各入学者選抜の募集要項の公表時期は次のとおりです。冊子での配布は行いませんので、本学のホームページからダウンロードしてください。

●自己推薦型選抜 7月上旬(予定) ●学校推薦型選抜 8月上旬(予定) ●一般選抜 11月上旬(予定)

### Q3. 過去の入試問題を見ることができますか。

本学教務入試課までお越しただけであれば、閲覧いただくことは可能ですので、教務入試課入試班に電話(096-321-6610)でお問い合わせください。  
なお、令和6年度に実施した選抜の問題については、本学のホームページでもご覧いただけます。(著作権処理が必要な部分を除きます。)

## 熊本県立大学をもっと知りたい方へ

本学では、高校生の皆さんや保護者の方々及び先生方に、本学をさらにご理解いただけるような様々な入試広報を展開しております。

申し込み条件・手順等、詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。

#### オープンキャンパス

2025年7月20日(日)・21日(月・祝)(予定)

進学相談会 4月~10月

高校訪問 5月~9月

出張講義 5月~8月

学内見学(団体) 5月~10月 ※個人見学は随時

※各入試広報は、中止・延期・内容変更などの可能性があります。  
最新の情報は、本学ホームページにてご確認ください。

## WEBオープンキャンパス

絶賛  
公開中!



いつでもどこからでも参加できるオープンキャンパスとして、「熊本県立大学WEBオープンキャンパス」ホームページを公開中です。高校生の皆さんに向けた大学教員による模擬授業や学生インタビューのほか、熊本県立大学のキャンパスを360°体感できる360°キャンパスツアーやサークル紹介など、熊本県立大学をさらに知っていただけるような様々なコンテンツをご用意しています。

※2025年5月現在の掲載情報です。

大学教員による模擬授業



学生インタビュー



アクセスはこちらから  
熊本県立大学WEBオープンキャンパス  
URL <https://puk-oc.jp>



# アクセスマップ



## マイカー・タクシーによるアクセス

- 熊本ICから ..... 約15分(約4.3km)
- JR熊本駅から ..... 約25分(約8.2km)
- 益城熊本空港ICから ..... 約10分(約4km)
- JR水前寺駅から ..... 約15分(約4.2km)
- 阿蘇くまもと空港から ..... 約25分(約13km)

## バスによるアクセス

### 桜町バスターミナルから

#### 15番のりば

- 都市バス「長嶺小学校・免許センター」行(〔G1-4〕、〔G1-5〕表示)  
「日赤病院前」バス停下車(約30分)。  
そこから徒歩1分

#### 26番のりば

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行(〔H1-1〕、〔H2-1〕、〔H3-1〕表示)  
「県立大通り」又は「県立大学前」バス停下車(約40分)。  
そこから徒歩1分

### JR熊本駅方面から

#### 1番のりば

- 都市バス「免許センター」行(〔G1-5〕表示)  
「日赤病院前」バス停下車(約40分)。  
そこから徒歩1分

#### 6番のりば

- 都市バス「長嶺団地」行(〔H4-1〕表示)  
「県立大通り」又は「県立大学前」バス停下車(約40分)。  
そこから徒歩1分
- 都市バス「長嶺小学校」行(〔G1-6〕表示)  
「日赤病院前」バス停下車(約30分)。  
そこから徒歩1分

#### その他

- バスにより桜町バスターミナル下車(約10分)
- 市電により辛島町電停下車(約10分)。  
その後桜町バスターミナルまで徒歩約2分

### JR新水前寺駅方面「水前寺駅通り」バス停(スーパーマーケット前)から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車(〔H2-1〕、〔H3-1〕表示)  
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分

### JR水前寺駅方面南口「水前寺駅前」バス停から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車(〔H2-1〕表示)  
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分

### JR水前寺駅方面北口「熊高正門前」バス停から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車(〔H1-1〕、〔H4-1〕表示)  
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分



〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号  
TEL 096-383-2929(代) FAX 096-384-6765

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/>  
E-mail: [kyoumu@pu-kumamoto.ac.jp](mailto:kyoumu@pu-kumamoto.ac.jp)

熊本県立大学

検索



この印刷物は環境に  
配慮して植物油インキを  
使用しています。